▲ TOA 送信端末設定説明書 IP オーディオシリーズ



- ●本書で説明の対象となる機器
 IPページングゲートウェイ
 IPリモートマイク
 IP-A1RM
- ●本書で説明の対象となるファームウェアバージョン Ver. 3.3.0 以降

このたびは、TOA IP オーディオシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの送信端末設定説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

はじめに	5
本書について	5
ンステム安件	5 5
放送システムと設定方法について	6
放送システムのモデルケース	6
モデルケース別の設定の流れ	11
ブラウザー培績のしかた	20
クククク 」 3000007C	
1900の1000年間 接続のしかた	
表示言語を設定する	
用本の口時を設定する	20
各画面共通の操作のしかた	
画面構成について	
設定・変更内容の保存のしかた	
再起動のしかた	
ログアウトのしかた	
設定のしかた	37
設定メニューの構成について	
	0.
ステータス画面の表示	
ステータス表示と状態表示灯について	40
キ設定画面	41
ネットワーク設定画面	
SID 設守両面	15
JF 皮た回回	
VMS 放送設定画面	
4 .24年記合憲委	10
放达先設足凹凹	
転送設定画面	
SIPからマルチキャスト放送へ転送する場合の動作について	
首重設定回自	
首重設定機能の概念図	60
メディア設定画面	62
音源ファイルのアップロードのしかた	

音源ファイルのダウンロードのしかた 音源ファイルの削除のしかた	64 65
チャイム設定画面	
パターン登録画面	68 71
イベント設定画面	72
優先度設定画面	78
コマンドリスト画面	
ユーザー設定画面	
メンテナンス画面 設定ファイルのダウンロード 設定ファイルのアップロード 設定初期化のしかた 工場出荷時の設定に戻す ファームウェア更新のしかた ログファイルのダウンロード	
システム設定画面	
使用可能な文字 名称、認証 ID、パスワードに使用可能な文字 ファイル名に使用可能な文字	
スケジューラー機能について スケジューラー機能について スケジューラー画面 新規スケジュールの作成 スケジュールの確認/編集/削除 タスク表示と動作について タスクの確認/編集/削除 カテゴリー編集 スケジュール設定時のエラーメッセージ スケジュールデータのリセット スケジュールデータを除いた設定ファイルアップロード	
IP 設定ツール 使用する前に IP 設定ツールの起動のしかた 設定のしかた ユーザー認証のしかた ネットワーク設定のしかた 設定ファイルをアップロードする	

設定ファイルをダウン ファームウェアをアッ 再起動する	ロードする
SIP 状態表示画面	
トラブルシューティン	ノグ
困ったときの対処につ	ついて



■本書について

本書では、以下の機種について説明しています。 IPページングゲートウェイ IP-A1PG リモートマイク IP-A1RM

また、本書で説明の対象となるファームウェアは「Ver. 3.3.0 以降」となります。

本書での説明画面は、主に IP-A1PG の画面を使用しています。機種によっては表示される画面が異なること があります。

また、機種によっては機能や設定項目が異なる部分があります。本書において、その説明内容が特定の機種に該当する場合、以下の表示をしています。



IP-A1PG に該当する説明内容です。

IP-A1RM に該当する説明内容です。

■ システム要件

パソコンの推奨動作環境は下記のとおりです。

ディスプレイ	推奨解像度 1920 × 1080 以上
OS	Windows 10 Pro (64bit) Windows 10 Home (64bit) Windows 11 Pro Windows 11 Home
ブラウザー	Microsoft Edge Google Chrome

- ※ Windows および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ※ Google Chrome は米国 Google LLC の米国およびその他の国における商標です。

■ セキュリティ対策のお願い

- ●お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
- ●不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害または損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●本機への不正アクセスを防ぐために、ユーザー ID、およびパスワードは、初期設定から変更してお使いく ださい。設定方法など、詳細については P.83「ユーザー設定画面」をお読みください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

放送システムと設定方法について

放送システムは、「放送システムのモデルケース」を基本として組み合わせることにより構築できます。それ ぞれのモデルケースに対して、設定方法を説明します。

┃放送システムのモデルケース

放送システムのモデルケースは、①放送する音声ソース、②放送先への放送形態によって分類されます。設 定を行うときには、どのモデルケースを使用しているか把握することで、設定がしやすくなります。



例 1-1 受信端末での単独内蔵音源放送

IP オーディオ受信端末1台ごとに異なる放送条件で放送する場合は、各IP スピーカーに内蔵した音源ファイルでパターンを作成し、内蔵音源放送を行います。



例 1-2 内蔵音源の SIP 個別放送

IP リモートマイクから IP オーディオ受信端末1台ごとに個別の内容を放送する場合は、IP リモートマイクに内蔵した音源ファイルでパターンを作成し、IP オーディオ受信端末へ SIP 接続をして内蔵音源放送を行います。



例 1-3 内蔵音源のグループ放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に同じ音源ファイルで放送する場合は、IP オーディオ送信端 末に内蔵した音源ファイルでパターンを作成し、内蔵音源をマルチキャストで放送します。スケジューラー で定時放送を一括管理したい場合にも有効です。



オーディオプレーヤーなどのアナログ音源の放送

例 2-1 IP 音声インターフェースのローカル放送

IP 音声インターフェース1台でアナログ音源を放送をする場合は、IP 音声インターフェースへ直接接続 したマイクやオーディオプレーヤーからローカル放送を行います。 マイクを使う場合は、放送モードを「遅延なし」に設定することで、リアルタイム拡声放送を行うことが

マイノを使う場合は、放送し一下を「遅延なり」に設定することで、リアルタイム拡冲放送を11 JCとかできます。



放送モード (通常)





例 2-2 アナログ音源の SIP 個別放送

IP リモートマイクから IP オーディオ受信端末1台ごとにアナログ音源を放送する場合は、IP リモートマイクにオーディオプレーヤーを接続し、IP オーディオ受信端末へ SIP 接続による放送を行います。



例 2-3 アナログ音源のグループ放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時にアナログ音源を放送する場合は、IP オーディオ送信端末に 接続したオーディオプレーヤーからマルチキャスト放送を行います。



マイクによるリアルタイム拡声放送

例 3-1 IP オーディオ受信端末への SIP 個別放送

IP リモートマイクや SIP フォンなどの SIP 端末から IP オーディオ受信端末 1 台ごとに個別のリアルタイム拡声放送をする場合、各 IP オーディオ受信端末へ直接 SIP 接続をして SIP 放送を行います。



例 3-2 SIP 端末からのグループ拡声放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に IP リモートマイクや SIP フォンなどの SIP 端末から拡声放送する場合は、IP ページングゲートウェイを介してマルチキャスト放送を行います。SIP フォンの場合は DTMF 番号指定することで、転送するマルチキャストのチャンネルを変更することができ、放送先のグループを切り換えることができます。

DTMF を使わずに、IP ページングゲートウェイにあらかじめ設定した放送先にマルチキャスト放送を行うこともできます。



例 3-3 IP オーディオ受信端末への VMS 個別放送

VMS(Video Management System)ソフトウェアやネットワークレコーダーから IP オーディオ受信端末1台ごとに個別のリアルタイム拡声放送をする場合は、各 IP オーディオ受信端末へ直接 ONVIF 接続をして VMS 放送を行います。



例 3-4 VMS ソフトウェアからのグループ拡声放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に VMS ソフトウェアやネットワークレコーダーから拡声放送 する場合は、IP ページングゲートウェイを介してマルチキャスト放送を行います。VMS ソフトウェアの 場合はオーディオチャンネル番号を指定することで、転送するマルチキャストのチャンネルを変更するこ とができ、放送先のグループを切り換えることができます。



※ ONVIF は ONVIF Inc. の登録商標です。

例 3-5 マイクによるグループ拡声放送

複数の IP オーディオ受信端末に対して同時に放送する場合は、IP ページングゲートウェイに接続したマイクや IP リモートマイクにより拡声放送を行います。





IP リモートマイクのマイクから内部メモリーへ事前に放送内容を録音し、放送を行います。

例 4-1 録音音源の SIP 個別放送

IP オーディオ受信端末1台ごとに放送を行う場合は、各IP オーディオ受信端末へ直接 SIP 接続をして録 音放送を行います。



*録音した音声をパターンに割り当てることで、パターン放送として実行します。

例 4-2 録音音源のグループ放送

複数の IP オーディオ受信端末へ同時に放送を行う場合は、録音音源をマルチキャストで放送します。



*録音した音声をパターンに割り当てることで、パターン放送として実行します。

放送システムのモデルケースをまとめると、以下となります。

			放送先への	D放送形態	
放送の種類	音声ソース		個別放送		グループ放送
宁刑协送	辛酒ファイル	例 1-1	受信端末での単独内蔵 音源放送* ¹	例 1-3	内蔵音源のグループ放 送 ^{* 2}
		例 1-2	内蔵音源の SIP 個別放 送* ²		
		例 2-1	IP 音声インターフェー スのローカル放送* ¹	例 2-3	アナログ音源のグルー プ放送* ²
BGM 欣达		例 2-2	アナログ音源の SIP 個 別放送* ²		
	SIP 端末 (IP-A1RM 含む)	例 3-1	受信端末への SIP 個別 放送 ^{* 2}	例 3-2	SIP 端末からのグルー プ拡声放送* ²
リアルタイム 拡声放送	7イム び VMS ソフト ウェア マイク	例 3-3	受信端末への VMS 個 別放送* ¹	例 3-4	VMS ソフトウェアから のグループ拡声放送* ²
		例 2-1	IP 音声インターフェー スのローカル放送* ¹	例 3-5	マイクによるグループ 拡声放送*2
録音放送	録音音源	例 4-1	録音音源の SIP 個別放 送* ²	例 4-2	録音音源のグループ放 送 ^{* 2}

*1 受信端末を単独で使用するモデルケースになります。設定のしかたは、以下を参照してください。 <受信端末 設定説明書>

・放送機能の使いかたについて

- *2送信端末と受信端末を組み合わせて使用するモデルケースになります。設定のしかたは、以下を参照して ください。
 - <送信端末 設定説明書>
 - ・モデルケース別の設定の流れ
 - <受信端末 設定説明書>
 - · 放送機能の使いかたについて(マルチキャスト放送を行う)

■ モデルケース別の設定の流れ

● 例 1-2 内蔵音源の SIP 個別放送

1 SIP サーバーへの登録設定を行う

IP リモートマイクに登録した音源ファイルの音を SIP で送信する「内蔵音源の SIP 個別放送」を行うには、 以下のステップを参考に設定してください。

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、 **手順1**と9をスキップしてください。

SIP 設定画面で、「SIP アカウント」を ON にします。
 SIP サーバーとの接続のため、「SIP サーバーアドレス」「SIP サーバーポート」「ユーザー ID」「パス
 ワード」「認証 ID」を設定します。

2 音源ファイルを機器にアップロードする

・メディア設定画面で、「内蔵音源リスト」に音源ファイルをアップロードします。

3 放送パターンを作成する

 ・パターン登録画面で音源ファイルを選択し、このパターンでの繰り返し方法や再生間隔、音量などを 個別に設定します。

4 放送パターンの音声を確認する

・パターン登録画面の再生ボタンと停止ボタンを使用して、どのように放送されるか音声で確認できま す。音声は、モニタースピーカーから聞くことができます。

再起動

XE

・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

5 放送パターンを再生するためのイベントトリガーを設定する

・センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションとして、作成した放送パターンを選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

操作キーによるマニュアル操作や、スケジューラーによる日時連動で放送を行う場合は、この設定手順をスキップしてください。

6 キー設定を行う

・キー設定画面でキーのアクションに「パターン放送」を選択し、作成した放送パターンを割り当てます。放送先の設定は、キーの放送先に「SIP ターゲット」を選択し、放送先となる受信端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを入力します。

メモ

スケジューラーによる日時連動の放送や、イベントトリガーによる放送を行う場合は、この設定手順 をスキップしてください。

7 送信優先度を設定する

・優先度設定画面で作成した放送パターンの送信優先度を選択または移動します。

IS P. 36

₽.72

IS P. 78

B P. 41

IS P. 45

RM

🖙 P. 62

P. 68

B P. 71



・ ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、パターン登録画面の「入力ボリューム」の設定項目で音 量を調節します。(P. 68)

ΧŦ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとに音量を調節してください。

4 放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを設定する 分かりやすくなります。 再起動 ・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。 5 放送パターンを再生するためのイベントトリガーを設定する |メ モ| 順をスキップしてください。

・パターン登録画面の再生ボタンと停止ボタンを使用して、どのように放送されるか音声で確認できま す。音声は、モニター出力から聞くことができます。

 ・放送先設定画面で音声送信するマルチキャストチャンネルの「マルチキャストアドレス」と「ポート 番号」(偶数)を設定します。放送エリアの名称などを「グループ名称」に設定すると、設定内容が

・キー設定画面でキーのアクションに「パターン放送」を選択し、作成した放送パターンを割り当てま す。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」を選択し、放送先となるマルチキャス ト送信チャンネルを選択します。

優先度設定画面で作成した放送パターンの送信優先度を選択または移動します。

再起動

次ページへ

・ここまでの設定変更を反映するため、再起動を行います。

P. 36

送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。 1 音源ファイルを機器にアップロードする

・メディア設定画面で、「内蔵音源リスト」に音源ファイルをアップロードします。

2 放送パターンを作成する

・パターン登録画面で音源ファイルを選択し、このパターンでの繰り返し方法や再生間隔、音量などを 個別に設定します。

IP オーディオ送信端末に登録した音源ファイルの音をマルチキャスト音声で送信する「内蔵音源グループ放

3 放送パターンの音声を確認する

 ・センサーやスイッチなどの接点信号と連動した放送は、イベント設定画面で制御入力のアクションと して、作成した放送パターンを選択します。放送先の設定は、「放送先」の項目で「マルチキャスト」 を選択し、放送先となるマルチキャスト送信チャンネルを選択します。

操作キーによるマニュアル操作や、スケジューラーによる日時連動で放送を行う場合は、この設定手

● 例 1-3 内蔵音源のグループ放送



P. 62

P. 68

P.71

P. 49

₽ ₽ 36

8 放送するスケジュールを作成する

IS P. 101

・日時に連動した放送を行うには、スケジューラー画面で放送を実行するスケジュールを作成します。 メモ

イベントトリガーや、操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合は、この設定手順をスキップ してください。

9 送信音声を確認する

- ・設定したイベントトリガー、キー操作、またはスケジューラーを実行し、モニター出力 PG または モニタースピーカー RM から音声が出ることを確認してください。
- ・また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、パターン登録画面の「入力ボリューム」の設定項目で音量を調節します。(P. 68)

メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 2-2 アナログ音源の SIP 個別放送

IP リモートマイクに接続したオーディオプレーヤーやマイクの音を SIP で送信する「アナログ音源の SIP 個別放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、 手順1と6をスキップしてください。



15

6 SIP サーバーへの登録状態を確認する

IC P. 39、 P. 45

・ステータス画面の「SIP 登録状態」または SIP 設定画面の「SIP アカウント」横の表示が「登録成功」 になっていれば、SIP サーバーへ登録されたことを確認できます。

7 送信音声を確認する

- ・設定した操作キー、イベントトリガー、またはスケジューラーを実行し、IP リモートマイクのモニター スピーカーから音声が出ることを確認してください。
- ・また、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、IP リモートマイクの AUX 音量調節器で音量を調節します。

ХE

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 2-3 アナログ音源のグループ放送と例 3-5 マイクによるグループ拡声放送

IP オーディオ送信端末に接続したオーディオプレーヤーやマイクの音をマルチキャスト音声で送信する「ア ナログ音源のグループ放送」、「マイクによるグループ拡声放送」を行うには、以下のステップを参考に設定 してください。



6 送信音声を確認する

- ・設定したイベントトリガー、キー操作、またはスケジューラーを実行し、モニター出力PG または モニタースピーカー RM から音声が出ることを確認してください。
- ・また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。 「メ モ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 3-1 受信端末への SIP 個別放送

IP リモートマイクの本体マイクから SIP で個別の受信端末へ放送を行う「受信端末への SIP 個別放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、 手順1と4をスキップしてください。



・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、IPリモートマイクのマイク音量調節器で音量を調節します。

ΧŦ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 3-2 SIP 端末からのグループ拡声放送

IP リモートマイクや SIP フォンから IP ページングゲートウェイを呼び出すことで、発話音声をマルチキャ スト音声として転送する「SIP 端末からのグループ拡声放送」を行うことができます。以下のステップを参 考に設定してください。**手順1~4**は IP ページングゲートウェイで、**手順5~7**は IP リモートマイクで設 定します。

メモ

- ●本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、
 手順1、5、8 をスキップしてください。
- SIP フォンを送信元とする場合は、**手順5~7**をスキップしてください。

[DTMF 番号とマルチキャスト送信チャンネルを関連付ける場合]





又 モ 各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。





_____ 各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 3-4 VMS ソフトウェアからのグループ拡声放送

本機をネットワークレコーダー (NVR) や Video Management System (VMS) に登録/接続すると、そ れらのクライアントに接続されたマイクからの音声をマルチキャスト音声として転送する「VMS ソフトウェ アからのグループ拡声放送」を行うことができます。以下のステップを参考に設定してください。



各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

メモ

PG

● 例 4-1 録音音源の SIP 個別放送

IP リモートマイクでマイクから自機内へ録音内容を事前に録音し、SIP で送信する「録音音源からの個別放送」 を行うには、以下のステップを参考に設定してください。「操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合」 と、「録音音源を一旦放送パターンとして登録し、イベントトリガーやスケジューラーで放送を行う場合」の 手順を分けて記載しています。

[操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合]

|メ モ|

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、 手順1と4をスキップしてください。



メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

RM



[録音音源を一旦放送パターンとして登録し、イベントトリガーやスケジューラーで放送を行う場合]

メモ

本項目では SIP サーバーを介して SIP 放送をする場合の手順を記載しています。P2P で設定を行う場合は、 手順1と6をスキップしてください。

₽ ₽ 36

IS P. 39、 P. 45

8 送信音声を確認する

- ・設定したイベントトリガーやスケジューラーから放送を実行し、IP リモートマイクのモニタースピー カーから音声が出ることを確認してください。
- ・また、「SIP ターゲット」に設定した受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、録音時に IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量 を調節します。

メモ

各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

● 例 4-2 録音音源のグループ放送

IP リモートマイクのマイクから自機内へ録音内容を事前に録音し、マルチキャスト音声で送信する「録音音 源からのグループ放送」を行うには、以下のステップを参考に設定してください。「操作キーによるマニュア ル操作で放送を行う場合」と、イベントトリガーやスケジューラーから「録音音源を放送パターンとして使 用する場合」の手順を分けて記載しています。

[操作キーによるマニュアル操作で放送を行う場合]



- を確認してください。
- ・また、マルチキャスト受信チャンネルの設定を行った受信端末で音声が出ることを確認してください。
- ・ほかの音源との音量感をそろえたい場合は、録音時に IP リモートマイクのマイク音量調節器で音量 を調節します。

× モ 各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。

28

RM



各スピーカーからの出力音量は、受信端末ごとにそれぞれ音量を調節してください。



■ 接続の準備

本機の工場出荷時の設定は次のとおりです。

ユーザー名 : admin パスワード : guest IP アドレス : 192.168.14.1

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

本機に接続して設定を変更する前に、お使いのパソコンのネットワーク設定を、本機の設定と合わせる必要 があります。また、同一ネットワーク内で、IP アドレスが重複しないようにしてください。 例えば、本機の IP アドレスが 192.168.14.1 になっている場合は、同じ番号にならないよう、お使いのパソ コンの IP アドレスの設定を 192.168.14.10 に設定してください。

■ 接続のしかた

ご注意

- ●同時に複数のパソコンから接続しないでください。
- 同時に複数のブラウザーまたはタブから接続しないでください。

1 本機と設定に使用するパソコンをネットワークに接続する。

2 パソコンでブラウザーを起動し、アドレス欄に「本機の IP アドレス」を入力する。

例:192.168.14.1 ログイン画面が表示されます。 <u>メ モ</u> 工場出荷時の IP アドレスは、「192.168.14.1」に設定されています。



ステータス画面が表示されます。 ブラウザー画面の左に並んでいる各機能の名前をクリックして画

	IP-A1PG
3	ユーザー名 ノはフード ログイン

4	TOA IP-A1PG			2024 / 08 / 02 (金) 11 : 02 : 18	スケジューラー	ログアウト
	> ステータス	ステータス				
	ネットワーク					
	SIP	端末名称	IP-A1PG			
	VMS放送		3.3.0			
	放送先	IPアドレス	192.168.14.1			
	₩GE	MACアドレス	00-05-F9-6F-80-2B			
	音量	動作状態	待機中			
	メディア	放送先				
	バターン	SIP ユーザー ID				
	イベント	SIP 登録状態	未登録			
	優先度					
	コマンド					
	ユーザー					
	メンテナンス					
	システム					
)					
Ĩ						
Ĩ						

表示言語を設定する

本機設定画面の表示言語は、初期設定で「English」になっています。システム設定画面(System)で言語 設定(Language Setting)を変更することで、表示言語を「日本語」に設定できます。

1	TOA IP-A1PG			FEB / 05 / 2024 (Mon) 01 : 10 : 34	Scheduler LOGOUT
	Status	System			SAVE
	Network				2
		Date and Time		V	
	VMS Broadcasting	NTP	• OFF		
	Destination	NTP Server 1			
	Convert	NTP Server 2			
	Audio	Sync with PC	ON		
	Media	Manual Setting			
	Pattern		(YYYY/MM/DD HH:MM:SS)		
		Time Zone	(UTC) Coordinated Universal Time V		
	Event	Enable Daylight Saving Time			
	Priority	2)		
	Command List	Language Setting			
1	User	Language	English ~		
1	Maintenance				
	System				

1 システム設定画面(System)を表示させる。

2 言語設定 (Lauguage) で言語を選択する。

リストから「日本語(Japanese)」を選択します。

3保存(SAVE)ボタンをクリックする。

設定変更が保存されます。 ブラウザーでページを更新すると、表示が日本語になります。

現在の日時を設定する

本機を使用し始めるとき、最初に現在の日時を設定してください。スケジューラーで動作させる場合や、ロ グを確認するために必要な設定です。システム設定画面(**■**3 P.95)で設定を行います。

日付と時刻

NTP サーバー 1

NTP サーバー 2

NTP

ご注意

本機を初めて使用する場合や、長時間通電されていない場合、下記のメッセージが表示されます。



そのときは、下記のいずれかの手順で現在の日時を設定してください。

● 自動で NTP サーバーに日時を同期する

1「NTP」を ON にして、日時を同期する NTP サーバーを指定する。

NTP サーバーは 2 つ設定することができます。 「NTP サーバー 1、2」には IP アドレスまたはドメインを入力してください。 優先的に「NTP サーバー 1」へ同期します。

2 「タイムゾーン」を選択する。

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択 してください。 日本で使用する場合は、「(UTC+09:00)大 阪、札幌、東京」を選択してください。

タイムゾーン	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京	~
++マータイル 右林		

ntp.nict.jp

192.168.14.254

3 保存ボタンをクリックする。

設定変更が保存されるとともに、NTP サー バーへ日時を同期します。同期に成功する と、「同期成功」と表示されます。 メモ

- ●NTP サーバーへの日時同期は、以下のと
 - きに実行されます。ただし、同期するタイミングで本機が放送中の場合、同期しません。
 - 「NTP」が ON の状態で、保存ボタンをクリックしたとき
 - 「NTP」が ON の状態で、本機を再起動したとき
 - 「NTP」が ON の状態で、本機が毎日 0:01 となったとき
- ●保存ボタンをクリックしたときに放送機能が実行されている場合は、時刻設定の反映が優先されて実行中の放送は停止します。

日付と時刻	
NTP	ON ● 同期成功
NTP サーバー 1	192.168.14.254
NTP サーバー 2	ntp.nict.jp

● 接続したパソコンの日時に同期する

1「PCと同期」を ON にする。

「NTP」が OFF のとき、設定を変更できます。

2 「タイムゾーン」を選択する。

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。 日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。

3 保存ボタンをクリックする。

設定変更が保存されるとともに、設定画面を表示しているパソコンの現在の日時と同期します。 同期は一度だけ実行されます。定期的に自動で同期するわけではありません。 又 王 保存ボタンをクリックしたタイミングで放送機能が実行されている場合、時刻設定の反映を優先し、実 行中の放送は停止します。

● 手動で日時を設定する

1 「手動設定」に現在時刻を入力する。

「NTP」が OFF のとき、「PC と同期」が OFF のときに手動で日時を入力できます。

手動設定 2023 / (年/月/日時:

_/_6__/_28___15___ 時分秒)

PCと同期

ON O

2 「タイムゾーン」を選択する。

本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。 日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。

3 保存ボタンをクリックする。

入力された日時が保存されます。

メモ

保存ボタンをクリックしたタイミングで放送機能が実行されている場合、時刻設定の反映を優先し、実 行中の放送は停止します。



各画面共通の操作のしかた

■ 画面構成について

						(4)	(5)	(6)
1	TOA IP-A1PG					2024 / 02 / 05 (月) 01 : 12 : 10	<u>スケジューラー</u>	(0/70)
	ステータス	ネットワーク	•		-		3	保存
>	ネットワーク		2					
	SIP	端末名称	IP-A1PG					
	VMS放送	IPアドレス	192 . 168 . 14 . 1					
	放送先	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0					
	転送	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0					
	 音量	プライマリ DNS サーバー	0.0.0.0					
	メディア	セカンダリ DNS サーバー	0.0.0.0					
	パターン	HTTP ポート	80					
	イベント							
	優先度							
	ド							
	メンテナンス							
	システム							
		, ,						

	1	
	名称	内容
1	設定メニュー	設定メニューをクリックすると、設定項目画面が切り換わります。 設定内容を変更した場合は、設定項目画面を切り換える前に保存ボタン により変更内容を保存してください。
2	設定項目画面	各設定メニューごとの設定項目が表示されます。 設定内容を変更した場合は、設定項目画面を切り換える前に保存ボタン により変更内容を保存してください。
3	保存ボタン	設定変更内容を保存するためのボタンです。
4	現在時刻表示	本機の現在時刻が表示されます。
5	スケジューラーボタン	スケジューラー画面に切り換わります。放送や動作のスケジュールを設 定することができます。
6	ログアウトボタン	設定内容の確認や設定変更が完了した後、ログアウトする場合にクリックします。ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

| 設定・変更内容の保存のしかた

設定項目の変更を行った場合、保存する必要があります。設定画面により、すぐに設定・変更が適用される 場合と、再起動後に適用される場合があります。



ご注意

各画面(ステータス画面、メディア設定画面、メンテナンス画面を 除く)で内容を設定・変更した後に保存ボタンをクリックしないで 画面を切り換えようとすると、右の画面が表示されます。

- 設定内容を保存する場合 いいえボタンをクリックし、各画面で保存ボタンをクリックして から画面を切り換えてください。
- 設定内容を保存しない場合 はいボタンをクリックすると、設定した内容が保存されずに別の 画面に切り換わります。

設定を保存せずにページを移動しますか?						
はいを押すと、設定を保存せずにページを移動します。 いいえを押すと、元の設定画面に戻ります。						
いいえ	はい					

■ 再起動のしかた

本機の再起動の手順は次のとおりです。



2 再起動ボタンをクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

3 はいボタンをクリックする。

本機とのネットワーク接続が切断され、本機が自動的に再起動を行います。



再起動

再起動

<u>9</u>

■ ログアウトのしかた

				グアウトボタン
TOA IP-A1PG			2023 / 06 / 23 (金) 15 : 15 : 30	スケジューラー ログアウト
> ステータス	ステータス			
ネットワーク				
SIP	端末名称	IP-A1PG		

本機の設定の確認や変更が完了した後に接続を切断するときは、ログアウトボタンをクリックしてください。 ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。


■ 設定メニューの構成について

画面左に表示される設定メニューは、機種ごとに異なります。

IP-A1PG、IP-A1RM



	設定メニュー	設定項目	設定変更 の適用	参照ページ
1	スケジューラー	繰り返しの定時放送やイベント実行のスケジュー ル登録、編集、削除 1週間のスケジュールを一覧表示、年間スケジュー ルの確認	即時	P. 101
2	ステータス画面	現在のファームウェアバージョンやネットワーク 設定などの確認		P. 39
3	ネットワーク設定画面	IP アドレスなどのネットワークアドレスの設定	再起動後	P. 44
4	SIP 設定画面	SIP 接続の有効/無効、SIP サーバーアドレス、 認証情報、オーディオコーデックの設定	再起動後	P. 45
5	VMS 放送設定画面 PG	VMS 接続の有効/無効や認証情報の設定、接続 ポートの設定	再起動後	P. 48
6	放送先設定画面	放送先としてグループ名称を登録、マルチキャス トアドレスおよびポート番号を設定	再起動後	P. 49
7	転送設定画面 PG	SIP 着信時の放送先の選択方法(DTMF / 固定) を設定、VMS との接続時のオーディオチャンネル と放送先の対応関係を設定	再起動後	P. 51
8	音量設定画面	ライン/マイク入力のミュートと感度設定(PG) マイク(本体マイク)の感度設定およびAUXの ミュートと感度設定(RM)	即時	P. 58
9	メディア設定画面	メッセージなどの音源ファイルを内蔵メモリーに 登録/削除		P. 62
10	パターン登録画面	イベントに連動させる音源再生をパターンとして 登録	即時	P. 68
1	イベント設定画面	制御入力に連動する動作、制御出力に連動させる 動作の設定	再起動後	P. 72
(12)	優先度設定画面	放送の音源に対する優先順位設定	再起動後	P. 78
13	コマンドリスト画面	コマンドセットとして複数の HTTP コマンドを登録、設定	即時	P. 81
(14)	ユーザー設定画面	ユーザー名とパスワードの変更	即時	P. 83
15	メンテナンス画面	設定ファイルダウンロード/アップロード、初期 化、ファームウェア更新、ハードウェア再起動、 動作ログのダウンロード		P. 84
16	システム設定画面	日時設定と NTP 設定、タイムゾーン、言語の設定	即時*	P. 95
	キー設定画面 RM	操作キーに割り当てるアクション、放送先などの 設定	即時	P. 41
18	チャイム設定画面 RM	放送の開始および終了時に鳴動させるチャイムの 設定	即時	P. 66

* IP-A1RMの液晶画面のメニュー表示言語は、再起動後に変更が反映されます。

ステータス画面の表示

現在の本機の状態を表示します。

このページは表示のみですので、このページでは内容の変更は行えません。

1	えて TOA IP-A1PG 2024/08/02(金) 11:02:18 スケジューラー ログアウ					ログアウト	
>	ステータス	ステータス					
	SIP	1 端末名称	IP-A1PG				
	VMS放送 2	ファームウェアパージョン	3.3.0				
	放送先	 IPアドレス 	192.168.14.1				
	#it (4)	MACアドレス	00-05-F9-6F-80-2B				
	音量	5 動作状態	待機中				
	รรังร 🚯	放送先					
	パターン	7 siP ユーザー iD					
	-772F <u>8</u>	SIP 登録状態	未登録				
	優先度						
	システム						

	項目	内容
1	端末名称	ネットワーク設定画面(P.44)で設定した機器名称が表示されます。
2	ファームウェアバージョン	本機のファームウェアバージョンが表示されます。
		(📭 P.89 「ファームウェア更新のしかた」)
3	IP アドレス	ネットワーク設定画面(P. 44)で設定した IP アドレスが表示されます。
4	MAC アドレス	本機の MAC アドレスが表示されます。
5	動作状態	本機の動作状態を表示します。(IST P. 40「ステータス表示と状態表示灯について))
6	放送先	本機が放送動作中に、どのマルチキャスト送信チャンネルを使用して放送しているか表示します。放送先設定画面で設定された各マルチキャスト送信チャンネルのグループ名称を表示します。 ー : 放送を行っていない状態 グループ名称 : 表示された放送先へ音声送信中
7	SIP ユーザー ID	SIP サーバーに登録される本機のユーザー ID が表示されます。 (☞ P. 45 「SIP 設定画面」)
8	SIP 登録状態	 SIP サーバーに登録するときの本機の登録状態が表示されます。 (■③ P. 45「SIP 設定画面」) ●登録成功 ●登録失敗 ●登録中 ●未登録

■ ステータス表示と状態表示灯について

ステータス画面におけるステータス項目の表示と状態表示灯は以下のような関係となります。

		マイク表示灯	状態表示灯
本機の状態	ステーダス画面の ステータス表示	IP-A1RM (青)	IP-A1PG、IP-A1RM (緑、青、黄、赤)
システム起動中		消灯	緑色点滅 🍎 🍎 🌒 0.5 - 0.5 - 1 秒
	待機中	消灯	緑色点灯 ●
音源確認中 RM	待機中	消灯	緑色点灯 ●
音源録音中 RM	待機中	青色点灯 🔵	緑色点灯 ●
放送中	PG SIP DTMF 入力待ち SIP (マルチキャスト転送中) VMS (マルチキャスト転送中) パターン ## (音源ファイル名) (マ ルチキャスト放送中) LINE / MIC 入力 (マルチキャスト 放送中) RM マイク (SIP 発呼中/放送中、マ ルチキャスト放送中) RM AUX (SIP 発呼中/放送中、マル チキャスト放送中) 録音音源 (SIP 発呼中/放送中、	− 青色点灯 ●	青色点灯 ●
	マルチキャスト放送中) パターン ##(音源ファイル名)(SIP 発呼中/放送中、マルチキャスト 放送中)	/月灯	
システムミュート中*	システムミュート中	消灯	赤色点滅 崔 🕒 0.5 - 0.5 秒
初期化中 ファームウェア更新中	_	消灯	黄色点灯 😑

* システムミュート中とは、本機のミュート端子または制御入力への信号によって、本機からの放送音声が 停止するとともに、同一ネットワークの IP スピーカーがミュートするように制御されている状態です。

RM

選択キーに関する設定を行います。設定した内容は本機の液晶画面に反映されます。

キー設定画面



①ページタブ

タブをクリックすると、該当のキー設定画面に切り換わります。

各タブで10個の選択キーへ機能を割り当て、合計で50種類のアクションを設定することができます。

②キー設定

それぞれのキーに割り当てるアクションを設定します。

	項目	内容
A	キー名称	選択キーの名称を設定します。設定した名称は、本体の液晶画面のキー 名称欄に表示されます。 表示可能な文字数は、全角 16 文字、半角 32 文字です。 初期設定: Key 1 ~ 50
		 × 王 本機での文字の表示は、字数によって次のようになります。 全角文字の場合 1~6文字 : 16 ポイント、1行 7~8文字 : 12 ポイント、1行 9~16文字 : 12 ポイント、2行 半角文字の場合 1~12文字 : 16 ポイント、1行 13~16文字 : 12 ポイント、1行 17~32文字 : 12 ポイント、2行

	項目	内容
В	アクション	各キーを押したとき実行するアクションを選択します。選択したアク
		ションごとに設定可能な項目が変わります。
		初期設定:マニュアル放送
		[アクションに「マニュアル放送」を選択した場合]
		マニュアル放送で使用する音源を選択します。複数を選択した場合は、
		本体での放送操作時に音源を手動で選択します。選択するには、該当
		するチェックボックスにチェックを入れます。
		マイク:本体マイクからの音声を送信します。
		録音 :本体マイクから自機内に事前に録音した音声を送信します。
		AUX : AUX 入力からの入力音声を送信します。
		[アクションに「パターン放送」を選択した場合]
		内蔵音源によるパターン放送を実行します。パターン登録画面で設定
		されたパターン名称を表示します。
		設定範囲: Pattern 1 ~ 20
		[アクションに「制御出力」を選択した場合]
		制御出力を ON/OFF します。
		[アクションに「コマンドセット」を選択した場合]
		コマンド画面で設定したコマンドセットを実行します。コマンドセッ
		ト名を表示します。
		設定範囲: Command Set 0 ~ 9
C	放送先	アクションにマニュアル放送またはパターン放送を設定した場合に、
		放送先を選択します。
		瓜达元にマルナヤヤストを迭折し、瓜达元こなるマルナヤヤスト送信 生チャンクルを選択します
		ルティンネルを迭入します。 設定範囲:Multicast 1 ~ Multicast 20
		「LIBMMXXXとT」フるロ」 放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる SIP 端末の SIP ユー
		f f f f f f f f f f
		「IP ページングゲートウェイ経由でグループ放送を行う場合]
		放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる IP ページングゲー
		トウェイの SIP コーザー ID/IP アドレスを入力します。
		IPページングゲートウェイの転送設定画面(P 51)で、放送先選択
		を「DTMF」に設定しているときは、放送したいマルチキャスト送信
		先に対応する DTMF 番号を入力します。
		放送先選択を「固定」に設定しているときは、DTMF 番号の入力は不
		要です。
		初期設定:マルチキャスト Multicast#(#はキーの番号ごとに異な
		ります。)
D	チャイム	アクションにマニュアル放送を設定した場合に、放送開始および終了
1		時のチャイム鳴動の有無を選択します。なお、この項目での設定にか
		かわらず、本機のキー操作で放送を行うときにチャイム鳴動の有無を
		変更できます。
1		チャイム鳴動させるときはチェックボックスにチェックを入れます。
		初期設定:チェックあり

	項目	内容
E	制御出力	アクションにマニュアル放送を設定した場合に、放送に連動して制御 出力から信号を送り外部機器を制御することができます。 チェックボックスにチェックを入れると、設定されたキーによる放送 を開始したときに外部制御出力がオンになり、放送が停止したときに オフになります。 初期設定:キー1~20 チェックあり キー21~50 チェックなし
		× モ アクションにパターン放送を選択した場合、放送に連動した制御出力 の設定はパターン設定画面で行い、その設定状態をキー設定画面で表 示します。

③保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。 📭 P.35



本機のネットワーク関連の設定を行います。

1	TOA IP-A1PG			2024 / 02 / 05 (月) 01 : 12 : 10	スケジューラー ログアウト
		- ネットワーク			7 保存
>	ネットワーク				
	SIP	端末名称	IP-AIPG		
	vms放送 (2)		192 . 168 . 14 . 1		
	放送先	3 サブネットマスク	255 , 255 , 255 , 0		
	転送 (4)	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0		
	音量	プライマリ DNS サーバー	0.0.0.		
	マディア	り セカンダリ DNS サーバー	0.0.0.		
	パターン	6 нттр ポ- ト	80		
	1026				
	優先度				
	ゴマンド				
	システム				

	項目	内容
1	端末名称* 1、* 2	本機の端末名称を設定します。 初期設定:品番
2	IP アドレス*2	本機の IP アドレスを設定します。 プライベートアドレスのみ入力可能です。 初期設定:192.168.14.1
3	サブネットマスク*2	本機のサブネットマスクを設定します。 初期設定:255.255.255.0
4	デフォルトゲートウェイ*2	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 初期設定:0.0.0.0
5	DNS サーバー	DNS サーバーのアドレスを設定します。プライマリ DNS サーバーとセ カンダリ DNS サーバーを設定することができます。 初期設定:0.0.0.0 (無効)
6	HTTP ポート	HTTP サーバーポート番号を設定します。通常は初期設定のままで使用 してください。 設定範囲:80または 10000 ~ 40000 初期設定:80
$\overline{\mathcal{O}}$	保存ボタン	

*1 設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

*2設定ファイルアップロード時に設定が変更されず、元の設定値を維持する項目です。

SIP 設定画面

SIP 接続に関連する設定を行います。

PG TOA IP-A1PG 14 SIP OFF 未登録 SIP アカウント設定 VMS放送 SIP アカウント 2 SIP サーバーアドレス (3) 4 登録有効期限 **5** ユーザー ID 6 7 パスワード אראב 8 その他の設定 **9** オーディオコーデック 有効 ← G722 G711u → G711a 1 通話時間制限 3600 秒 (12) (13) 優先放送元

RM

1				2024 / 02 / 05 (月) 01 : 39 : 20	スケジューラー ログアウト
		SIP			14 ^{@##}
	キー設定		0FF #843		
>	SIP	SIP アカウント			
	放送先	2 SIP サーバーアドレス			
	^{**} 3-	SIP サーバーポート	5060		
	メディア	4 登録有効期限	1800 秒		
	チャイム				
	パターン	3 <u>1</u> <u>5</u> 10 <u>第</u> <u>7</u> <u>2</u> <u></u>			
	イベント				
	優先度				
	אלדב 🕛				
		その他の設定			
		9 オーディオコーデック	無効		
	システム	•	Opus 🗸		
			← 6722 ≎ G711u ≎		
			→ G711a ^		
		10 呼び出し時間制限	25 秒		
	U -	通話時間制限	3600 秒		
		12 RTP タイムアウト	30 10		

	項目	内容
1	SIP アカウント設定	スイッチをクリックして、SIP アカウントの有効・無効を切り換えます。 ON :SIP アカウントは有効となり、SIP サーバーへ登録されま す。
		OFF :SIP アカウントは無効となり、SIP サーバーへ登録されません。
		初期設定 · OFF SIP サーバーへの登録状態が、右側に表示されます。 ● 登録成功
		 ● 登録失敗 ● 登録中 ● 未登録
2	SIP サーバーアドレス*	SIP サーバーのアドレスを設定します。IP アドレスまたはドメイン名を 設定することができます。 初期設定:空欄
3	SIP サーバーポート	SIP サーバーと通信するためのポート番号を設定します。 設定範囲:1024 ~ 65532 初期設定:5060
4	登録有効期限	本機が SIP サーバーに登録をリクエストするときの有効期限を設定しま す。SIP サーバー側に設定されている登録有効期限に合わせて適切な値 を設定してください。(単位:秒) 設定範囲:60~7200 初期設定:1800
5	ユーザー ID *	SIP サーバーに登録するときの本機のユーザー ID を設定します。多くの 場合、本機を呼び出すときの番号として使用します。 初期設定:空欄
6	表示名称*	SIP フォンなどの他の SIP デバイスに表示する名称を設定します。ユー ザー ID と同じでも構いません。 初期設定:品番
7	パスワード*	本機を SIP サーバーに登録するためのパスワードを設定します。 初期設定:空欄
8	認証 ID *	SIP サーバーに本機を登録するときの認証 ID を入力します。使用する場合はチェックボックスにチェックを入れます。 初期設定:チェックボックス、チェックなし、認証 ID 空欄
9	オーディオコーデック	SIP 放送で使用するコーデックを右側の有効枠に、使用しないコーデックを左側の無効枠の中に移動させます。 Opus、G722、G711u、G711aのそれぞれのコーデック名のボタンを 選択し、コーデック名の左側にチェックマークが表示された状態で「←」 ボタンや「→」ボタンをクリックして、どちらかの枠の中に移動させます。 有効枠の中に複数のコーデックを選択している場合は、Vボタンや∧ボ タンをクリックして上下の順番を並び替えることで、それぞれのコーデッ クの優先順位を設定できます。(上側にあるコーデックの方が、下側のコー デックよりも優先して選択されます。)
10	呼び出し時間制限 RM	SIP 接続の呼び出し時間の上限を秒数で設定します。(単位:秒) 設定範囲:25 ~ 60 初期設定:25
1	通話時間制限	SIP 接続の通話時間の上限を秒数で設定します。(単位:秒) 設定範囲:1 ~ 18000 初期設定:3600
12	RTP タイムアウト	設定した時間、本機に RTP パケットが届かない場合に接続状態がタイム アウトし、切断されます。 設定範囲:5~3600秒 初期設定:30秒

*設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

	項目	内容
13	優先放送元 PG	優先放送元に設定された端末から SIP 着呼すると、他の端末からの SIP 放送を実行中であっても、割り込んで放送を開始します。使用する場合 はチェックボックスにチェックを入れます。 初期設定:チェックボックス チェックなし、優先放送元 空欄
14)	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

VMS 放送設定画面

PG

VMS 接続に関連する設定を行います。

81	TOA IP-A1PG				2024 / 02 / 05 (月) 01 : 18 : 23	スケジューラー ログアウト
		VMS 放送				G RF
		~				
	SIP	VMS 放送機能				
>	vмs/xik (2)-	制御ポート	9090			
	放送先	3 RTSP ポ−ト	554			
	転送 (4)-	ユーザー名	admin			
	音量	5 パスワード				
	優先度					
	システム					

	項目	内容
1	VMS 放送機能	スイッチをクリックして、VMS 放送機能の使用する・使用しないを切り 換えます。 ON : Onvif サーバーが有効となり、VMS 放送を使用できます。 OFF : Onvif サーバーが無効となり、VMS 放送は使用できません。 初期設定: ON
2	制御ポート	他の機器から本機へ VMS 接続する場合の制御ポートを設定します。 設定範囲 : 9090 または 10000 ~ 40000 初期設定 : 9090
3	RTSP ポート	本機から他の機器へ VMS 接続により映像を配信するための RTSP ポートを設定します。 メ モ ルーターでポートフォワーディングの設定をする場合、LAN 側/ WAN 側のポート番号が一致するように設定してください。 設定範囲 : 554 または 10000 ~ 40000 初期設定 : 554
4	ユーザー名*	他の機器から VMS 接続する場合の本機のユーザー名称を設定します。 初期設定:admin
5	パスワード*	他の機器から VMS 接続する場合の本機のパスワードを設定します。 初期設定:guest
6	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

* 設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

ご注意

WAN 環境で VMS ソフトウェアから VMS 放送を行う場合、VMS ソフトウェアが RTP/RTSP/TCP(Video/ Audio/Audio Backchannel)に対応している必要があります。VMS ソフトウェアの取扱説明書をご確認く ださい。

放送先設定画面

放送先として使用するマルチキャスト送信チャンネルを設定します。

保存

マルチキャスト送信チャンネル設定

	項目	内容
1	グループ名称*	マルチキャスト送信チャンネルの名称を設定できます。受信端末と名称 を合わせることで、放送グループの名称として活用できます。 初期設定:Multicast 1 ~ Multicast 20
2	マルチキャストアドレス/ ポート番号	マルチキャスト音声を送信するための送信アドレスとポート番号を設定 します。マルチキャストアドレスにはクラス D アドレスを入力してくだ さい。ポート番号は偶数を入力してください。 <マルチキャストアドレス> 設定範囲: クラス D アドレス 初期設定: 239.239.14.1 ~ 239.239.14.20 <ポート番号> 設定範囲: 1024 ~ 65532 初期設定: 48000 ~ 48038 (偶数)

* 設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

共通設定

	項目	内容
3	オーディオコーデック	送信するマルチキャスト音声のコーデックを設定します。 Opus : 音声コーデックが Opus となります。 G711u : 音声コーデックが PCMU(G.711u) となります。 G711a : 音声コーデックが PCMA(G.711a) となります。 G722 : 音声コーデックが G.722 となります。 初期設定 : Opus *
4	TTL	送信するマルチキャスト音声のTTL値を設定します。マルチキャストルー ティングが必要な環境では、適切な値に設定してください。 設定範囲:1 ~ 255 初期設定:1
5	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(🖙 P.35)

* ファームウェアが Ver.3.0.1 以前の場合は G.722

転送設定画面

SIP 着信時の DTMF 番号と放送先の転送関係、VMS ソフトウェアとの接続時のオーディオチャンネルと放送先の転送関係を設定します。

	SIP 放送	転送	設定				
81	TOA IP-A1PG					2024 / 08 / 02 (金) 10 : 51 : 04	スケジューラー ログアウト
		転送					5 保存
			SIP	VMS放送			
	SIP						
	VMS放送	放送先選択		DTMF 〇 固定 Multicast 1			
	放送先	2		<i>м</i> ё л (4)			
>	転送	1	01	Multicast 1			
	音量		02	Mullicaet 2			
		× 2	UZ	municasi z			
		3	03	Multicast 3			
		4	04	Multicast 4			
	優先度	5	05	Multicast 5			
		6	06	Multicast 6			
		7	07	Multicast 7			
		8	08	Multicast 8			
	システム		00	Multicaet 0			
		• •	08				
		10	10	Multicast 10			
		11	11	Multicast 11	``		
			18	Multicast 18			
			19	Multicast 19			
		20	20	Multicast 20			

●放送先選択で「DTMF」を選択した場合

放送先選択	◎ DTMF ○ 固定 Multicast 1	~
DTMF	放送先	
1 01	Multicast 1	
2 02	Multicast 2	
3 03	Multicast 3	
4 04	Multicast 4	

●放送先選択で「固定」を選択した場合

放送先選択		🔾 DTMF 🥥 固定	Multicast 1	~
	DTMF	放送先		

	項目	内容
1	放送先選択	 SIP フォンや IP リモートマイクからの音声を転送する放送先の選択方法 を設定します。 設定範囲: DTMF、固定 初期設定: DTMF
		 【「DTMF」を選択した場合】 本機が SIP 着信後、DTMF 番号の入力待ち状態となります。DTMF 番号 を認識すると、DTMF 番号③で割り当てた放送先へマルチキャスト転送を開始します。 【「固定」を選択した場合】 本機が SIP 着信後、指定された放送先へのマルチキャスト転送をすぐに
		開始します。 設定範囲:Mulitcast 1 ~ Multicast 20
2	有効チェックボックス	転送設定として有効化する番号にチェックを入れます。 初期設定:1 ~ 10 チェックあり、11 ~ 20 チェックなし

	項目	内容
3	DTMF 番号	放送先となるマルチキャストチャンネルを指定するための DTMF 番号を 設定します。DTMF 番号は 2 桁で設定することができます。異なる転送 設定に対して、同じ DTMF 番号を登録することはできません。 設定範囲:0~9,*,#,A,B,C,D 初期設定:01~20
		 ご注意 本機の DTMF 信号の方式は以下に対応しています。インバンド方式には 対応しておりません。 · DTMF over RTP (RFC2833) · SIP INFO メッセージ
4	放送先	SIP フォンからの音声をどのマルチキャスト送信チャンネルへ転送する か選択します。 放送先設定で設定されているグループ名が表示されます。 設定範囲:Multicast 1 ~ Multicast 20 初期設定:Multicast 1 ~ Multicast 20
(5)	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P. 35)

● VMS 放送 転送設定

1	TOA IP-A1PG			2024 / 02 / 05 (月) 01 : 21 : 14	スケジューラー ログアウト
		転送			3 保存
		010			
		512	2		
	VMS放送	1	放送先		
	放送先	チャンネル1	Multicast 1		
>	転送	チャンネル2	Multicast 2		
	音量	チャンネル3	Multicast 3		
	メディア	チャンネル4	Multicast 4		
	ハターン	チャンネル5	Multicast 5		
	優先度				
	システム				

	項目	内容
1	チャンネル1~5	本機をVMSソフトウェアとONVIFで接続したとき、5つのチャンネルを持つデバイスとして認識します。それぞれのチャンネルと放送先(マルチキャスト送信チャンネル)との転送関係を設定します。
2	放送先	VMS からの音声をどのマルチキャスト送信チャンネルへ転送するか選択 します。 放送先設定で設定されているグループ名が表示されます。 設定範囲: Multicast 1 ~ Multicast 20 初期設定: Multicast 1 ~ Multicast 5
3	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

■ SIP からマルチキャスト放送へ転送する場合の動作につ いて

SIP フォンや IP リモートマイクから IP ページングゲートウェイを呼び出してマルチキャスト放送するときの放送先の選択操作の手順を説明します。

● SIP フォンからの放送先選択操作について

[放送先選択で「DTMF」を選択した場合]

1 SIP フォンから IP ページングゲートウェイを呼び出す。

IP ページングゲートウェイの SIP ユー ザー ID または IP アドレスにより、SIP フォンから呼び出し操作を行います。 IP ページングゲートウェイが自動着信す ると、DTMF 番号の入力待ち状態となり、 以下のような音声が聞こえます。



「ティロリン - ティロリン - ティロリ ン - ティロリン」

DTMF 番号の入力待ち状態は 30 秒間継続し、その間上記の音声が聞こえます。

2 _{放送先に割り当てた DTMF} 番号を入力する。

DTMF 番号の入力待ち状態(30 秒)の 間に、転送設定画面で設定されている放 送したい放送先に割り当てられた DTMF 番号を入力します。 有効となっている正しい DTMF 番号を 入力すると、以下のような音声が聞こえ、 放送できる状態になります。



「ポポピンポンパン」

DTMF 番号の入力待ち状態が 30 秒経過したり、DTMF 番号の入力が間違っていると、以下のような音声が聞こえ、自動的に終話します。

「ポポン – ポポン」

ご注意

本機の DTMF 信号の方式は以下に対応しています。インバンド方式には対応しておりません。 SIP フォンによっては、DTMF 信号の方式を変更できるものがあります。 ・DTMF over RTP (RFC2833)

·SIP INFO メッセージ

3 放送を行う。 受話器からの音声が、選択した放送先へ放送されます。

4 SIP フォンを終話する。

受話器を置いて終話すると、放送を終了します。



2 放送を行う。

IP ページングゲートウェイが自動着信すると、受話器からの音声が選択した放送先へ放送されます。

3 SIP フォンを終話する。

● IP リモートマイクからの放送先選択操作について

[放送先選択で「DTMF」を選択した場合]

事前に、IP リモートマイクの選択キーに放送先を設定しておきます。「IP ページングゲートウェイのSIP ユーザー ID/IP アドレス」と「IP ページングゲートウェイで放送先に設定した DTMF 番号」を割り当てることで、放送先が設定されます。

選択キー ■割り当て例 ユーザー ID : 1234 DTMF 番号 : 01



ングゲートウェイは IP リモートマイク に DTMF 応答を返します。応答を受け ると、IP リモートマイクのマイク表示 灯が青色に点灯し、放送ができる状態に なります。



ХE

DTMF 番号の送出後、IP ページングゲートウェイからの応答を得られない場合も、一定時間経過後に自動的に放送可能状態となります。

2 放送を行う。

IP リモートマイクの本体マイクからの音声が、選択した放送先へ放送されます。

3 放送を終了する。

もう一度 IP リモートマイクの放送キーを押すと、放送が終了します。

[放送先選択で「固定」を選択した場合]

事前に、IP リモートマイクの選択キーに放送先を設 選択キー
 定しておきます。「IP ページングゲートウェイの
 SIP ユーザー ID/IP アドレス」を割り当てることで、
 1
 ユーザー ID : 1234
 放送先が設定されます。



2 放送を行う。

IP リモートマイクの本体マイクからの音声が、選択した放送先へ放送されます。

3 放送を終了する。

もう一度 IP リモートマイクの放送キーを押すと、放送が終了します。

音量設定画面

PG

ライン/マイク入力からネットワークへ送信する音声について設定します。

1	TOA IP-A1PG		2024 / 02 / 05 (月) 01 : 21 : 57	スケジューラー ログアウト
		音量		2 保存
				J
		ラインマイク入力		
	VMS放送			
	放送先	ライン/マイク入力感度 0:0.0 dB v B		
	転送			
>	音量			
	メディア			
	優先度			
	システム			
_				

①ライン/マイク入力感度設定

	項目	内容
A	ライン/マイク入力ミュート	チェックを入れると、ライン/マイク入力からの音声をミュートしま
		す。ライン/マイク入力ミュートは、保存ボタンを押すとすぐに反映
		されます。
		初期設定:チェックなし
В	ライン/マイク入力感度	ライン/マイク入力の感度を設定します。感度設定の変更は、保存ボ
		タンを押すとすぐに反映されます。
		設定範囲:0(0.0 dB)~8(+12.0 dB)
		初期設定:0(0.0 dB)

②保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(№ P.35)



IP-A1RM からネットワークへ送信する音声について設定します。

1	TOA IP-A1RM					2024 / 02 / 05 (月) 01 : 40 : 38	スケジューラー] ログアウト
		音量					2	保存
	キー設定						•	
		音声入力感度						
	sip 🚺	マイク感度	0: 0.0 dB	A				
	放送先	AUX入力ミュート	B					
	音量	AUX入力感度	0: 0.0 dB	C				
					/			
	チャイム							
	優先度							
	システム							

①音声入力感度設定

	月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月	内容
A	マイク感度	本体マイクの感度を設定します。感度設定の変更は、保存ボタンを押
		すとすぐに反映されます。
		設定範囲:0(0.0 dB)~8(+12.0 dB)
		初期設定:0(0.0 dB)
В	AUX 入力ミュート	「チェックを入れると、AUX 入力からの音声をミュートします。AUX
		入力ミュートは、保存ボタンを押すとすぐに反映されます。
		初期設定:チェックなし
С	AUX 入力感度	AUX 入力の感度を設定します。感度設定の変更は、保存ボタンを押
		すとすぐに反映されます。
		設定範囲:0(0.0 dB)~8(+12.0 dB)
		初期設定:0(0.0 dB)

②保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(№ P.35)

音量設定機能の概念図

それぞれの放送音源に対して、どの音量設定が有効であるか、以下の図を参照してください。



RM



~音量設定のコツ~

- •本機へ入力する時点で、音源の音量レベルを上げすぎない。
- (この時点で歪んだ音源は、以降の音量設定により歪みをなくすことはできません。)
- 内蔵音源の間で音量感を合わせるには、「入力ボリューム」を使用して調節すること。
- 受信端末からの出力音量は、それぞれ受信端末ごとにマスターボリュームで音量を調節する。
- 同じ音源で音量を2種類に分けて放送したい(通常音量と緊急音量など)場合は、送信端末から送信する マルチキャストチャンネルを2種類使用することで、受信端末では異なる音源として受信することができ、 音量差を設けた使いかたができます。



内蔵音源のアップロードやダウンロード、削除を行います。

TOA IP-A1PG		2024/02/05(月) 01:23:07 スケジューラー ログアウト
ステータス	メディア	
ネットワーク		
SIP		
VMS放送		
放送先		
転送		
音量		
 メディア 	5 (F) なし ① 世 章	
パターン 🚺	6 🕞 🖈 🕹	
イベント	7 (D) なし む (立) 世 章	
優先度	8 D &L I	
コマンド	9 🕞 tau 🖞 🗄 🗊	
ユーザー	10 🕞 /2U	
メンテナンス	11 🕞 &L	
システム	12 D なし む 意	
	13 🕞 tzu 🏦	
	14 🕞 tau 🗊	
	15 (F) &L 🗊	
	17 (下) なし 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (
	18 pt tau	
	19 p //	
	B C D E	

RM



①内蔵音源リスト

本機に内蔵されている音源ファイルの名称がリスト表示されます。

1~20のメディア番号に音源ファイルが登録されます。本機には WAV 形式または MP3 形式の音声ファ イルがアップロードできます。

	項目	内容
A	内蔵音源の空き容量	本機に音源ファイルをアップロードするための最大容量(80 MB)と 現在の空き容量が表示されます。
В	音源ファイル再生ボタン	内蔵音源リストに登録された音源ファイルをパソコン上で再生し、音 声として確認することができます。音源ファイルが登録されていない と、再生ボタンは有効になりません。
С	アップロードアイコン	パソコンに保存されている音源ファイルを本機にアップロードして内 蔵音源リストに追加します。 (『3 P. 64「音源ファイルのアップロードのしかた」)
D	ダウンロードアイコン	本機に保存されている音源ファイルをパソコンにダウンロードしま す。(IST P. 64「音源ファイルのダウンロードのしかた」)
E	削除アイコン	本機に保存されている音源ファイルを削除します。 (☞ P. 65 「音源ファイルの削除のしかた」)

② 録音音源 RM

IP リモートマイクの本体マイクから録音した音源です。パソコンでの再生、ファイルのダウンロード、削除の操作ができます。

	項目	内容
F	録音音源再生ボタン	本機の本体マイクで録音された録音音源をパソコン上で再生し、音声 として確認することができます。
G	ダウンロードアイコン	本機に保存されている録音音源ファイルをパソコンにダウンロードします。(📭 P. 64「音源ファイルのダウンロードのしかた」)
Η	削除アイコン	本機に保存されている音源ファイルを削除します。 (☞ P. 65 「音源ファイルの削除のしかた」)

| 音源ファイルのアップロードのしかた

内蔵音源をアップロードする手順は次のとおりです。 音源ファイルを保存できる容量は、1 ファイルにつき 30 MB 以内、全体合計で 80 MB 以内です。 対応ファイルのフォーマットは次のとおりです。

WAV ファイル:8/16/44.1/48 kHz サンプリング、8/16 bit、モノラル/ステレオ MP3 ファイル:32/44.1/48 kHz サンプリング、64 ~ 320 kbps、CBR/VBR、モノラル/ステレオ

ご注意

- ●ファイル名に使用可能な文字には制限があります。条件を満たさないファイルはアップロードできません。 P. 97「使用可能な文字」で確認し、ファイル名を使用可能な文字のみに変更してからアップロードして ください。
- ●内蔵音源放送中に、放送中の音源ファイルと同じメディア番号に音源ファイルをアップロードすると、放送が停止します。

メモ

音源ファイルのフォーマットとファイルサイズの目安は下表のとおりです。

音源ファイルのフォーマット	1分あたりの	30 MB あたりの	本機(80 MB)に
	ファイルサイズ	音源長さの目安	保存できる合計時間
WAV(モノラル、48 kHz、16 bit)	5.8 MB	約5分	約 14 分
WAV(モノラル、44.1 kHz、16 bit)	5.3 MB	約5分	約 15 分
WAV(モノラル、44.1 kHz、8 bit)	2.6 MB	約 11 分	約 30 分
MP3(モノラル、320 kbps)	2.4 MB	約 12 分	約 33 分
MP3(モノラル、256 kbps)	1.9 MB	約 16 分	約 42 分
MP3(モノラル、192 kbps)	1.4 MB	約 21 分	約 56 分
MP3(モノラル、128 kbps)	1.0 MB	約 32 分	約83分

上記はあくまで目安時間です。録音する機器やデータの作成方法によっては、これよりも短くなることがあります。

1 音源ファイルを保存したいメディア番号のアップロードアイコン ① をクリックする。 ファイルエクスプローラーが開きます。

2 本機にアップロードしたい音源ファイルを選択する。

3 OK ボタンをクリックする。

アップロードが開始します。 アップロードが完了すると、内蔵音源リストに追加した音源ファイル名が表示されます。

| 音源ファイルのダウンロードのしかた

内蔵音源または録音音源をダウンロードする手順は次のとおりです。

1 パソコンに保存したいメディア番号のダウンロードアイコン
か をクリックする。 ファイルエクスプローラーが開きます。

2 音源ファイルを保存するフォルダーを選択する。

3 OK ボタンをクリックする。

選択した音源ファイルがダウンロードされます。

■ 音源ファイルの削除のしかた

内蔵音源または録音音源を削除する手順は次のとおりです。

ご注意

内蔵音源放送中の音源ファイルを削除すると、内蔵音源放送が停止します。

1 削除したいメディア番号の削除アイコン **をクリックする**。 確認ダイアログが表示されます。

削除しますか?		
	いいえ	はい

2 はいボタンをクリックする。

選択した音源ファイルが削除されます。



マニュアル放送の開始時または終了時に鳴動するチャイムに関連する設定を行います。

1	TOA IP-A1RM						2024	/ 02 / 05 (月) 01 : 41 : 15	スケジューラー	ログアウト
		チャイム							3	保存
	キー設定									
		チャイム設定								
	SIP	開始チャイム	TOAチャイム (開始)		~] (
	放送先 🚺	音量	0: 0 dB	~ B						
	音量	終了チャイム	TOAチャイム (終了)							
	メディア	音量	0: 0 dB	▼ B						
>	チャイム	チャイムリスト								
		1	TOAチャイム (開始)							
		2) TOAチャイム (終了)							
	優先度	3	上り4音チャイム							
	عربة (2)		下り4音チャイム							
		5	2音チャイム			E	-			
		<u>カスタム1</u>	なし							
	システム	-								
7										

① チャイム設定

マニュアル放送の開始時または終了時に鳴動するチャイムの種類の選択と音量の設定を行います。

	項目	内容
A	開始チャイム、終了チャイ ム	マニュアル放送の開始時または終了時に鳴動するチャイムの種類を、 プルダウンメニューから選択します。 初期設定 開始チャイム:TOA チャイム(開始) 終了チャイム:TOA チャイム(終了)
В	- 吾量 - 日量	開始チャイムと終了チャイムの音量を設定します。 設定範囲:–20 dB ~ +20 dB 初期設定:0 dB

② チャイムリスト

1~5にはあらかじめ本機に登録されているチャイムファイルが表示されます。

6、7番目はカスタムチャイムです。任意の音源を本機へアップロードし、チャイムとして使用できます。

	項目	内容
С	再生ボタン	このボタンを押すと、チャイムをパソコン上で再生して音声として確認することができます。
D	アップロードアイコン	パソコンに保存されているカスタムチャイム用音源ファイルを本機に アップロードします。
E	ダウンロードアイコン	本機に保存されているカスタムチャイム用音源ファイルをパソコンに ダウンロードします。
F	削除アイコン	本機に保存されているカスタムチャイム用音源ファイルを削除しま す。

RM

メモ

カスタムチャイムに使用できる音源ファイルの仕様は次のとおりです。

- 最大ファイルサイズ:1ファイルにつき1 MB
- ●対応フォーマット

WAV ファイル: 8/16/44.1/48 kHz サンプリング、8/16 bit、モノラル/ステレオ MP3 ファイル: 32/44.1/48 kHz サンプリング、64 ~ 320 kbps、CBR/VBR、モノラル/ステレオ

③保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)



イベントに連動させて放送できる音源を、放送パターンとして最大 20 個登録できます。

TOA IP-A1PG					2024 / 02 / 05 (月) 01 : 24 : 32 スケジューラー ログアウ
ステータス	パターン				12 麻
ネットワーク	1 2		3		
SIP	テスト 再生 停止		動作状態: 待機中	- 89	
VMS放送	139->28# 4	אדֿרדדע 5	HDELBE 6	7 129-101 7121	入力ポリューム 刺翻出力
版法先	1 Pattern 1	なし	放送回数 ~ 1	□ 3 秒 0 [;]	膨) 0: 0 dB ~
+44C 	2 Pattern 2	なし	放送回数 ~ 1	回 3 秒 0 3	沙 0: 0 dB ~
メディア	3 Pattern 3	なし	放送回数 🗸 1	□ 3 秒 0 ³	沙 0.0 dB ~
> パターン	4 Pattern 4		放送回数 🗸 1		и» 0:0 dB — — —
イベント					
優先度	5 Pattern 5	なし	放送回数 ~ 1		
オイヤロ	6 Pattern 6	なし	放送回数 🗸 1	0 3秒 0 ;	沙 0: 0 dB V
ユーザー	7 Pattern 7	なし	放送回数 🗸 1	□ 3 ₽9 0 ³	吵 0:0 dB ~
システム	8 Pattern 8	なし	放送回数 🗸 1	回 3 秒 0 ;	沙 0: 0 dB ~
	9 Pattern 9	なし	放送回数 ~ 1	回 3 秒 0 3	២ 0:0 dB ∨
	10 Pattern 10		放注问数 又 1		и». 0:0 ив
	11 Pattern 11	なし	放送回数 ~ 1	3 秒 0 ;	炒 0:0 dB ~
	12 Pattern 12	なし	放送回数 ~ 1	回 3秒 0	吵 0: 0 dB 🗸
	19 Pattern 19	なし	放送回数 〜 1	回 3 秒 0	炒 0:0 dB ~
	20 Pattern 20	なし	放送回数 🗸 1	回 3 秒 0	Ø 0:0 dB →

●繰り返し設定⑥で「継続時間」を選択した場合

繰り返し設定			\
継続時間	~	60	秒

	項目	項目
1	再生ボタン	設定したパターンがどのように放送されるか、テスト放送ができます。このボタンを押すと、モニター出力 PG またはモニタースピーカー RM から音声を出力します。
2	停止ボタン	テスト放送中に押すと、テスト放送を停止します。
3	動作状態	本機の動作状態を表示します。 本機が放送状態の場合、どの音声が放送されているか分かるように音源を表示します。(📭 P.40「ステータス表示と状態表示灯について」)
4	パターン名称*	各パターンの名称を設定します。 初期設定:Pattern 1 ~ 20
5	メディアファイル	個々のパターンで放送する音源を、内蔵音源または録音音源から選択します。 初期設定:なし

* 設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

	項目	項目
6	繰り返し設定	放送パターンの繰り返し方法を以下の2つから選択します。 放送回数 :繰り返し放送を、放送回数で指定します。 継続時間 :繰り返し放送を、放送する継続時間で指定します。 初期設定:放送回数
7	放送回数	繰り返し設定⑥で「放送回数」を選択すると、設定が有効になります。イベント トリガー発生後の放送する繰り返し回数を設定します。 設定範囲:1 ~ 10(回) 初期設定:1(回)
8	インターバル	繰り返し放送を行うときの音源の再生間隔(再生終了~次の再生開始までの時 間)を設定します。 設定範囲:0~99(秒) 初期設定:3(秒)
9	ディレイ	イベントトリガー発生後、音源の再生を行うまでの遅延時間を設定します。放送 音声の頭切れなどが発生する場合に活用します。 設定範囲:0~99(秒) 初期設定:0(秒)
10	入力ボリューム	パターンごとの音量を一定にしたり、あるいはパターンによって音量を変えたり するために、個々のパターンに入力ボリュームを設定できます。 入力ボリュームの設定内容は、設定保存後、次回の放送から反映されます。 設定範囲: -20 ~ +20 dB 初期設定: 0 dB
1	制御出力	内蔵音源放送の実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することが できます。 右側のボックスをクリックしてチェックを入れると、本機が内蔵音源放送を開始 したときに外部制御出力がオンになり、放送が停止したときにオフになります。 初期設定:チェックなし
(12)	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)
13	継続時間	繰り返し設定⑥で「継続時間」を選択すると、設定が有効になります。イベント トリガー発生後の放送継続時間を設定します。 設定範囲:5 ~ 3600(秒) 初期設定:60(秒)

繰り返し方法には「放送回数を選択した場合」「継続時間を選択した場合」の2つがあります。 他の設定項目との組み合わせにより、それぞれ以下のように再生されます。

● 放送回数を選択した場合

音源の繰り返し再生回数を指定します。開始トリガーが制御入力で、信号モードが「エッジ」のときや、リモート API による外部制御のときは、以下のように動作します。



● 継続時間を選択した場合

繰り返し再生時間を指定します。開始トリガーが制御入力で、信号モードが「エッジ」のときや、リモート API による外部制御のときは、以下のように動作します。



● 制御入力の信号モードがレベルで、開始~終了を制御する場合

「放送回数」または「放送継続時間」のいずれの設定であっても、信号モードが「レベル」のときは、開始ト リガーから終了トリガーまでの期間で回数無制限の繰り返し再生となります。 音源と音源の間はインターバルの設定時間が適用されます。



■ パターン放送のテストのしかた

選択した放送パターンの放送テストを行う手順は次のとおりです。

ご注意

設定内容がまだ保存されていない状態では、テスト放送の再生ボタンは使用できません。

TOA IP-A1PG	_		2024 / 02 / 05 (月) 01 : 24 : 32 スケジューラー ログアウト
ステータス	19-2 2 2		保存
ネットワーク			
SIP	テスト 再生 停止	動作状態: 待機中	
VMS放送	10	1815-181-181-1711	1.2 3 THE 1-4 49981D
	1 Pattern 1 なし ・	▽ 放送回数 ▽ 1 回 3 秒 0	₩ 0:0 dB V
	2 Pattern 2 なし ・	▼ 放送回数 ▼ 1 回 3 秒 0	秒 0:0 dB マ
メディア	3 Pattern 3 なし ・	✔ 放送回数 ✔ 1 回 3 秒 0	秒 0:0 dB マ
> パターン	4 Pattern 4 なし ・	☆ 放送回数 ☆ 1 回 3 秒 0	10:0 dB 🗸
- イヘント 優先度	5 Pattern 5 なし ・	▼ 放送回数 ▼ 1 回 3 秒 0	10 0:0 dB ▼
7<7	6 Pattern 6 なし	✔ 放送回数 ✔ 1 回 3 秒 0	₩ 0:0 dB V
ユーザー	7 Pattern 7 なし ・	▼ 放送回数 ▼ 1 回 3 秒 0	秒 0:0 dB 🗸
システム	8 Pattern 8 なし ・	✔ 放送回数 ✔ 1 回 3 秒 0	₩ 0:0 dB V
	9 Pattern 9 なし ・	✔ 放送回数 ✔ 1 回 3 秒 0	1⊘ 0:0 dB ∨
	10 Pattern 10 なし	✔ 放送回数 ✔ 1 回 3 秒 0	1∕2 0:0 dB ▼
	11 Pattern 11 なし	▶ 放送回数 ▶ 1 回 3 秒 0	1ð 0:0 dB ▼
	12 Pattern 12 なし	▼ 放送回数 ▼ 1 回 3 秒 0	19 0: 0 dB 🗸
	19 Pattern 19 なし	▼ 放送回数 ▼ 1 回 3 秒 0	秒 0:0 dB V
	20 Pattern 20 なし ・	▼ 放送回数 ▼ 1 回 3 秒 0	₱ 0:0 dB

1 テストしたい放送パターンをクリックして選択する。

2 再生ボタンをクリックする。

選択した放送パターンのテスト放送を開始します。

メモ

音声は、モニター出力 PG またはモニタースピーカー RM から出力されます。マルチキャスト音声としてネットワークへは出力されません。

3 停止するときは、停止ボタンをクリックする。

テスト放送が停止します。

イベント設定画面

接点制御入力および接点制御出力に関連する設定を行います。

PG TOA IP-A1PG 2024 / 02 / 05 (月) 01:26:06 スケジューラー ログ 3 イベント 制御入力 制御入力 1 B C 放送先 転送 レベル · 🗋 制御入力 2 A tu e B 放送先 (1)☑ □ 優先度 制御入力 3 A B · D 信号モード Ć メイク接点 (N.O.) 制御入力4 A 放送先 B ▼ □ C 制御出力 SIP (マルチキャスト転送中) (2) VMS (マルチキャスト転送中) 音声入力 (マルチキャスト放送中)

RM TOA IP-A1RM 3 イベント 制御入力 制御入力 1 A tu B (1)- D 信号モード メイク接点 (N.O.) 制御入力 2 A tu B 放送先 · D 制御出力 表示名 0 Control Out ON ON 2 Control Out OFF OFI マイク B
①制御入力

制御入力ごとにさまざまなイベントアクションを設定でき、外部機器から制御信号を入力することで実行 します。

	項目	内容
A	アクション	制御信号を受けたときに実行するアクションを選択します。選択可能なアクションと、それぞれの信号モードとの組み合わせは次ページの表となります。 初期設定:なし メモ
		制御入力1~4に同じアクションを重複して設定することはできません。ただし、 ライン/マイク入力 (PG)と AUX (RM)は除きます。ライン/マイク入力 (PG)と AUX (RM)は、重複設定することで、異なる放送先のイベントを作成す ることができます。
В	放送先	 アクションの設定に放送するもの(Pattern 1 ~ 20、ライン/マイク入力 PG または AUX RM)を選択した場合に、放送先を選択します。 グループ放送を行う場合は放送先にマルチキャストを選択し、放送先となるマル チキャスト送信先チャンネルを選択します。 設定範囲: Multicast 1 ~ Multicast 20 初期設定: Multicast 1 ~ Multicast # (#は制御入力のチャンネル番号) RM 【個別放送を行う場合】 放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる SIP 端末の SIP ユーザー ID/IP
		アドレスを入力します。 [IP ページングゲートウェイ経由でグループ放送を行う場合] 放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる IP ページングゲートウェイの SIP ユーザー ID/IP アドレスを入力します。 IP ページングゲートウェイの転送設定画面(P. 51)で、放送先選択を「DTMF」 に設定しているときは、放送したいマルチキャスト送信先に対応する DTMF 番 号を入力します。 放送先選択を「固定」に設定しているときは、DTMF 番号の入力は不要です。
С	信号モード	 制御信号の信号モードを設定します。 レベル :制御信号がオンの間だけ指定されたアクションを実行します。オフになると、アクションを終了します。 エッジ :制御信号がオンになる開始トリガーのみ検出します。 初期設定:レベル
D	制御条件	 制御信号の制御条件を設定します。 メイク接点(N.O.) :開放状態を通常とし、短絡するとオンになります。(メイク接点) ブレイク接点(N.C.):短絡状態を通常とし、開放するとオンになります。(ブレイク接点) 初期設定 :メイク接点(N.O.)

設定可能なアクションは、次のとおりです。

×モ

制御入力1~4に同じアクションを重複して設定することはできません。ただし、ライン/マイク入力 PGとAUX RMしは除きます。ライン/マイク入力 PGとAUX RMしは、重複設定することで、異なる放送先のイベントを作成することができます。

設定可能アクション	内容	レベル	エッジ
なし	アクションは設定されていません。	—	_
Pattern 1 ~ 20	内蔵音源によるパターン放送を実行します。	\checkmark *	\checkmark
ライン/マイク入力 PG	ライン/マイク入力による放送の開始または終了を行い ます。	\checkmark	—
AUX RM	AUX 入力による放送の開始または終了を行います。	\checkmark	—
コマンドセット0~ 9	コマンドリスト画面に登録する「コマンドセット」を実行 します。	_	\checkmark
放送停止	制御信号入力中は、「放送停止」となり、本機からの放送 音声の送信を停止し、放送停止状態になります。	\checkmark	—
システムミュート	制御信号入力中は、「システムミュート」となり、本機からの放送音声の送信の停止とともに、マルチキャスト音声ストリームが届く同一ネットワーク内の受信端末に対して、 受信端末単独で実行している放送も含めてシステム全体をミュート状態にすることができます。	\checkmark	

* パターンの繰り返し設定が「放送回数」または「継続時間」のいずれの設定であっても、信号モードが「レベル」のときは、開始トリガーから終了トリガーまでの期間で回数無制限の繰り返し再生となります。

②制御出力

PG

本機の放送実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することができます。 本機がどの放送のときに制御出力をオンにするかを設定します。

 SIP(マルチキャスト転送中)
 : SIP 音声によるマルチキャスト放送中に制御出力がオンになり、放送終了時にオフになります。

 VMS(マルチキャスト転送中)
 : VMS 音声によるマルチキャスト放送中に制御出力がオンになり、

WIS(マルノギャスド転送中) ・ VIIS 自声によるマルノギャスド放送中に制御山力がオンになり、 放送終了時にオフになります。

音声入力(マルチキャスト転送中) :ライン/マイク入力からのマルチキャスト放送中に制御出力がオン になり、放送終了時にオフになります。

初期設定:チェックなし

メモ

内蔵音源放送の放送時の制御出力の設定については、パターン登録画面の「制御出力⑩」 (P.68)をお読みください。



本機の放送実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御することができます。本機がどの放送のときに制御出力をオンにするかを設定します。

	項目	内容
E	表示名	本機の制御出力が ON または OFF の場合の名称をそれぞれ設定しま
		す。
		設定された名称は、選択キーで制御出力を操作する時に、液晶画面の
		制御出力画面で表示されます。
		初期設定
		ON : Control Out ON
		OFF : Control Out OFF
F	制御出力	本機の放送実行時に、制御出力から信号を送って外部機器を制御する
		ことができます。
		本機がどの放送のときに制御出力をオンにするかを設定します。
		マイク :本体マイクからの放送中に制御出力がオンになり、放送終
		了時にオフになります。
		AUX : AUX 入力からの放送中に制御出力がオンになり、放送終
		了時にオフになります。
		初期設定:チェックなし

ХE

内蔵音源放送の放送時の制御出力の設定については、パターン登録画面の「制御出力⑩」 (P. 68)をお読みください。

③保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

● 内蔵音源を放送する <Pattern 1 ~ 20 選択時 >

×モ

以下の説明の「パターン放送」とは、「パターン登録画面」で設定するパターンリストの再生による放送を意味します。パターンリストには、再生する音源の指定および繰り返し再生方法、ディレイ、インターバル、 入力ボリューム、制御出力の有無などの組み合わせが含まれます。



メモ

パターンの繰り返し設定が「放送回数」または「放送継続時間」のいずれの設定であっても、信号モードが「レベル」のときは、開始トリガーから終了トリガーまでの期間で回数無制限の繰り返し再生となります。 音源と音源の間はインターバルの設定時間が適用されます。

RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後には放送は再開されません。

● アナログ音源を放送する <ライン/マイク入力 (PG)または AUX (RM)選択時>



レベル信号入力中は放送を継続します。高優先放送により放送を中断した場合、高優先放送 終了時にレベル信号が継続していれば、放送を再び開始します。

RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後には放送は再開さ れません。

● 放送を止める <放送停止、システムミュート選択時>

「放送停止」および「システムミュート」を制御入力のイベントに設定することで、送信端末からの放送音声 の送信を停止することができます。

制御入力 1 (レベル)	オン オフ —	放送停止	
動作状態	Ⅰ	■ ×	アナログ音源放送
制御入力 2 (レベル)	オン オフ		

「放送停止」は、レベル信号入力中に送信端末からの放送音声の送信を停止し、放送停止状態になります。 「システムミュート」は、レベル信号入力中に送信端末からの放送音声の送信の停止とともに、マルチキャス ト音声ストリームが届く同一ネットワーク内の受信端末に対して、受信端末単独で実行している放送も含め てシステム全体をミュート状態にすることができます。

優先度設定画面

各放送機能の優先度を設定できます。

TOA IP-A1PG		2024 / 02 / 05 (月)	01 : 27 : 02 スケジュ	ューラー ログアウト
ステータス	優先度		2	保存
ネットワーク	ġ	1		
SIP		510 		
VMS放送		UT		
放送先	2			
転送	3			
音量	4	Pattern 2(5(c))		=
メディア	5	Pattern 3(/tzU)		=
パターン	6	Pattern 4(t&L)		=
イベント	7	Pattern 5(t&U)		=
> 優先度	8	Pattern 6(なし)		=
コマンド	9	Pattern 7(t&L)		=
ユーザー	10	Pattern 8(なし)		=
メンテナンス	11	Pattern 9(/¿U)		=
システム	12	Pattern 10(なし)		=
	22	Pattern 20(なし)		=
	23			=
	低			

	項目	内容
1	優先度リスト	上下の順番を並べ替えることで、優先度を変更することができます。上に配置する ほど優先度は高くなり、下に配置するほど優先度は低くなります。ドラッグ&ドロッ プで順番を並べ替えることができます。 動作のしかたは、P. 79「優先度設定による放送の切り換わり動作について」をお 読みください。
		PG 初期設定: 優先度 高 SIP VMS 放送 Pattern 1 ~ 20 優先度 低 ライン/マイク入力放送
		RM 初期設定: 優先度 高 マイク 録音音源 Pattern 1 ~ 20 優先度 低 AUX
2	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P. 35)

● 優先度設定による放送の切り換わり動作について

放送音源に対して優先度を設定することで、高い優先度の放送を割り込ませることができます。代表的な動 作例を以下に示します。

×モ

以下の説明における「パターン」とは、「パターン登録画面」で設定するパターンリストの再生による放送を 意味します。パターンリストには、再生する音源の指定および繰り返し再生方法、ディレイ、インターバル、 入力ボリューム、制御出力の有無などの組み合わせが含まれます。



RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後に は放送は再開されません。



優先度の低いアナログ音源放送は、優先 度の高い放送によって停止されます。レ ベル入力が継続していれば、優先度の高 い放送終了後に復旧します。 優先度の高い放送中に入った優先度の低いアナログ 音源放送のトリガーは実行されません。優先度の高 い放送後に、レベル入力が継続していれば、優先度 の低いアナログ音源放送はそこから実行されます。

RM

* 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後に は放送は再開されません。



優先度の高い放送中に VMS 放送を実行 しても、接続されず放送できません。 優先度の高い放送によって VMS 放送は停止され、 接続が切断されます



HTTP コマンドを登録することで、HTTP 制御が可能なさまざまな機器と連携することができます。

TOA IP-A1PG		2024 / 02 / 05 (月) 01 : 27 : 51	スケジューラー ログアウト
ステータス	コマンドリスト		保存
ネットワーク			
SIP U			
vмsź 2	コマンドセット名 Command Set 0		
放送先			
音量			
メディア			
パターン			
イベント			
優先度	זאראב		
3<75 <	URL		
ユーザー	メゾッド GET マ		
メンテナンス	ユーザー名		
システム	パスワード		
	x ۲۷۷۴ Get ۲		

●コマンド③のメソッド(B)で「POST」を選択した場合

コマンド1	
URL	
メソッド	POST v
ユーザー名	
パスワード	
音源ファイル	E tau v

● コマンドリストの構成

コマンドリストにおけるそれぞれのコマンドとコマンドセットの構成は、以下となります。 イベント設定やスケジューラーでは、コマンドセット単位でアクションに設定できます。



① コマンドセットタブ (C0 ~ C9)

C0 ~ C9 の 10 個のコマンドセットがあり、タブ切り換えによりコマンドセット画面が切り換わります。 それぞれのコマンドセットには、最大 20 個のコマンドを登録することができます。

② コマンドセット名*

コマンドセットそれぞれに名称を設定できます。設定した名称でイベント設定画面などの選択肢に表示されます。

*設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

③コマンド

	項目	内容
A	URL*	登録する HTTP コマンドを入力します。 初期設定:空欄
В	メソッド	 HTTP コマンドのメソッドを以下の2つから選択します。 GET : GET メソッドでリクエストを送信できます。 POST : POST メソッドでリクエストを送信できます。送信端末内の 音源ファイルを受信端末にアップロードするときに使用しま す。指定する URL は、「リモート API 仕様書」をご確認くだ さい。「リモート API 仕様書」については、当社営業所へお 問い合わせください。 初期設定:GET
C	ユーザー名*	HTTP コマンドの送信先の認証に使用するユーザー名を入力します。 初期設定:空欄
D	パスワード*	HTTP コマンドの送信先の認証に使用するパスワードを入力します。 初期設定:空欄
E	音源ファイル	メソッド(B)で「POST」を選択すると設定が有効になります。 HTTP コマンドを使用して受信端末へアップロードする音源ファイル を、内蔵音源、または録音音源 (RM) から選択します。

*設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

④保存ボタン

設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

ユーザー設定画面

パソコンから本機に接続するときのユーザー名やパスワードを設定できます。

メモ

管理者権限は、すべての設定およびスケジューラー機能の変更または編集を行うことができます。 ユーザー権限は、スケジューラー画面へログインし、スケジューラー機能のみの変更または編集を行うこと ができます。

1	TOA IP-A1PG			2024 / 02 / 05 (月) 01 : 29 : 19	スケジューラー ログアウト
		ユーザー			7 保存
		ユーザー情報の変更			
	VMS放送	ユーザー権限	管理者・		
	放送先 2 —	現在のユーザー名	admin		
	転送 3	現在のパスワード			
	^{音量} (4) —	新しいユーザー名			
	メディア 5	新しいパスワード			
	パターン 6	パスワードの確認			
	イベント				
	優先度				
>	ユーザー				
	システム				

	項目	内容
1	権限選択	ユーザー名やパスワードなどのユーザー情報を変更する権限を選択します。 管理者 :管理者権限のユーザー情報を変更します。 ユーザー :ユーザー権限のユーザー情報を変更します。
2	現在のユーザー名*1、*2	現在のユーザーアカウント名称を入力します。 初期設定:admin
3	現在のパスワード*1、*2	現在のユーザーアカウントのパスワードを入力します。 初期設定:guest
(4)	新しいユーザー名*1	新しく設定するユーザーアカウントの名称を入力します。
5	新しいパスワード* ¹	新しく設定するユーザーアカウントのパスワードを入力します。
6	パスワードの確認*1	もう一度、新しく設定するユーザーアカウントのパスワードを入力します。
\bigcirc	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

*1 設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

*2 設定ファイルアップロード時に設定が変更されず、元の設定値を維持する項目です。



本機の設定のバックアップ/復元、設定初期化、ファームウェア更新、ハードウェア再起動ができます。



① 設定ファイル

	項目	内容
A	ダウンロード	本機の設定内容と音源ファイルを、1 つの設定ファイルとして接続したパソコンヘダウンロードすることができます。
В	アップロード	ダウンロードしておいた設定ファイルをパソコンからアップロードすることで、設定内容と音源ファイルを復元することができます。 メモ
		 設定ファイルのアップロードでは、ユーザー設定とネットワーク設定は適用されません。アップロード前の設定状態を維持します。 設定ファイルのアップロード時に、スケジュールデータを除いて適用することを選択できます。詳しくは P.86「設定ファイルのアップロード」をお読みください。

2 設定初期化

	項目	内容	
С	リセット	本機のすべての設定内容を初期設定の状態にリセットします。ただし、 本機の内部に保存された音源ファイルは削除されず、メディア画面に 保持されます。	
D	工場出荷時設定	本機のすべての設定内容を工場出荷の状態にリセットします。本機の 内部に保存された音源ファイルも削除されます。	
E	スケジュール削除	本機のスケジュールデータのみリセットできます。その他の設定は変 更されません。	

③ファームウェア更新

	項目	内容
F	アップデート	パソコンに保存されたファームウェアアップデータを適用すること で、本機のファームウェアをアップデートすることができます。「現 在のバージョン」に本機の現在のファームウェアバージョンが表示さ
		11.59.

④ログ

	項目	内容
G	ダウンロード	本機の動作ログをパソコンヘダウンロードすることができます。

⑤ 再起動

	項目	内容	
Н	再起動	本機の再起動を行います。再起動が必要な設定変更を適用する場合などに使用します。	

| 設定ファイルのダウンロード

本機の設定内容をパソコンに設定ファイルとして保存する手順は次のとおりです。

1 ダウンロードボタンをクリックする。

ファイルエクスプローラーが開きます。

2 設定ファイルを保存するフォルダーを選択する。

3 ファイル名を入力して、保存ボタンをクリックする。

メモ
 設定ファイルの拡張子は「.spconf」です。
 ダウンロード時に自動で以下のファイル名が与えられます。
 <IP アドレス >_<端末名称 >.spconf

設定ファイル	(جەرەپھ
	アップロード
設定初期化	リセット
	工場出荷時設定

■設定ファイルのアップロード

パソコンに保存されている設定ファイルから設定内容を本機に復元する手順は次のとおりです。

ご注意

放送中にアップロードを行うと、すべての放送が停止します。



設定アップロード画面が開きます。

1 アップロードボタンをクリックする。



●ファイル名に使用可能な文字については P.97「使用可能な文字」をお読みください。

4 開くボタンをクリックする。

5 画面に表示されている設定ファイルの名称を確認した上で、更新ボタンをクリックする。 アップロードが開始され、その後に自動的に再起動を開始します。 アップロード中や再起動中は、動作状況を示すポップアップが表示され続けます。途中、設定ファイルのアップロードが完了した時点で、一旦、確認ダイアログが表示されます。

ご注意

受信端末の設定ファイルは、送信端末へアップロードできません。

メモ

- アップロードする前に設定ファイルの適用範囲を選択することができます。
- ●「すべての設定をアップロードします。」(設定初期値) :アップロードする設定ファイルですべての設定データを適用します。
- ●「スケジュールデータを除いて設定をアップロードし、スケジュールデータを削除します。」
 : アップロードする設定ファイルのうちスケジュールデータを除いて設定データを適用します。すでに本機に設定されたスケジュールデータが存在する場合、本機のスケジュールデータは削除されます。

6 OK ボタンをクリックする。

再起動が完了すると、動作状況を示すポップアップの表示が消え、設定アップロード画面に戻ります。

7 設定アップロード画面左上の戻るボタンをクリックする。

ログイン画面に戻ります。

| 設定初期化のしかた

本機のすべての設定内容を初期設定に戻す手順は次のとおりです。

ご注意

- ●次項の工場出荷設定の処理と異なり、本機に内蔵されている音源データは削除されません。
- ●ファームウェアのバージョンは、工場出荷時のバージョンには戻りません。設定初期化する前のバージョンが維持されます。

1 リセットボタンをクリックする。

設定ファイル	ダウンロード
	アップロード
設定初期化	J UUUN
	工場出荷時設定

確認ダイアログが開きます。

2 はいボタンをクリックする。

設定初期化が開始します。 完了すると、確認ダイアログが表示されます。

3 OK ボタンをクリックする。

4 本機を再起動する。

再起動の操作を行い、再起動後に本機のすべての設定が初期化されます。 再起動のしかたは、P.36「再起動のしかた」をお読みください。

メモ

本機のリセットキーを使用しても設定を初期化できます。 詳しい手順は機器に付属の取扱説明書をお読みください。



■工場出荷時の設定に戻す

本機のすべての設定内容を工場出荷時の設定に戻す手順は次のとおりです。

ご注意

- 工場出荷設定を行うと、本機に内蔵されている音源データもすべて削除されます。
- ●ファームウェアのバージョンは、工場出荷時のバージョンには戻りません。設定初期化する前のバージョンが維持されます。

1 工場出荷時設定ボタンをクリックする。

設定ファイル	ダウンロード
	アップロード
設定初期化	リセット
	1 工場出荷時設定

工場出荷設定にしますか?はいを押すとすべての設定が初期化され、

いいえ

すべての内蔵音源が削除されます。

確認ダイアログが開きます。

2 はいボタンをクリックする。

工場出荷状態への初期化が開始します。 完了すると、確認ダイアログが表示されます。

3 OK ボタンをクリックする。

4 本機を再起動する。

再起動の操作を行い、再起動後に本機は工場出荷状態に戻ります。 再起動のしかたは、P.36「再起動のしかた」をお読みください。

■ ファームウェア更新のしかた

本機のファームウェアを更新する手順は次のとおりです。

ХE

最新のファームウェアアップデーターは TOA 商品データダウンロードサイト(https://www.toa-products. com/)で品番を検索してダウンロードしてください。

ご注意

ダウンロードしたファームウェアアップデーターのファイル名は変更しないでください。



ファームウェアアップデーターの拡張子は「.bin」です。

- 4 開くボタンをクリックする。
- 5 画面に表示されているファームウェアアップデーターの名称を確認した上で、更新ボタンをク リックする。

確認ダイアログが表示されます。

6 OK ボタンをクリックする。

新しいファームウェアアップデーターのアップロードが開始します。

アップロードが完了すると、本機の状態表示灯がファームウェア更新中の表示となり、本機が再起動します。

再起動が完了すると、アップデート画面に戻ります。

ご注意

ファームウエアのアップデート中は、再起動や電源の切断を行わないでください。 ファームウェアが破損し、正常に起動できなくなる可能性があります。

7 アップデート画面左上の戻るボタンをクリックする。

ログイン画面に戻ります。

8 もう一度ログインした後、ステータス画面で「ファームウェアバージョン」欄に新しいファームウェアのバージョンが表示されていることを確認する。

メモ

ファームウェアを更新した後も、すべての設定内容や音源データは、初期化されずに維持されます。

■ ログファイルのダウンロード

● ログファイルについて

ログのダウンロードボタンをクリックすると、ログファイルをダウンロード できます。 ログファイルの拡張子は「.log」です。メモ帳などのテキストエディターで 閲覧することができます。 ダウンロードするときに、自動で以下のファイル名が与えられます。

Dグ (ダウンロード)

<IP アドレス >_< 端末名称 >.log
ログファイルに保存されるデータは、端末情報と動作ログになります。

過去 30 日間のログが確認できます。

ファイルサイズは、最大で 15 MB 程度になることがあります。

端末情報	[TERMINAL] (Model) IP-A1AF [TERMINAL] (HW version) 1 [TERMINAL] (MAC Address) 00:05:f9:xx:xx:xx [TERMINAL] (Name) IP-A1AF [TERMINAL] (FW version) x.x.x [TERMINAL] (FW version) 22:168:14.1 [TERMINAL] (IP Address) 192:168:14.1 [TERMINAL] (Subnet Mask) 255:255:255.0 [TERMINAL] (Default Gateway) 0.0.0.0 [TERMINAL] (DNS Server (Primary)) 0.0.0.0 [TERMINAL] (DNS Server (Secondary)) 0.0.0.0
動作ログ	log [2024/08/22 14:41:57 UTC+0900] [SYSTEM] Start Up [2024/08/22 14:42:00 UTC+0900] [AUDIO] Speaker Volume -30 dB [2024/08/22 14:42:00 UTC+0900] [AUDIO] Speaker Mute Disable [2024/08/22 14:42:00 UTC+0900] [AUDIO] LINE/MIC IN Mute Disable [2024/08/22 14:42:00 UTC+0900] [AUDIO] LINE/MIC IN Sensitivity 0.0 dB [2024/08/22 14:42:10 UTC+0900] [AUDIO] LINE/MIC IN Sensitivity 0.0 dB [2024/08/22 14:42:19 UTC+0900] [SYSTEM] Broadcast Function Ready [2024/08/22 14:42:19 UTC+0900] [STATUS] Idle [2024/08/22 14:43:04 UTC+0900] [STATUS] Pattern 1 [2024/08/22 14:43:07 UTC+0900] [STATUS] Idle



	送信端末のログ	変数	ログ内容			
[SY:	[SYSTEM]					
<u>ا</u> آ	Start Up		本機の起動			
	Broadcast Function Ready		放送準備完了			
	Reboot		再起動開始			
	Changing Date and Time		日時設定の変更開始			
	Change Date and Time		日時設定の変更			
	NTP Synchronization Start		NITP 調時の開始			
	NTP Synchronized (NTP Server #)	NITP サーバー 本号 (1 ~ 2)	NTD 調時成功			
	NTP Synchronized (NTP Server #)		NTF			
	status is not Idle)		行版仏窓とはないたのNTF 調時を入 キップ			
	[ERROR] NTP Synchronization Failed		NTP 調時失敗			
гет						
			<u> </u>			
		フルイナッフトイッシュンサルモ				
	SIP to Multicast ##	マルテキャストテャンネル街 号(1~20)	SIP 首戸のマルナキヤスト达信用炉			
	VMS to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	VMS 音声のマルチキャスト送信開始			
	LINE/MIC IN to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	アナログ音声のマルチキャスト送信開始			
	AUX to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	AUX 放送(マルチキャスト送信)			
	AUX to SIP Calling		AUX 放送(SIP 発呼中)			
	AUX to SIP		AUX 放送(SIP)			
	Microphone to Multicast ##	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	マイク放送(マルチキャスト送信)			
	Microphone to SIP Calling		マイク放送(SIP 発呼中)			
	Microphone to SIP		マイク放送 (SIP)			
	Pattern ## to Multicast ##	パターン番号(1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番 号(1 ~ 20)	パターン音声のマルチキャスト送信開始			
	Pattern ## to SIP Calling	パターン番号(1~20)	パターン放送(SIP 発呼中)			
	Pattern ## to SIP	パターン番号(1~20)	パターン放送(SIP)			
	Broadcast Disable		放送停止状態の開始			
	System Mute		システムミュート開始			
ΓΔΙΙ						
	LINE/MIC IN Sonsitivity ## dB	▲ 成 座 設 定 値 (0 0 ~ 12 0)	辛吉入力の咸度設定を亦再			
		窓皮成足삩(0.0~12.0)				
			日戸入力のミュートを無効化			
	MIC IN Sensitivity ## aB	感受政正値 (0.0 ~ 12.0)				
			百円入りのミュートを有効化			
	MIC IN Mute Disable		音戸人刀のミュートを無効化			
	AUX IN Sensitivity ## dB	怒度設定値 (0.0 ~ 12.0)	首戸人刀の感度設定を変更			
	AUX IN Mute Enable		首声人力のミュートを有効化			
	AUX IN Mute Disable	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	音声入力のミュートを無効化			
	Speaker Volume ## (**)	##:スピーカー音量値 (60 dB~0 dB、mute) **:スピーカー音量レベル (0~10)	スピーカー音量の変更			
[EVENT]						
[Control In # ON (Edge)	制御入力番号(1~4)	制御入力がエッジ信号として ON			
	Control In # ON (Level)	制御入力番号(1~4)	制御入力がレベル信号として ON			
	Control In # OFF (Level)	制御入力番号(1~4)	制御入力がレベル信号として OFF			
[ACTION]						
[No Action		実行するアクションが設定されていない			
	Pattern ## Start	パターン番号(1~20)	内蔵音源放送の開始			
· · · · ·		1	1			

Pattern ## End パターン番号 (1 ~ 20) 内蔵音楽成送の焼了 (レベル信号の場合 のみ) LINEFMIC IN Start アナログ音楽成成の開始 アナログ音楽成成の開始 LINEFMIC IN End アナログ音楽成成の開始 アナログ音楽成成の開始 AuX Start アナログ音楽成成の開始 アナログ音楽成成の開始 AuX Start アナログ音楽成成の開始 アナログ音楽成成の開始 AuX End アナログ音楽成成の解告 アナログ音楽成成の解子 Command Set # コマンドセット基合(0 ~ 9) コマンドセット基金実行 Broadcast Disable End 取活体上状態の開始 取活体上状態の開始 System Mule End システムミュートの施了 MAINTENANCEJ レのがのっとしゃる案行 Download Config 最近ファイルのグランロード開始 Upload Config 最近ファイルのグランロード開始 Reset Schulaes スクランコーレやしまット Download Config ログのダンロード開始 Reset Schulaes スクランコーレやしまット Download Config ログランマンティムウェアアップテートの開始 Firmware Update (xox => yyy) yyy : 要形前(-ジョン yyy : 要形前(-ジョン yy) : 要形がージョン アナームウェアアップテートの開始 Reset Schulaes スクジキャンネル番 ワイナキャンネル番 Pattern ## to Multicast ## End パラーンネッシャンネル番 ワイナキャンネル番 Staturn ## to Multicast ## End パラーンネッシャンネル番 アナログ音楽成の解了 </th <th colspan="2">送信端末のログ</th> <th>変数</th> <th>ログ内容</th>	送信端末のログ		変数	ログ内容
LINE/MC IN Startアナログ音声放送の解始LINE/MC IN Endアナログ音声放送の除了AUX Startアナログ音声放送の除了AUX Endアナログ音声放送の除うAUX Endアナログ音声放送の除うCommand Set #コマンドセット満行 (0~9)Broadcast Disable Start放送停止が想の除すBroadcast Disable End放送停止が想の除すBroadcast Disable End放送停止が想の除すBroadcast Disable End放送停止が想の除すBroadcast Disable End放送停止が想の除すBroadcast Disable End放送停止が想の除すBroadcast Disable End放送アフィルのグランロード開始Broadcast Disable Endシステムミュートの離すMINTENARCE]設定フィルのグランロード開始Download Config設定フィルのグランロード開始Download Logログシコールと目せゃReset Schedulesログシコールと目地Download LogログシオールとしせゃFittern ## to Multicast ## Startパターン電号 (1~20)マルチャストチャンネル晶ヴ(1~20)マルチャストチャンネル晶内蔵音源放送の開始SchEDULE]Fattern ## to SIP (target) DTMF dtmPattern ## to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 務呼先 ft (1~20)Pattern ## to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 務呼先 ft (1~20)Pattern ## to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 発呼先 ft (1~20)Pattern ## to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 発呼先 ft (1~20)Pattern ## to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 発呼先 ft (1~20)LINE/MC IN to Multicast ## Startマルチャンチャンネル着 ft (1~20)LINE/MC IN to Multicast ## Startマルチャンネル着 ft (1~20)Aux to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 発呼先 ft (1~20)Aux to SIP (target) DTMF ftmtarget: SIP 発呼先 ft (1~20		Pattern ## End	パターン番号(1~20)	内蔵音源放送の終了(レベル信号の場合のみ)
LINE/MIC IN Endアナログ音声放送の際行AUX Startアナログ音声放送の際行AUX Endアナログ音声放送の際行Command Set #コマンドセット番号 (0 - 9)Broadcast Disable End防法停止其税の限行Broadcast Disable End防法停止其税の限行System Mute Startシステムミュートの開始System Mute Cndシステムミュートの開始Uplead Config防定ファイルのアップロード開始Uplead Config防定ファイルのアップロード開始Download Config防定ファイルのアップロード開始Download Logングジュールを以行Reset SchedulesスグジュールをしせットDownload Logアケン番号 (1 ~ 20)Firmware Update (xxx => yyy)xxx : 更新的パージョン アノン番号 (1 ~ 20)Firmware Update (xxx => yyy)xxx : 更新的パージョン アノン番号 (1 ~ 20)Pattern ## to Multicast ## Startパクシン番号 (1 ~ 20) マルチャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf to SIP (target) Start (DTMF Rather ## to SIP (target) DTMF dtmf to SIP (target) Start (DTMF # 50 (target) DTMF dtmf to SIP (target) DTMF dtmf to SIP (target) DTMF dtmf to SIP (target) DTMF dtmf to SIP (target) DTMF dtmf to 100 マルチャストチャンネル番 マルチャストチャンネル番 マルチャストチャンネル番 マルク音声放送の際治 マリング音声放送の影台 to 1 ~ 20)LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチャストチャンネル番 マルチャストチャンネル番 マリング音声放送の影台 to 1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号 to 1 ~ 20)アナログ音声放送の影行 マログ音声放送の影台 to 1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号 to 1 ~ 20)アナログ音声放送の影台 アナログ音声放送の影台 to 1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号 to 1 ~ 20)アナログ音声放送の影行 スレび音声放送の影台 to 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号 (0 ~ 9)AU		LINE/MIC IN Start		アナログ音声放送の開始
AUX Startアナログ音声放送の開始AUX Endアナログ音声放送の総行Command Set #コマンドセット番号 (0 ~ 9)Broadcast Disable Start防送伸止状態の開始Broadcast Disable End防送伸止状態の開始Broadcast Disable End防送伸止状態の開始System Mule Endシステムミュートの開始System Mule Endシステムミュートの開始Download Config設定ファイルのダウンロード開始Dipload Config設定ファイルのダウンロード開始Dipload Configフアームウェアアップデートの開始Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1~20)Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1~20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先StartType + ケャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先Startマルチキャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先Startマルチキャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先Collマルチキャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先CollCUF EndDiverselマルチキャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先CollCUF EndPattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 務所先CollCure # SizePattern ## to SIP (target) DTMFPattern ## to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番CollCure # SizePattern ## to SIP (target) DTMFPattern ## to SIP (target) DTMFPattern ## to Multicast ## StartCure # SizeSizePattern ## to Multicast #		LINE/MIC IN End		アナログ音声放送の終了
AUX Endアナログ音声放送の終了Command Set #コマンドセット番号 (0 ~ 9)コマンドセット送信票行Broadcast Disable End放送停止状態の踏いBroadcast Disable End放送停止状態の踏いSystem Mute Startシステムミュートの開始System Mute Startシステムミュートの開始Download Config設定ファイルのダウンロード開始Upload Config設定ファイルのダウンロード開始Download Logアグシロード開始Reset Schedulesスケジュールを見下すDownload Logアグシロード開始Firmware Update (xxx => yyy)xxx: 更新的バージョン アメン 要新物バージョンTSCHEDULE]パターン番号 (1 ~ 20)Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1 ~ 20) マルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf to SIP (target) Start (DTMF & dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf to Colla6)target: SIP 免ሞ先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf to Coll6)マルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf to Coll6)マルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)UINE/MIC IN to Multicast ## Endマルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)UINE/MIC IN to Multicast ## Endマルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号アナログ音声放送の続了 号 (1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (市成送の続子 号 (1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF		AUX Start		アナログ音声放送の開始
Command Set # コマンドセット番号 (0~9) コマンドセット送信実行 Broadcast Disable Start 放送停止状態の開始 Broadcast Disable End 放送停止状態の開始 System Mute End システムミュートの開始 System Mute End システムミュートの開始 Dynamicad Config 設定ファイルのダウンロード開始 Upload Config 設定ファイルのグウンロード開始 Download Config 設定ファイルのグウンロード開始 Reset Settings こグのダウンロード開始 Reset Settings ログのダウンロード開始 Reset Settings ログのダウンロード開始 Pattern ## to Multicast ## Start パターン番号 (1~20) アルチャストチャンネル番号 (1~20) アルチャストチャンネル番号 (1~20) Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 End ワルチャストチャンネル番号 (1~20) Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 Puttern ## to SIP (target) DTMF dtmf target: SIP 秀呼先 Pattern ## to SIP (target) Start (DTMF マルチャストチャンネ		AUX End		アナログ音声放送の終了
Broadcast Disable Start放送停止状態の解答Broadcast Disable End放送停止状態の解答System Mute Startシステムミュートの開始System Mute Startシステムミュートの開始System Mute Endシステムミュートの開始Download Config設定リセットを実行Reset Settings認定リセットを実行Reset Schedulesフクジュールを見中Download Logアケームウェアアップデートの開始Firmware Update (xxx => yyy)xx: 世新前/(ージョン)yy: 更新後/(ージョン)アケームウェアアップデートの開始Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmfLarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmfLarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmfLarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endマルチキャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf StartC/ルチャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf EndC/ルチャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) CDTMF dtmf EndC/ルチャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) CDTMF dtmf EndC/ルチャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) CDTMF dtmf EndC/ルチャストチャンネル番Durb/McC IN to Multicast ## StartC/ルチャストチャンネル番Chuff StartC/ルチャストチャンネル番Durb/McC IN to Multicast ## StartC/ルチャストチャンネル番Durb/McC IN to Multicast ## EndC/ルチャストチャンネル番Durb/McC IN to SIP (target) DTMF dtmf StartLarget: SIP 発呼先AUX to SIP (target) DTMF dtmf StartLarget: SIP 発呼先AUX to SIP (target) DTMF dtmf StartSiP 発行AUX to SIP (target) DTMF dtmf 		Command Set #	コマンドセット番号(0~9)	コマンドセット送信実行
Broadcast Disable End 放着中以影響 System Mute Start システムミュートの隙ケ System Mute End システムミュートの隙ケ IMMINTENANCE]		Broadcast Disable Start		放送停止状態の開始
System Mute Start $2\sqrt{7}$ $L \le 1 - NOBMMINTENANCE]2\sqrt{7} L \le 1 - NOBYDownload ConfigBZT 7 - L/DO 7 0 2 D - FilledUpload ConfigBZT 7 - L/DO 7 0 2 D - FilledReset SettingsBZT 7 - L/DO 7 0 2 D - FilledReset Schedules75 9 2 - 1/LO 7 0 2 D - FilledDownload LogD7 0 2 0 2 - FilledFirmware Update (xxx => yyy)xx: T # fill (-92 2)Yyy: \Psi # B (-92 2)77 - LO 2 T 7 - U 0 T 0$		Broadcast Disable End		放送停止状態の終了
System Mute Endシステムミュートの級了[MAINTENANCE]Download ConfigDownload ConfigReset SettingsReset SchedulesDownload LogFirmware Update (xxx => yyy)xx: 三野前リ(ージョン アリンテキマストチャンネル器Firmware Update (xxx => yyy)xx: 三野前リ(ージョン アリンテキマストチャンネル器Pattern ## to Multicast ## Start//Settern ## to Multicast ## Start//Settern ## to SIP (target) DTMF dtmf StartPattern ## to SIP (target) DTMF dtmf EndPattern ## to SIP (target) DTMF dtmf EndUINE/MIC IN to Multicast ## End $(1 \sim 20)$ ILINE/MIC IN to Multicast ## End $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start $S(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftmf Start AUX to SIP (target) DTMF ftm End $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm End $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm End $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm Code $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm End $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm End $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm Code $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm Code $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm Code $(1 \sim 20)$ AUX to SIP (target) DTMF ftm End $(1 \sim 20)$ AUX to		System Mute Start		システムミュートの開始
IMAINTENANCE]地球にないためのDownload Config設定ファイルのグウンロード開始Upload Config設定ファイルのグップロード開始Reset Settings設定リセットを実行Reset Settingsログのダウンロード開始Reset Schedulesログのダウンロード開始Download Logログのダウンロード開始Firmware Update (xxx => yyy)xx : 更新即バージョンZFジョンファームウェアアップデートの開始Firmware Update (xxx => yyy)xx : 更新即バージョンPattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1 ~ 20)Pattern ## to Multicast ## Endパターン番号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号StartPattern ## to SIP (target) DTMF dtmfPattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmftarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) End (DTMFマルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)AUX to Multicast ## Endマルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start DefControl Out OFF New Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール ID Xxx : スケジュールD Yx : オルジュールの開除 Yx : オルジュールの開除 DtmEdit Schedule (id=xxx)xxx : スケジュー		System Mute End		システムミュートの終了
Download Config設定ファイルのダウンロード開始 設定ファイルのダウンロード開始 限定ファイルのダウンロード開始 限定ファイルのダウンロード開始 Reset SchedulesReset Schedulesスケジュールをリセット マグローンアンプートの開始Download Logログのダウンロード開始Firmware Update (xxx => yyy)xxx : 更新的バージョン アゲーンジョン アゲーンクブアーンプデートの開始Firmware Update (xxx => yyy)xxx : 更新的バージョン アゲーンション マルチャストチャンネル番Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1 ~ 20) マルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target SIP 発酵先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 開始 target SIP 発酵先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target SIP 発酵先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 解放 Trufが音号 the SIP (target) DTMF dtmf target SIP 発酵先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf target SIP 発酵先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 解放 Trufが音声放送の開始 号 (1 ~ 20)LINE/MIC IN to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)AUX to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (tar	ГМА	INTENANCE]	L	
Upload Confg設定ファイルのアップロード開始Reset SchedulesスケジュールをリセットDownload Logログのダウンロード開始Firmware Update (xox => yyy)xox : 更新剤バージョン アアップテートの開始JSCHEDULE]アクームウェアアップテートの開始Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Startパターン番号 (1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Starttarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf starttarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf starttarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf starttarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf stor0ac)target: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf stor0ac)マルチキャストチャンネル番 F (1 ~ 20)LINE/MIC IN to Multicast ## End SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号アナログ音声放送の解始 S(1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf M starttarget: SIP 発明先 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End C		Download Config		設定ファイルのダウンロード開始
Reset Settings設定リセットを実行Reset SchedulesスケジュールをリトDownload Logログのグシンロート間始Firmware Update (xxx => yyy)xx : 更新前バージョン yyy : 更新能パージョン yyy : 更新能パージョン マルチャストチャンネル番ファームウェアアップデートの開始Fattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1 ~ 20) マルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)内蔵音源放送の総了 マルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf StartItarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP [kirget)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endtarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP [kirget)Pattern ## to SIP (target) End (DTMF なしの場合)target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 除了 dtmf : DTMF 番号LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 マルチキャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Prtログ音声放送の開始 号 (1 ~ 20)AUX to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 マルチキャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)Prtログ音声放送の開始 号 (1 ~ 20)AUX to Multicast ## Endマルチャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)アナログ音声放送の総了 号 (1 ~ 20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf dtmf : DTMF 番号AUX to SIP farget)AUX to SIP farget)AUX to SIP (target) DTMF dtmf fact dtmf : DTMF 番号 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP farget)AUX to SIP farget)AUX to SIP (target) DTMF dtmf fact dtmf : DTMF 番号aUX to SIP farget)AUX to SIP farget)AUX to SIP (target) DTMF dtmf fact dtmf : DTMF 番号aUX to SIP farget)aUX to SIP farget)AUX to SIP (target) DTMF dtmf fact dtmf : DTMF 番号aUX to SIP farget)aUX to SIP farget)AUX to SIP (target) DTMF dtmf fact dtmf : DTMF 番号aUX to SIP farget)aUX to SIP farget) </td <td></td> <td>Upload Config</td> <td></td> <td>設定ファイルのアップロード開始</td>		Upload Config		設定ファイルのアップロード開始
Reset Schedules スケジュールをリセット Download Log ログのダウンロード開始 Firmware Update (xxx => yyy) xxx : 更新的バージョン yyy : 更新後バージョン ファームウェアアップデートの開始 Firmware Update (xxx => yyy) xxx : 更新的バージョン yyy : 更新後バージョン ファームウェアアップデートの開始 Pattern ## to Multicast ## Start パターン番号 (1~20) マルチャストチャンネル番 号 (1~20) 内蔵音源放送の総了 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf start target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号 Pattern to SIP 開始 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf stort target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号 Pattern to SIP 酸了 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf stort target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号 Pattern to SIP 酸了 ILINE/MIC IN to Multicast ## Start マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の開始 号 (1~20) AUX to Multicast ## Start マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の終了 号 (1~20) AUX to Multicast ## End マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の終了 AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF ftmf End AUX to SIP (target) End (DTMF なし の場合) AUX to SIP 総方 AUX to SIP (target) End (DTMF なし の場合) AUX to SIP 総方 AUX to SIP (target) End (DTMF なし AUX to SIP (target) End (DTMF なし		Reset Settings		設定リセットを実行
Download Log $\Box'' O O O O U - FilliaFirmware Update (xox => yyy)xox : \exists fill (-2i) Z\neg P - \Delta \bigcirc T P \neg \neg \neg T - O \boxdot T P \neg \neg$		Reset Schedules		スケジュールをリセット
Firmware Update (xxx => yyy)xxx : $g = first(-y = y)$ yy : $g = fist(-y = y)$ $7r - \Delta \bigcirc r r y \neg J = -h \bigcirc fist(-h \bigcirc g = y)$ Firmware Update (xxx => yyy)xxx : $g = fit(-y)$ $7r - \Delta \bigcirc r r y \neg J = -h \bigcirc fist(-y)$ $7r - \Delta \bigcirc r r y \neg J = -h \bigcirc fist(-y)$ Pattern ## to Multicast ## Start $I'(y - y) = fit(-y)$ $h \equiv fit(-y)$ $h \equiv fit(-y)$ Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start $I'(y - y) = fit(-y)$ $h \equiv fit(-y)$ $h \equiv fit(-y)$ Pattern ## to SIP (target) Start (DTMF $x \cup 0 = 6 \bigcirc$ $I'(y - y) = fit(-y)$ Pattern to SIP fith(-y) = fit(-y)Pattern to SIP fith(-y) = fit(-y)Pattern ## to SIP (target) End (DTMF $x \cup 0 = 6 \bigcirc$ $T'(y - y) = fit(-y)$ Pattern to SIP fith(-y)Pattern to SIP fith(-y)Pattern ## to SIP (target) End (DTMF $x \cup 0 = 6 \bigcirc$ $T'(y - y) = fit(-y)$ Pattern to SIP fith(-y)Pattern to SIP fith(-y)Pattern ## to SIP (target) End (DTMF $x \cup 0 = 6 \bigcirc$ $T'(y - y) = fit(-y)$ Pattern to SIP fith(-y)Pattern to SIP fith(-y)INE/MIC IN to Multicast ## Start $T'(y - y) = fit(-y)$ $T'(y - y) = fit(-y)$ $T'(y - y) = fit(-y)$ AUX to Multicast ## End $T'(y - y) = fit(-y)$ $T'(y - y) = fit(-y)$ $T'(y - y) = fit(-y)$ AUX to SIP (target) DTMF fot(fit) Start (DTMF fit) $T'(y - y) = fit(-y)$ $T'(y - y) = fit(-y) = fit(-y)$ AUX to SIP (target) DTMF fot(-y) $T'(y - y) = fit(-y) = fit(-y) = fit(-y)$ $AUX to SIP fit(-y) = fit$		Download Log		ログのダウンロード開始
Image: Strict Stric		Firmware Update (xxx => yyy)	xxx:更新前バージョン	ファームウェアアップデートの開始
[SCHEDULE] パターン番号(1~20) マルチキャストチャンネル番 号(1~20) 内蔵音源放送の開始 マルチキャストチャンネル番 号(1~20) Pattern ## to Multicast ## End パターン番号(1~20) マルチキャストチャンネル番 号(1~20) 内蔵音源放送の終了 マルチキャストチャンネル番 号(1~20) Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start target: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号 Pattern to SIP 開始 Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf End target: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号 Pattern to SIP 除了 LINE/MIC IN to Multicast ## Start マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の開始 号 (1~20) AUX to Multicast ## Start マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の開始 号 (1~20) AUX to Multicast ## End マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の開始 号 (1~20) AUX to Multicast ## End マルチキャストチャンネル番 号 (1~20) アナログ音声放送の開始 号 (1~20) AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf Kat AUX to SIP (target) DTMF dtmf Ftd AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) End (DTMF なしの も 台tmf : DTMF 番号 AUX to SIP 稼弾方 AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) End (DTMF なしの Controi Out ON 削縮出力 ON Controi Out OFF 割創加力 OFF 割創加力 OFF New Schedule (id=xxx) xxx : スケジュール ID スケジュールの新聞にた スケジュールの Min Dyy : 分割読入ケジュール ID スケジュールの翻除 Ed			yyy:更新後バージョン	
Pattern ## to Multicast ## Startパターン番号 (1~20) マルチキャストチャンネル番 弓 (1~20)内蔵音源放送の開始Pattern ## to Multicast ## Endパターン番号 (1~20) マルチキャストチャンネル番 ワ (1~20)内蔵音源放送の終了Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Starttarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号Pattern to SIP 開始Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf tat.0/3@合)target: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号Pattern to SIP 影了Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf tat.0/3@合)target: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号Pattern to SIP 影了LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 マーンジョー加速の開始 号 (1~20)アナログ音声放送の開始 マーンジョーンLINE/MIC IN to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 マーンジョーンアナログ音声放送の開始 号 (1~20)AUX to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の開始 マーンジョーンAUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF ftm End AUX to SIP (target) DTMF ftm ft target: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号AUX to SIP 開始AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF ftm ft dtmf: DTMF 番号aUX to SIP [firse]AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) DTMF ftm ft dtmf: DTMF 番号aUX to SIP [firse]AUX to SIP (target) DTMF ftm End AUX to SIP (target) DTMF ftm ft Sotarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF ftm Sotarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF ftm Sotarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF ftm Ft Sotarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF ftm Ft Sotarget: SIP 発呼先 dtmf: DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF ftm Ft Sotarget	[SC	HEDULE]		
Pattern ## to Multicast ## Endパターン番号(1~20) マルチキャストチャンネル番 号(1~20)内蔵音源放送の終了 マルチキャストチャンネル番 号(1~20)Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Starttarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 開始Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endtarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 総プPattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endtarget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 総グLINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチャストチャンネル番 号(1~20)アナログ音声放送の隙分 子ウブ音声放送の隙子LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチャストチャンネル番 号(1~20)アナログ音声放送の際子 アナログ音声放送の際子AUX to Multicast ## Endマルチャストチャンネル番 号(1~20)アナログ音声放送の際子 アナログ音声放送の際子 マルチャストチャンネル番 号(1~20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start dtmf : DTMF 番号AUX to SIP 簡増 AUX to SIP (target) DTMF for U dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start 4(a)target: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP 簡増 AUX to SIP (target) DTMF for Com dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf End 4(a)auget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP 総字 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP (target) DTMF dtmf End 4(a)auget: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP 総字 dtmf : DTMF 番号Control Out ON Control Out ONauget: SIP 発ザュール ID Xx: スケジュール ID Xr ジュールの新規作成スケジュールの新規作成 スケジュールの新規作成Edit Schedule (id=xxx) LiDxx: 分割カイジュール ID Xr ジュールの別除スケジュールの削除Remove Schedule (id=xxx) Lidxx: スケジュール IDスケジュールの削除Aux to Stop Lidxx: スケジュール IDスケジュールの削除 </td <td></td> <td>Pattern ## to Multicast ## Start</td> <td>パターン番号(1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番 号(1 ~ 20)</td> <td>内蔵音源放送の開始</td>		Pattern ## to Multicast ## Start	パターン番号(1 ~ 20) マルチキャストチャンネル番 号(1 ~ 20)	内蔵音源放送の開始
Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start Pattern ## to SIP (target) Start (DTMF dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 開始Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endtarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 終了Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endtarget : SIP 発呼先 		Pattern ## to Multicast ## End	パターン番号(1~20) マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	内蔵音源放送の終了
Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Endtarget : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号Pattern to SIP 終了Pattern ## to SIP (target) End (DTMFマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の開始LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の隙了AUX to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の隙了AUX to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の線了AUX to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 	-	Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf Start Pattern ## to SIP (target) Start (DTMF なしの場合)	target: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号	Pattern to SIP 開始
LINE/MIC IN to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 号 (1 ~ 20)アナログ音声放送の開始 号 (1 ~ 20)LINE/MIC IN to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 マルチキャストチャンネル番 フ・20)アナログ音声放送の終了 号 (1 ~ 20)AUX to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 マルチキャストチャンネル番 ワナログ音声放送の開始 号 (1 ~ 20)アナログ音声放送の開始 マルチキャストチャンネル番 マナログ音声放送の約AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF な b の場合)マルチキャストチャンネル番 		Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf End Pattern ## to SIP (target) End (DTMF なしの場合)	target: SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号	Pattern to SIP 終了
LINE/MIC IN to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の終了 号 (1~20)AUX to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 マルチキャストチャンネル番 ラ (1~20)アナログ音声放送の解始 ラ (1~20)AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF な U の場合)マルチキャストチャンネル番 マルチキャストチャンネル番 マレク音声放送の終了 (1~20)アナログ音声放送の終了 アナログ音声放送の終了AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) DTMF dtmf End 		LINE/MIC IN to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	アナログ音声放送の開始
AUX to Multicast ## Startマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の開始AUX to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の終了AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF なし 		LINE/MIC IN to Multicast ## End	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	アナログ音声放送の終了
AUX to Multicast ## Endマルチキャストチャンネル番 号 (1~20)アナログ音声放送の終了AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF な し の場合)target : SIP 発呼先 		AUX to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	アナログ音声放送の開始
AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF なし の場合)target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP 開始AUX to SIP (target) DTMF dtmf End 		AUX to Multicast ## End	マルチキャストチャンネル番 号(1~20)	アナログ音声放送の終了
AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) End (DTMF なしの 場合)target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号AUX to SIP 終了Command Set #コマンドセット番号 (0~9)コマンドセット送信実行Control Out ON制御出力 ONControl Out OFF制御出力 OFFNew Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDEdit Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDEdit Schedule (id=xxx)xxx : 分割前スケジュール IDRemove Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDAUX to SIP 終了スケジュールの削除Fdit Categoriesカテゴリー編集を実施		AUX to SIP (target) DTMF dtmf Start AUX to SIP (target) Start (DTMF なし の場合)	target : SIP 発呼先 dtmf : DTMF 番号	AUX to SIP 開始
Command Set #コマンドセット番号(0~9)コマンドセット送信実行Control Out ON制御出力 ONControl Out OFF制御出力 OFFNew Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDスケジュールの新規作成Edit Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDスケジュール編集を実施Edit Schedule (id=xxx->id=xxx,yyy)xxx : 分割前スケジュール IDスケジュールを分割Remove Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDスケジュールの削除Edit Categoriesxxx : スケジュール IDスケジュールの削除		AUX to SIP (target) DTMF dtmf End AUX to SIP (target) End (DTMF なしの 場合)	target: SIP 発呼先 dtmf:DTMF 番号	AUX to SIP 終了
Control Out ON制御出力 ONControl Out OFF制御出力 OFFNew Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDEdit Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDEdit Schedule (id=xxx)xxx : 分割前スケジュール IDEdit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)xxx : 分割前スケジュール IDVIDスケジュールを分割Remove Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDEdit Categoriesスケジュールの削除		Command Set #	コマンドセット番号(0~9)	コマンドセット送信実行
Control Out OFF制御出力 OFFNew Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDスケジュールの新規作成Edit Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDスケジュール編集を実施Edit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)xxx : 分割前スケジュール IDスケジュールを分割yyy : 分割されたスケジュー ル IDル IDスケジュールの削除Remove Schedule (id=xxx)xxx : スケジュール IDスケジュールの削除Edit Categoriesカテゴリー編集を実施	[Control Out ON		制御出力 ON
New Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュールの新規作成Edit Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュール編集を実施Edit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)xxx:分割前スケジュール IDスケジュールを分割yyy:分割されたスケジュー ル IDyyスケジュールの削除Remove Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュールの削除Edit Categoriesカテゴリー編集を実施		Control Out OFF		制御出力 OFF
Edit Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュール編集を実施Edit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)xxx:分割前スケジュール ID yy:分割されたスケジュー ル IDスケジュールを分割Remove Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュールの削除Edit Categoriesカテゴリー編集を実施		New Schedule (id=xxx)	xxx:スケジュール ID	スケジュールの新規作成
Edit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)xxx:分割前スケジュール ID yyy:分割されたスケジュー ル IDスケジュールを分割Remove Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュールの削除Edit Categoriesカテゴリー編集を実施		Edit Schedule (id=xxx)	xxx:スケジュール ID	スケジュール編集を実施
Remove Schedule (id=xxx)xxx:スケジュール IDスケジュールの削除Edit Categoriesカテゴリー編集を実施		Edit Schedule (id=xxx=>id=xxx,yyy)	xxx : 分割前スケジュール ID yyy : 分割されたスケジュー ル ID	スケジュールを分割
Edit Categories カテゴリー編集を実施		Remove Schedule (id=xxx)	xxx:スケジュール ID	スケジュールの削除
		Edit Categories		カテゴリー編集を実施

送信端末のログ		変数	ログ内容
Edit Schedules (category=zzz)		zzz:カテゴリー ID	カテゴリーからの繰り返し設定の一括編
	· · · /		集
	Maintenance Start		期限切れスケジュール削除開始
	Maintenance End		期限切れスケジュール削除終了
[KE	Y]		
 	Pattern ## to Multicast ## Start	パターン番号(1~20)	内蔵音源放送の開始
		マルチキャストチャンネル番	
		号(1~20)	
	Pattern ## to SIP (target) DTMF dtmf	target: SIP 発呼先	Pattern to SIP 開始
	Start	dtmf · DIMF 番号	
	rallem ## to SIP (largel) Start (DTMF なしの場合)		
	Pattern ## Broadcasting End	パターン番号 (1~20)	パターン放送終了
	Microphone to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番	Microphone to Multicast 開始
		号(1~20)	
	Microphone to SIP (target) DTMF	target: SIP 発呼先	Microphone to SIP 開始
	dtmf Start	dtmf : DTMF 番号	
	Microphone to SIP (target) Start		
	(DTMF なしの場合)		
	Microphone Broadcasting End		Microphone 放送終了
	AUX to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番	AUX to Mulicast 開始
		亏 (1~20)	
	AUX to SIP (target) DIMF dtmf Start	target: SIP	AUX to SIP 開始
	AUX to SIP (target) Start (DTMF な O の場合)		
	ALIX Broadcasting End		
	Recorded Audio to Multicast ## Start	マルチキャストチャンネル番	Recorded Audio to Mulicast 開始
		号(1~20)	
	Recorded Audio to SIP (target) DTMF	target: SIP 発呼先	Recorded Audio to SIP 開始
	dtmf Start	dtmf : DTMF 番号	
	Recorded Audio to SIP (target) Start		
	Recorded Audio Broadcasting End		Recorded Audio to SIP 終」
	Microphone Recording Start		
	Microphone Recording Stop		414 イイン球百終]
	Recorded Audio Confirmation Start		球音音源冉生唯認の開始
	Recorded Audio Confirmation Stop		録音音源冉生確認の終了 場合、計算工作時間の開始
	Pattern ## Confirmation Start	八ターン番号(1~20)	バターン放送再生確認の開始
	Pattern ## Confirmation Stop	八ターン番号(1~20)	八ターン放送再生確認の終了
	AUX Confirmation Start		AUX放送再生確認の開始
	AUX Confirmation Stop		AUX 放送再生確認の終了
	Delete Recorded Audio		
	Command Set ##	コマンドセット番号(0~9)	コマンドセット送信実行
	Control Out ON		制御出力 ON
	Control Out OFF		制御出力 OFF
	Lock Key		キーロック(オートキーロック含む)
	Unlock Key		キーロック解除
[SIF			
	SIP Server State (xxx)	XXX:	SIPサーバー登録時の状態
		Duregistered	
		Registered	
	SIP Server State (xxx) [\///:777]		
		Registration Failed	
		yyy:	
		Érror Message	
		ZZZ:	
		SIP Response Code	

送信端末のログ	変数	ログ内容
Outgoing (xxx) (yyy)	xxx: Trying	SIP 発呼時の状態
	Connected	
	DTMF sent [char *](RM のみ)	
	DTMF response received [char*] (RMのみ) End	
	yyy:	
Outgoing (xxx) (yyy) [aaa:zzz]	XXX:	SIP 発呼不可
	Ууу Ууу	
	aaa:	
	SIP Error Message zzz:	
Incoming (xxx) (vvv)	SIP response code xxx:	
	Ringing Connected	
	DTMF received [char *] (PGのみ)	
	DTMF response sent [char*1 (PGのみ)	
	High Priority Call Accepted (RM以外)	
	Low Priority Call Rejected (RM 以外)	
	End	
	Remote SIP ID	の日本で不可
incoming (xxx) (yyy) [add.zzz]		
	Remote SIP ID	
	SIP Error message	
	SIP response code	
Command Set n Sent, Total=x (OK=y	n:	コマンドの結果
Error=z)	コマンドセット番号(0~9) v.	
	へ. コマンドの合計数	
	y: OKのコマンド数	
	z: エラーのコマンド数	
[ERROR] Command Set n Command	n: コマンドセット来号(0~.0)	応答なしの場合
	コマノトビット曲方(0~9) m:	
[EDDOD] Command Satin Command	コマンド番号(1~20)	エラーの応答があった提会
m (Response Code: xxx)	… コマンドセット番号(0~9)	エン シルロロロリンリレー物口
	m: コマンド番号(1~20)	
	xxx: レスポンスコード	

* 設定範囲:0~9、*、#、A、B、C、D



日時設定や NTP サーバーとの同期設定を行います。

TOA IP-A1PG			2024 / 02 / 05 (月) 01 : 29 : 50	スケジューラー ログアウト
ステータス	システム			8 保存
ネットワーク				
SIP	日付と時刻			
VMS放送	NTP	• OFF		
放送先	NTP サーバー 1			
転送	► NTP サーバー 2			
音量	PCと同期			
メディア 🗸	手動設定			
パターン		(年/月/日時:分:秒)		
1025		(UTC) 協定世界時		
癌失度	6 サマータイム有効			
איקר	~			
	言語設定			
- v -L	言語	日本語		
メンテナンス				
> システム				

	項目	内容
	NTP	 ON にすると、NTP クライアント機能が有効になります。NTP サーバーへの同期動作が始まると、以下の内容が表示されます。 同期中 : NTP 同期中 同期成功 : NTP 同期成功 同期失敗 : NTP 同期に失敗 初期設定 : OFF
		同期するタイミングで本機が放送中の場合、同期しません。
2	NTP サーバー 1、2 *	NTP サーバーの IP アドレスやドメインを入力し、同期するサーバーを 設定します。 初期設定:空欄
3	PC と同期	ON にして保存ボタン⑧を押すと、接続しているパソコンの現在時刻に 同期します。NTP ①が OFF のとき、設定が可能となります。 初期設定:ON
4	手動設定	手動で現在時刻を設定します。保存ボタンを押すと、設定されます。 NTP ①と PC と同期③の両方が OFF のとき設定が可能となります。
5	タイムゾーン	本機を設置する場所のタイムゾーンを選択してください。保存ボタンを 押すと、設定されます。 日本で使用する場合は、「(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択して ください。 初期設定:(UTC) 協定世界時

* 設定できる文字や文字数については、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

	項目	内容
6	サマータイム有効	チェックを入れると、サマータイムがあるタイムゾーンにおいて、サマー タイムによる時刻修正が有効になります。サマータイムがないタイム ゾーンにおいては、チェックの有無にかかわらずサマータイムによる時 刻修正は実行されません。 初期設定:チェックあり
7	言語設定	ウェブブラウザーでの設定画面および IP-A1RM の液晶画面に表示する 言語を選択できます。 初期設定: English PG 日本語 RM
8	保存ボタン	設定・変更した内容を保存するときにクリックします。(📭 P.35)

設定のしかたは P.32「現在の日時を設定する」を参照してください。

ご注意

本機を約24時間通電することで、無通電状態でおよそ24時間、時刻を保持することができます。ご購入直後や長期間通電されていない場合、現在時刻は保持されていません。最初に現在時刻を設定してください。



使用可能な文字

■ 名称、認証 ID、パスワードに使用可能な文字

対象		最大 文字数	 アルファベット A ~ Z a ~ z 数字 0 ~ 9 	漢字* ¹ ひらが な	カタカ ナ	使用できる記号
ログイン画面	ユーザー名	15	0			×
	パスワード	15	0			記号は使用できません
キー設定画面	+—名称	32 * 2	○*3	0	○*3	 ** (半角スペース) *: (コロン) *: (感嘆符) *: (セミコロン) ** (シャープ) *< * > (不等号) ** (イコール) ** (バーセント) *? (疑問符) *& (アンパサンド) *@ (アットマーク) ** (アンパサンド) *@ (アットマーク) ** (シングルクォー *[*] (角括弧) ** (アスタリスク) ** (アスタリスク) ** (アスタリスク) ** (ガッククォー ** (ガック) ** (ガック) ** (が ** (次括弧) ** (が ** (ボ ** (ボ
ネットワーク設定画 面	端末名称	31*4	○*3	0	* 3	 "!"(感嘆符) "+"(ハイフン) "#"(シャープ) "@"(アットマーク) "\$"(ドル) "[""]"(角括弧) "%"(パーセント) "A"(ハット) "&"(アンパサンド) "[""]"(次子の一八一) "(シングルクォー "{""}"(波括弧) *3
SIP 設定画面	SIP サーバーアドレ ス	253 * 5	0			"-" (ハイフン) "." (ドット)
	ユーザー ID	31	0			"-" (ハイフン)
	表示名称	31	0			"_"(アンダーバー)
	パスワード	31	0			 ""(半角スペース) ""(コロン) ""(感嘆符) ""(セミコロン) ""(シャープ) "<"(イコール) "》(パーセント) "?"(疑問符) "8"(アンパサンド) "@"(アットマーク) ""(シングルクォー [["]](角括弧) ト) "(")(丸括弧) ""(アンダーバー) ""(アスタリスク) ""(バッククォート) "(")(カンマ) "[""](縦棒) ""(ハイフン) "~"(チルダ) "(ドット) "("(スラッシュ)
	認証 ID	31	0			
	優先放送元	31	0			"-" (ハイフン) "_" (アンダーバー) "." (ドット) *6
VMS 放送設定画面	ユーザー名	15	0			×
	パスワード	15	0			記号は使用できません

対	象	最大 文字数	アルファベット A~Z a~z 数字 0~9	漢字* ¹ ひらが な	カタカ ナ	使用できる記号
放送先設定画面	グループ名	32 * 2	O* 3	0	○* 3	""(半角スペース) ":"(コロン)
パターン設定画面	パターン名称	32*2	○*3	0	○*3	 "!"(感嘆符) ";"(セミコロン) #"(シャープ) "<" >" (不等号) \$"(ドル) "="(イコール) "%"(パーセント) "?"(疑問符) "&"(アンパサンド) "@"(アットマーク) "(シングルクォー "[""]"(角括弧) *^"(ハット) "(" *)"(丸括弧) "_"(アンダーバー) "*"(アスタリスク) "`"(バッククォート) +"(プラス) "{" *}"(波括弧) ","(カンマ) " "(縦棒) "-"(チルダ) "."(ドット) *3 "/"(スラッシュ)
イベント設定画面	SIP ユーザー ID 制御出力欄の表示	31	0			"-"(ハイフン) "_"(アンダーバー) "."(ドット)* ⁶ ""(半角スペース) ":"(コロン)
	名	32 * 2	○ *3	0	○ *3	"!"(感嘆符) ";"(セミコロン) "#"(シャープ) "<" *>"(不等号) "\$"(ドル) "="(イコール) "%"(パーセント) "?"(疑問符) "&"(アンパサンド) "@"(アットマーク) "*"(シングルクォー "[""]"(角括弧) ト) "^"(ハット) "("")"(丸括弧) "."(アスタリスク) "*"(アスタリスク) "'"(バッククォー +*"(プラス) ト) ","(カンマ) "{"")"(波括弧) "."(ドット) "~"(チルダ) ","(スラッシュ) *3
コマンドリスト画面	コマンドセット名	32 * 2	*3	0	○*3	 *** (半角スペース) **** (ヨロン) **** (感嘆符) **** (シャープ) *<*** (不等号) **** (ドル) **** (アンパサンド) *@*** (アンパサンド) *@**** (アンパサンド) *@***********************************
	URL	2048 * ⁵	0			 " "!" (感嘆符) " " (ハイフン) " " (シャープ) " " (ドット) " " (ドット) " " (ドット) " " (ハーセント) " " (コロン) " " (アンパサンド) " " (セミコロン) " " (シングルクォー " " (イコール) ト) " " (疑問符) " (アスタリスク) " " (アンダーバー) " " (カンマ) " " (チルダ)
	ユーザー名	15	0			×
	パスワード	15	0			記号は使用できません

対象		最大 文字数	アルファベット A ~ Z a ~ z 数字 0 ~ 9	漢字* ¹ ひらが な	カタカ ナ	使用できる記号
ユーザー設定画面	現在のユーザー名	15	0			
	現在のパスワード	15	0			
	新しいユーザー名	15	0			> × × 記号は使用できません
	新しいパスワード	15	0			
	パスワードの確認	15	0			
システム設定画面	NTP サーバー 1	253 * ⁵	0			"-" (ハイフン)
	NTP サーバー 2	253 * ⁵	0			"."(ドット)
スケジューラー	スケジュール名	32 * ²	O* 3	0	○* 3	""(半角スペース) ":"(コロン)
	カテゴリ―名	32 * 2	○* 3	0	○* 3	"!" (感嘆符) ";" (セミコロン) "#" (シャープ) "<" ">" (不等号) "\$" (ドル) "=" (イコール) "%" (パーセント) "?" (疑問符) "&" (アンパサンド) "@" (アットマーク) "'" (シングルクォー "["]" (角括弧) ト) "^" (ハット) "(" ")" (丸括弧) "." (アンダーバー) "*" (アスタリスク) "'" (バッククォー +*" (プラス) ト) "," (カンマ) "{" "}" (波括弧) "." (ドット) "~" (チルダ) "/" (スラッシュ) *3

*1 JIS 第一水準漢字一覧表(JIS X 0213 2004)に準じます。

*2半角 32 文字、全角 16 文字が使用できます。

*3 全角および半角が使用できます。

*4半角31文字、全角15文字が使用できます。

*5 ラベル文字数は 63 文字以下です。

*6アドレス入力時のみ使用できます。

メモ

IP 設定ツールを使って「名称(端末名称)」を設定する場合に使用可能な文字は、上記「ネットワーク設定画 面」の「端末名称」と同じ内容です。

■ ファイル名に使用可能な文字

يې بې	象	最大文字 数	アルファベット A ~ Z a ~ z 数字 0 ~ 9	漢字* ¹ ひらが な	カタ カナ	使用できる記号
メディア設定画面	音源ファイル名 (*.wav、*.mp3)	32 * ^{2、 * 5}	○ * ³	0	○* 3	""(半角スペース)"."(ドット) "!"(感嘆符) ";"(セミコロン)
チャイム設定画面	音源ファイル名 (*.wav、*.mp3)	32 * ^{2、} * ⁵	○ * ³	0	○* 3	"#"(シャーブ) "="(イコール) "\$"(ドル) "@"(アットマーク) "♡"(ル。 ★>↓) "『""" "?"(会★★ゴ叭)
メンテナンス画面	設定ファイル名 (*.spconf)	128 ^{*4、*5}	○* 3	0	○* 3	% (ハービント) [] (冉括弧) "&"(アンパサンド) "^"(ハット) "'"(シングル "_"(アンダーバー) クォート) "`"(バッククォー "("")"(丸括弧) ト) "+"(プラス) "{"}"(波括弧) ","(カンマ) "~"(チルダ) "-"(ハイフン) *3

*1 JIS 第一水準漢字一覧表(JIS X 0213 2004)に準じます。

*2 全角または半角 32 文字が使用できます。

*3全角および半角が使用できます。

*4 全角または半角 128 文字が使用できます。

*5 拡張子も文字数に含まれます。

メモ

IP 設定ツールによる「設定アップロード」の場合のファイル名に使用可能な文字は、上記「メンテナンス画面」

の「設定ファイル名」と同じ内容です。



■ スケジューラー機能について

● スケジューラー機能の概要

スケジューラーは、日時を指定して自動で放送を行ったり、制御出力やコマンド送信といった制御を実行す る機能です。分かりやすいユーザーインターフェースを採用することにより、使い慣れていない方でも直感 的に操作することができます。また、スケジュール単位、タスク単位、およびカテゴリーを使用した一括編 集など、使用シーンに応じたさまざまな編集方法を提供します。

● スケジューラー画面の開きかた

[管理者権限の場合]

管理者権限でログインすると、設定画面を表示します。 右上に表示されるスケジューラーボタンを押すと、スケ ジューラー画面を表示します。

[ユーザー権限の場合]

ログイン画面を表示し、ユーザー権限でログインすると スケジューラー画面を表示します。

メモ

ユーザー権限では、スケジューラー画面を表示し、スケ ジュールの新規作成やスケジュールの編集を行うことが できます。

ただし、設定画面を使用した変更は行えませんので、音 源ファイルを入れ換えたり、パターン構成を変更するな どの操作はできません。これらを変更する場合は、管理 者権限で行ってください。



2023 / 06 / 23 (金) 15:15:30 スケジューラー ログアウト

● スケジューラー機能の概要と用語の説明

[スケジューラー機能の概念図]



[用語説明]

スケジュール:

スケジュールは、実行するアクションと実行する日時や繰り返し条件に関する設定情報のセットです。 スケジュールは実行するアクションを軸に作成し、スケジュール編集画面を使用してスケジュール名や開始/ 終了時刻などを設定します。スケジュールでは繰り返し設定として、毎日/毎週/毎月など定期的に有効に したり、特定の日を有効にしたりすることができます。また、逆に定期的な有効日のうち一部を無効にする こともできます。

スケジュールは最大 2000 件まで作成することができます。繰り返し設定で「指定しない」に設定されたス ケジュールは継続して保持されますが、実行し終えたスケジュール(繰り返し設定のないスケジュールや最 終日を経過したスケジュール)は、最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除 されます。

タスク:

タスクはスケジュールから自動的に生成される日付情報を持った実行データです。スケジュールの繰り返し 設定で有効日に設定された日付に対して生成され、カテゴリーに設定された色でタスク表示画面に表示され ます。タスクを削除すると、元となるスケジュールからタスクの日が無効に設定され、またタスクを編集す ると、元となるスケジュールから分離された新たなスケジュールが作成されます。

同じ時刻に、より高い優先度のタスクがある場合や、同じ音源のタスクが重複する場合には、灰色(グレー) で表示されます。実行し終えたタスクは、翌日末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除さ れます。 カテゴリー:

カテゴリーはスケジュールを分類するための概念です。カテゴリー編集画面で、10種類のカテゴリーそれぞれに名称と色が設定できます。

また、カテゴリーの繰り返し編集画面ではカテゴリーに分類されたすべてのスケジュールの繰り返し設定を 一括で編集することもできます。以下のように分類すると、カテゴリーを活用することができます。

- ●1日分のスケジュールを1つのカテゴリーにまとめる(例:平日スケジュールと休日スケジュールなど)
- ●同じ繰り返し条件で連動するスケジュールを1つのカテゴリーにまとめる(例:接点出力の ON と OFF、コマンドの開始と終了など)
- 放送する音源や実行するアクションでカテゴリーを分類する(例:チャイムや BGM、コマンド送信など)
- 放送先でカテゴリーを分類する(例:屋内エリアと屋外エリア、小学校と中学校など)

2023/01 24 x 25 x 26 x	2023/01 Зл 24 ж 25 ж	2023/01	
24 x 25 x 26 x	3 д 24 д 25 ж		
		25 * 26 * 27 ≙ 28 ±	
ISIC 06:00:00 00:00:00 Message 08:00:00 Music 06:00:00 00:00:00 00:00:00 00:00:00 00:00:	850500 Music 06:00:00 [06:00:00 Message 08:00:00 Music 06:00:00 [06:00:00:00 [06:00:00:00:00 [06:00:00:00:000 [06:00:00 [06:00:00:00:00 [06:00:00 [06:00:00 [06:00:00:00:000 [06:00:00:00 [06:00:00:00:00:00 [06:00:00:00:00:00 [06:00:00:00:00:00:00:00:00:00 [06:00:00:00:00:00:00:00:00:00:00:00:00:0	08:00:00 Music 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 Chim 06:00:0	ie 8:00
09:00:00 BGM 0 09:00:00 BGM C 09:20:00 BGM D 09:20:00 BGM D	01-0400 BGM D 09:00:00 BGM C 09:20:00 BGM D	08:00:00 USAN 5 09:00:00 USAN 5 09:00:00 USAN 5 09:20:00 USAN 5 09:20:00 USAN 5	ie 9:00
US-40/00 EVent Adventse	0:00:00 Music 10:00:00	10:00:00 10:00 10:00:00 10:00:00 10:00:00 10:00:00 10:00:00 10:00:00 10:00:00 10:000	ic 10:00:00 Chim
10:30:00 Volume Up +6dB 10:30:00 Volume Up +6dB	10:30:00 Volume Up +6dB	III:03:00 Volume Up II:030:00 Volume Up +6dB II:030:00 Volume Up	
11:00:00 11:00:00 11:00:00 11:00:00 Message Message 11:00:00 11:00:00 11:00:00 11:00:00 11:00:00 11:00:00	11:00:00 11:00:00 11:00:00 Message Message Message 11:00:00 11:00:00 Message	11:00:00 11:00:00 11:00:00 7 11:00:00 11:00:00 9 11:00:00 11:00:00	11:00:00 Chime
nic 12:00:00 Music 3 3 3 12:00:00 Music 3	2:00:00 Music 12:00:00 Music 3 3	12:00:00 Music 12:00:00 Music 12:00:00 Music 12:00:00 Chime 12:00:00 Music	c 1 2:00:00 Chime
		13.00:00 Chime	13:00:00 Chime
13:55:00 14:00:00 Music 13:55:00 13:55:00 13:55:00 14:00:00 Music 4	13:55:00 13:55:00 13:55:00 13:55:00	13:55:00 46:00:00 Music 13:55:00 14:00:00 Chime 13:55:00 14:00:00 Chime	10 14:00
sic 12:00:00 Music 3 3 0:00 Music 3 13:55:00 4:00:00 Music 11:55:00 1:00:00 1:00:00 Music 11:55:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00 1:00 1:00:00 1:00:00 1:00 1:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00:00 1:00 1:00:00 1:	2200:00 Music 3 200:00 Music 3 200:00 Music 3 30:00 Music 13:55:00 4:500:00 Music 13:55:00 4:500:00 Music	12:00:00 Music 12:00:00 Chime 12:00:0	c 12: 13: ne 14:00

	名称	内容
1	カレンダー	日付をクリックすると、タスク表示画面をその日を含む週の表示へ切り 換えることができます。下に●が表示された日付は、タスクが登録され ていることを示し、自動的にアクションが実行される日付であることが 分かります。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの 表示月を切り換えることができます。
2	スケジュールリスト	登録されているすべてのスケジュールをリスト表示します。すべてのス ケジュールはカテゴリーに分類して登録されており、各カテゴリーを展 開することでそれぞれのカテゴリーに登録されたスケジュールをすべて 見ることができます。スケジュールリストは開始時刻が早い順に並んで います。また、登録されているスケジュールの件数を下部に表示します。 選択されたスケジュールは橙色で表示され、「OFF」に設定されたスケ ジュールは灰色(グレー)で表示されます。「OFF」に設定されたスケ ジュールからは、タスクは生成されません。各スケジュールをクリック すると、スケジュール詳細画面を表示します。
3	カテゴリー編集ボタン	カテゴリー編集画面を表示し、各カテゴリーごとに名称と色を設定する ことができます。 また、各カテゴリーに登録されたすべてのスケジュールに対して、一括 でスケジュールの繰り返し設定を編集することができます。
4	スケジュール新規作成ボタン	新しいスケジュールを作成します。クリックすると、スケジュール編集 画面を表示します。
5	タスク表示画面	スケジュールから生成された、それぞれの日付で実行されるタスクを表示します。1週間分すべてのタスクが表示され、分類されたカテゴリーの色で表示されます。「今日」「く」「>」をクリックすることで、週表示を切り換えることができます。 タスクが表示されていない場所をクリックすると、スケジュール編集画面を表示し、新しいスケジュールを作成することができます。また、それぞれのタスクをクリックすると、タスク詳細画面を表示し実行されるタスクの内容を確認したり、そのタスクの編集/削除および、そのタスクを含むスケジュール全体の編集/削除を行うことができます。 灰色(グレー)で表示されたタスクは、実行されないタスクを示します。

	名称	内容
6	ステータス表示	本機の動作状態を表示します。本機が放送状態の場合、「動作状態」に どの音声が放送されているか音源ソースを表示し、「放送先」にどこへ 放送しているのか放送先を表示します。
\bigcirc	現在日時表示	本機の現在日時が表示されます。
8	設定ボタン	設定画面へ移行します。スケジュールで使用する音源のパターンや放送 先の変更を行う場合、設定画面から変更します。
9	ログアウトボタン	スケジュールの確認や登録が完了した後、ログアウトする場合にクリックします。ログアウトすると、ログイン画面を表示します。

■ 新規スケジュールの作成

スケジュール新規作成ボタンやタスク表示画面の空白のエリアをクリックすることで、スケジュール編集画 面を表示し、新しいスケジュールを作成することができます。

スケジュール編集画面

	スケジューノ		×
2	スケジュール名称	Untitled	
3	カテゴリー	Category 1	
4	アクション	パターン	(5)
\int	<u> </u>	8 優先度 3	
	(7	★送先 マルチキャスト ▼ Multicast 1 ▼	
	8	開始時刻 2023 / 6 / 12 11 : 10 : 00	
	9	□ 終了時刻	
	(I	□ 繰り返し	
		保存	

	名称	内容
1	ON/OFF ボタン	スケジュールの有効/無効を切り換えます。 ON :スケジュールが有効です。保存するとタスクが生成されます。 OFF :スケジュールが無効です。保存するとスケジュールリストで 灰色 (グレー)表示となり、タスクは生成されません。 初期設定:ON
2	スケジュール名称*1	スケジュール名称を設定します。複数のスケジュールに対して同じスケ ジュール名称を設定することも可能です。設定された名称でスケジュー ルリストやタスク表示画面に表示されます。 初期設定:Untitled
3	カテゴリー	スケジュールをどのカテゴリーへ分類するか選択します。 設定範囲:Category 1 ~ 10 初期設定:Category 1
4	アクション	スケジュールで実行するアクションを設定します。選択したアクション ごとに設定可能な項目が変わります。 パターン : 内蔵音源によるパターン放送を実行します。パターン登 録画面で設定されたパターン名称を表示します。 設定範囲: Pattern 1 ~ 20 ライン/マイク入力 PG : ライン/マイク入力から入力される音声による放送を実行します。 AUX : AUX 入力から入力される音声による放送を実行します。 副御出力 : 制御出力を ON/OFF します。 設定範囲: OFF、ON コマンド コマンド : コマンドリスト画面のコマンドセットを実行します。 コ 設定範囲: Command Set 0 ~ 9 初期設定 初期設定 : Pattern/Pattern 1
5	音源再生ボタン	アクションにパターンを設定すると表示され、パターンに割り当てられ た音源をパソコン上で再生し、音声として確認することができます。 メモ 放送の実行ボタンではありません。

*1 設定できる文字や文字数は、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

	名称 内容		
6	優先度	アクションにパターンまたは、ライン/マイク入力 PG または AUX RM を設定すると、優先度設定画面で設定されたその放送音源 の優先度番号を表示します。1 が最も優先度が高く、数値が大きくなる に従って優先度は低くなります。 同じ時間帯に複数のタスクが登録されている場合、優先度番号に従って、 高い優先度のタスクが実行されます。	
	放送先	アクションにパターンまたは、ライン/マイク入力 PG または AUX RM を設定すると、放送先が設定できます。 グループ放送を行う場合、「マルチキャスト」を選択し、放送先設定画 面で設定されたマルチキャスト送信チャンネルを選択します。 設定範囲: Multicast 1 ~ 20 初期設定: Multicast 1 ~ 20 初期設定: Multicast 1 RM I個別放送を行う場合] 放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる SIP 端末の SIP ユー ゲー ID/IP アドレスを入力します。 IP ページングゲートウェイ経由でグループ放送を行う場合] 放送先に SIP ターゲットを選択し、放送先となる IP ページングゲート ウェイの SIP ユーザー ID/IP アドレスを入力します。 IP ページングゲートウェイの転送設定画面(P. 51) で、放送先選択 を「DTMF」に設定しているときは、放送したいマルチキャスト送信先 に対応する DTMF 番号を入力します。 放送先選択を「固定」に設定しているときは、DTMF 番号の入力は不 要です。	
8	開始時刻	スケジュールを実行する開始日時を設定します。 開始時刻のみ設定されたスケジュールは、エッジ動作*2となります。 アクションにパターンを選択した場合は、パターン放送を1度だけ実 行します。この間に高優先放送が実行されると、パターン放送は復旧し ません。アクションに制御出力やコマンドを選択した場合は、開始時刻 のみ設定できます。	
9	終了時刻	スケジュールを終了する時刻を設定します。開始時刻~終了時刻は、 24時間未満の範囲で設定可能です。終了時刻を開始時刻より前の時刻 に設定すると、日をまたいで翌日の終了時刻まで放送を継続します。 終了時刻を設定したスケジュールは、レベル動作*2となります。 アクションにパターンを選択した場合、開始時刻~終了時刻までパター ン放送を回数無制限で繰り返します。開始時刻~終了時刻の間に優先度 の高い別の放送が実行されたときは、高優先放送終了後にパターン放送 を復旧します。*3 アクションにライン/マイク入力 PG または AUX RM を選択した 場合、開始時刻~終了時刻までライン/マイク入力音声の放送を継続し ます。開始時刻~終了時刻の間に優先度の高い別の放送が実行されたと きは、高優先放送終了後に放送を復旧します。	
10	繰り返し設定	チェックを有効にすると編集ボタンを表示し、スケジュールの繰り返し 条件を設定できます。編集ボタンをクリックすると、繰り返し設定画面 を表示します(■☞ P. 108)。一回のみ実行するスケジュールを作成 する場合は、チェックを無効にします。 初期設定:チェックなし(繰り返し無効)	
	保存ボタン	スケジュールの編集内容を保存し、スケジュール編集画面を閉じます。	

*2 エッジ動作、レベル動作の詳細は、P. 72「イベント設定画面」および P. 78「優先度設定画面」の動作 シーケンスの説明を参照してください。

*3 放送先として「SIP ターゲット」を選択している場合、優先度の高い放送が終了した後には放送は再開されません。

アクションごとの設定項目は、次のとおりです。

	パターン	ライン/マイク入力	AUX	制御出力	コマンド			
		PG	RM					
アクションの	Pattern 1~	_	_	OFF	Command Set 0 ~			
	Pattern 20			UN	Command Set 9			
優先度		\bigcirc						
	※ 優先周	き設定画面の優先度番	—	—				
放送先	Mu	Iticast 1 \sim Multicast						
		SIP ターゲット RM						
開始時刻	0							
終了時刻	0	\sim	\bigcirc					
	※ 任意設定		0					
繰り返し設定	0							

● 繰り返し設定画面について

繰り返し設定のチェックを有効にすると、編集ボタンが表示されます。 編集ボタンをクリックすると、繰り返し設定画面を表示し、繰り返し条件によりスケジュールの繰り返しか たを設定することができます。

繰り返し設定画面

繰り返し設	定								×
繰り返し条件	指定	B				•			
繰り返し最終日	✔ 指	定した	2U)						
有効日	4	≧日	2	023/	07	<	>		
	B	月	火	水	木	金	±	2023/07/03	*
	25	26	27	28	29	30	1		
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31	1	2	3	4	5		-

繰り返し条件には以下の4つがあります。初期設定は「指定日」です。

ご注意

繰り返し条件を変更して保存すると、有効日の設定がリセットされます。

名称	内容
指定日	不定期な繰り返しを行う場合に選択します。カレンダーからスケジュールを実行する有効日 を任意に設定します。
毎日	スケジュールを毎日実行する場合に選択します。カレンダーのすべての日が有効日として表示されます。さらに、有効な日をクリックすると無効となり、実行しない日も設定することができます。
毎週	スケジュールを毎週、曜日を指定して実行する場合に選択します。曜日設定でチェックした 曜日が有効日(保存するとタスクが生成される日付)として表示されます。さらに、カレン ダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。
毎月	スケジュールを毎月同じ日付で実行する場合に選択します。日付設定でチェックした日付が 有効日(保存するとタスクが生成される日付)として表示されます。さらに、カレンダーの 日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。
それぞれの繰り返し条件を選択したときの設定内容は以下のとおりです。

[「指定日」 に設定したとき]

有効日を任意に指定して、スケジュールを繰り返すことができます。

繰り返し設定画面



	名称	内容
1	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動 的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定 できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除 されます。 初期設定:チェックあり(指定しない)
2	有効日	 ④カレンダー部 カレンダーの日付をクリックすることで、スケジュールを実行する有効日(保存するとタスクが生成される日付)と実行しない日を設定することができます。 スケジュールが有効な日付には●が表示されます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。 ⑥有効日リスト部 カレンダーの日付をクリックすると、カレンダーの日付が●で表示されるとともに、有効日リストへ追加されます。指定可能な有効日の最大数は400日です。
3	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確定し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

[「毎日」 に設定したとき]

スケジュールを毎日繰り返すことができます。

繰り	返し	ノ設定	画面
----	----	-----	----

繰り返し設況	Ē							
繰り返し条件	毎日					•		
繰り返し最終日	✔ 指	定した	201					
有効日	4	€€	2	023/	07	<	>	
	B	月	火	水	木	金	±	
	25	26	27	28	29	30	1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31	1	2	3	4	5	

	名称	内容
1	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動 的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定 できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除 されます。 初期設定:チェックあり(指定しない)
2	有効日	カレンダー部 カレンダーのすべての日付が有効日(保存するとタスクが生成される日付)として 表示されます。スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。さらに、カレ ンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたり できます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリッ クすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
3	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確定し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

[「毎週」 に設定したとき]

スケジュールを曜日で指定して毎週繰り返すことができます。

繰り	汳	し設定画面
雨り	쓰	し設た回回

繰り返し設定									×
繰り返し条件	毎週					•			
	□ 日 □ 木		✔月 ✔ 金	[✔ ✓ 土	[水		
2 繰り返し最終日	✔ 指	定した	261						
3 有効日	4	▶日	2	023/	07	<	>		
	H	月	火	水	木	金	±		
	25	26	27	28	29	30	1		
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31	1	2	3	4	5		
			(ж					
	•			SIL.					

	名称	内容
1	曜日設定 (日~土)	チェックした曜日を有効日として設定することができます。
2	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、自動 的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を設定 できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動的に削除 されます。 初期設定:チェックあり(指定しない)
3	有効日	 カレンダー部 曜日設定でチェックした曜日が有効日(保存するとタスクが生成される日付)として表示されます。スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
4	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確定し、スケジュール編集画面に戻るときにクリックします。

[「毎月」 に設定したとき]

スケジュールを日付で指定して毎週繰り返すことができます。

<u>49</u>	h		≡л	د ک	uttu	
下禾	נע	للكذر	ノ記ス	ᇨ		ш

	線内海し条件	毎日					-			
Ļ	操り込し未任	再月					•			
)	繰り返し最終日	✔ 指	定した	261						
2)	有効日	4	≧日	2	023/	07	<	>	日付設定	
		Ħ	月	火	水	木	金	±	✓ 20 21	-
		25	26	27	28	29	30	1	22	
		2	3	4	5	6	7	8	23 24	
		9	10	11	12	13	14	15	✓ 25	
		16	17	18	19	20	21	22	27	
		23	24	25	26	27	28	29	29	
		30	31	1	2	3	4	5	31	-

	名称	内容
1	繰り返し最終日	繰り返し最終日を指定しない場合は、「指定しない」のチェックを有効にします。 「指定しない」が有効な場合、そのスケジュールは継続的にタスクを生成し、 自動的に削除されません。 「指定しない」のチェックを無効にすると、スケジュールを繰り返す最終日を 設定できます。最終日の翌月末までデータが保持され、それを経過すると自動 的に削除されます。 初期設定:チェックあり(指定しない)
2	有効日	 カレンダー部 日付設定でチェックした日付が有効日(保存するとタスクが生成される日付) として表示されます。スケジュールが有効な日付には ● が表示されます。さらに、カレンダーの日付をクリックすることで、任意の日付を有効日にしたり、 無効にしたりできます。 繰り返し最終日以降の日付は有効日に設定できません。「今日」「<」「>」を クリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
3	日付設定	チェックした日付を毎月の有効日として設定することができます。
4	OK ボタン	繰り返し設定の変更内容を確定し、スケジュール編集画面に戻るときにクリッ クします。

■ スケジュールの確認/編集/削除

登録されたすべてのスケジュールは、スケジュールリストから詳細を確認できます。 スケジュール詳細画面を表示すると、スケジュールの編集や削除を行うことができます。

スケジュールリスト

スケジュール詳細画面



このスケジュールを編集します。

【スケジュール編集画面】を表示 表示中のスケジュールをコピーし、 新たなスケジュールが作成されま す。コピー元のスケジュールは変 更されません。

このスケジュールを 削除します。

	名称	内容
1	スケジュール名	設定されたスケジュール名称が表示されます。
2	×ボタン	スケジュール詳細画面を閉じます。画面外をクリックしても閉じることが できます。
3	設定日時	スケジュールの開始日および開始時刻と終了時刻を表示します。開始時刻 のみ設定されたスケジュールは、開始時刻のみを表示します。日付をまた ぐスケジュールの場合は、翌日の日付とともに終了時刻を表示します。
4	カテゴリー	スケジュールが分類されているカテゴリーの色と名称を表示します。
5	アクション	スケジュールで実行されるアクションを表示します。 パターン(パターン名称) ライン/マイク入力 PG AUX RM 制御出力(ON または OFF) コマンド(コマンドセット名称)
6	優先度	スケジュールのアクションにパターン、またはライン/マイク入力 (PG) または AUX (RM)が設定されている場合、優先度設定画面で設定された その放送音源の優先度番号を表示します。 1 が最も優先度が高く、数値が大きくなるに従って優先度は低くなります。 複数のスケジュールが同じ時間帯で重複する場合、優先度番号に従って、 高い優先度の放送が実行されます。

	名称	内容
7	放送先	スケジュールのアクションにパターン、またはライン/マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、放送先を表示します。放送先 設定画面で設定されたマルチキャスト送信チャンネルのグループ名称を表 示します。
8	繰り返し設定	 スケジュールの繰り返し設定の状態を表示します。 無効 :繰り返し設定が無効です。 指定日:スケジュールを繰り返す日付が任意に設定されている状態です。 直近の有効日を表示します。 毎日 :スケジュールを毎日繰り返す設定になっています。直近の有効日を表示します。 毎週 :スケジュールを毎週繰り返す設定になっています。有効な曜日を表示します。 毎月 :スケジュールを毎月繰り返す設定になっています。有効な日付を表示します。
9	スケジュール編集ボタン	クリックすると、スケジュール編集画面を表示し、スケジュールの設定内 容を編集することができます。
10	スケジュールコピーボタン	クリックすると、表示中のスケジュールをコピーし、新たなスケジュール が作成されます。コピー元のスケジュールは変更されません。
1	スケジュール削除ボタン	クリックすると、削除確認画面を表示し、スケジュールを削除することが できます。

■ タスク表示と動作について

スケジュールを編集し保存すると、タスクが生成され、タスク表示画面に配置されます。 タスクの表示状態と実行されるアクションの動作について、以下で説明します。

● エッジ動作のタスク表示

エッジ動作のタスクとは、開始時刻のみが設定されているタスクを指します。

	有効なタスク	無効なタスク
	開始時刻になると実行するタスク 分類されているカテゴリー色で表示します。	実行しないタスク 灰色(グレー)で表示します。
	08:00:00 Message	08:00:00 Chime
パターン	開始時刻になると、パターンによる放送を 実行します。 パターン設定画面で設定された内容(音源 や回数、インターバル、遅延時間など)に 従って、パターン放送を一度だけ実行しま す。この間に手動操作やリモート API など によって優先度の高い放送が割り込んだ場 合、優先度の低いパターン放送は停止とな り、放送は復旧しません。	タスクが灰色(グレー)になる条件は、 (1)優先度によってタスクが実行されない 場合 他の優先度の高い放送を実行するタス クが存在する場合、優先度の低いタス クは、灰色(グレー)で表示されます。 (2)同一時刻に同一優先度のタスクが重複 する場合 同じ開始時刻に、同じパターン(同一音 源/同一優先度)を実行するタスクが 重複する場合、その両方のタスクが灰 色(グレー)で表示されます。
制御出力	開始時刻になると、制御出力を ON(また は OFF)にします。	同一時刻に制御出力を実行するタスクが重 複する場合、その両方のタスクが灰色(グ レー)で表示されます。
コマンド	開始時刻になると、設定されたコマンド セットを送信します。	同一時刻にコマンドを実行するタスクが重 複する場合、その両方のタスクが灰色(グ レー)で表示されます。異なるコマンドセッ トを実行するタスクであっても、時刻が重 複すると灰色(グレー)で表示されます。

● レベル動作のタスク表示

レベル動作のタスクとは、開始時刻~終了時刻の期間、放送を継続するタスクを指します。

	有効なタスク	無効なタスク
	開始時刻~終了時刻の期間に実行するタスク 分類されているカテゴリー色で表示します。	実行しないタスク 灰色(グレー)で表示します。
	09:00:00 BGM C	08:20:00 BGM A
パターン	開始時刻~終了時刻の間、パターンによる 放送を継続して実行します。 開始時刻~終了時刻の期間内、パターン設 定画面で設定された内容(音源やインター バル、遅延時間など)に従って、パター ン放送を回数無制限で繰り返し再生しま す。この間に手動操作やリモート API など によって優先度の高い放送が割り込んだ場 合、一旦パターン放送は停止しますが、高 優先度の放送が期間内に終了すると、パ ターン放送を復旧します。	タスクが灰色(グレー)となる条件は、 (1) 優先度によってタスクが実行されない 場合 開始時刻~終了時刻の全期間にわたっ て、他の優先度の高い放送を実行する タスクが存在しており、放送可能な期 間がない場合*、優先度の低いタスク は、灰色(グレー)で表示されます。 (2) 同一優先度のタスクが先に実行される 場合 同じ優先度(同一音源)のタスクが先
ライン/マイ ク入力	開始時刻~終了時刻の間、ライン/マイク 入力に接続されたアナログ音声よる放送を 継続して実行します。 この間に手動操作やリモート API などに よって優先度の高い放送が割り込んだ場 合、一旦ライン/マイク入力による放送は 停止しますが、高優先度の放送が期間内に 終了すると、ライン/マイク入力による放 送を復旧します。	に実行される場合、先に実行されるタ スクが優先され、後のタスクは灰色(グ レー)で表示されます。 (3)同一時刻に同一優先度のタスクが重複 する場合 同じ開始時刻で、同じ優先度(同一音 源)の放送を実行するタスクが重複す る場合、その両方のタスクが灰色(グ レー)で表示されます。 * 少しでも放送可能な期間がある場合は、 灰色(グレー)にはなりません。

■ タスクの確認/編集/削除

タスク表示画面のタスクをクリックすると、タスク詳細画面を表示し、詳細を確認できます。 タスク詳細画面を表示すると、タスクの編集/削除やスケジュールの編集/削除を行うことができます。

タスク表示画面

タスク詳細画面



	名称	内容
1	スケジュール名	設定されたタスク名称(スケジュール名称と同じ)が表示されます。
2	×ボタン	タスク詳細画面を閉じます。画面外をクリックしても閉じることができま す。
3	設定日時	タスクの開始時刻と終了時刻を表示します。開始時刻のみ設定されたタス クは、開始時刻のみを表示します。日付をまたぐタスクの場合は、翌日の 日付とともに終了時刻を表示します。
(4)	カテゴリー	スケジュールが分類されているカテゴリーの色と名称を表示します。
5	アクション	タスクで実行されるアクションを表示します。 パターン(パターン名称) ライン/マイク入力 PG AUX RM 制御出力(ON または OFF) コマンド(コマンドセット名称)

	名称	内容
6)	優先度	タスクのアクションにパターン、またはライン/マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、優先度設定画面で設定されたその放送 音源の優先度番号を表示します。 1 が最も優先度が高く、数値が大きくなるに従って優先度は低くなります。 複数のタスクが同じ時間帯で重複する場合、優先度番号に従って高い優先 度の放送が実行されます。優先度番号の横に表示される付加情報によって、 タスクがどのような状態となっているか判別できます。 有効 : 重複するタスクの中で最も優先度が高く、全期間で放送を実行 できるタスク 一部有効 : 部分的に割込み放送が入るが、放送を実行できる期間があるタ スク 無効 : 重複するタスクの中で最も優先度が低く、全期間で放送を実行 できないタスク (灰色で表示されます)
7	放送先	タスクのアクションにパターン、またはライン/マイク入力 PG または AUX RM が設定されている場合、放送先を表示します。放送先設定画面 で設定されたマルチキャスト送信チャンネルのグループ名称 PG または SIP ターゲット RM を表示します。
8	スケジュール編集ボタン	クリックすると、スケジュール編集画面を表示し、対象のタスクを含むス ケジュール全体の設定内容を編集することができます。
9	タスク編集ボタン	クリックすると、タスク編集画面を表示し、1つのタスクのみ編集するこ とができます。 タスク編集を行うと、そのタスクを一度だけ実行する、繰り返し設定のな い新しいスケジュールを自動的に作成します。 編集したタスクは、元のスケジュールから削除されます。
10	削除ボタン	クリックすると、削除確認画面を表示し、タスクまたはスケジュールを削除します。対象のタスクのみ削除するか、対象のタスクを含むスケジュール全体(すべてのタスク)を削除するか、選択して削除します。

● タスク詳細画面からのスケジュール編集

タスク詳細画面のスケジュール編集ボタンをクリックすると、このタスクを含むスケジュールを編集できます。 復生社会 トレス・ハエム 深切し スタ生オススト ができます

- す。編集対象として、以下を選択して編集することができます。
- (1) スケジュール全期間に対して編集
- (2) 選択したタスクを開始日として以降のスケジュールを編集

スケジュール編集画面



● タスク詳細画面からのタスク編集

タスク詳細画面のタスク編集ボタンをクリックすると、対象のタスクを編集できます。 タスク編集は、対象の日のみを編集します。そのため、繰り返し設定のない1日だけ実行する新規スケジュー ルを作成します。

タスク編集画面

タスク設定			×				
スケジュール名称 カテゴリー アクション	Music 3 ● Background Music C パターン ▼ 優先度 12 放送先 マルチキャスト ▼ 開始時刻 2022 ノ ※	v usic PM-1 #10 Background Music Cha / 12 12 14 00		ſ	繰り返し設; 新しいスケ: あわせて、 したタスクの	定がない1日だけ実行す ジュールを作成します。 元のスケジュールから編 の日が削除されます。	る 集
	647						

■ カテゴリー編集

カテゴリー編集ボタンをクリックすると、カテゴリー編集画面が表示され、以下の編集が可能です。

- (1) 各カテゴリーの表示色の変更
- (2) 各カテゴリーのカテゴリー名称の変更

(3) 各カテゴリーに分類されたすべてのスケジュールの繰り返し設定を一括で変更

メモ

繰り返し設定の一括編集の対象は、スケジュールが ON(有効)に設定されており、繰り返し設定にチェックが入っているスケジュール(繰り返し設定が有効なスケジュール)のみとなります。

カテゴリー編集画面

繰り返し設定画面(一括編集)

カテゴリー	設定		×	繰り返し	設定	<i></i> の−	括編	集					×
	テゴリー名称 Nessage 3	繰り返し設定	.1.	4 繰り返し条件 有効日		変更し (今	しない う日	2	2023/	01		>	
	ime signal lackground Music A lackground Music B lackground Music C	レ 編集 編集			5	日 1 8	月 2 9	火 3 10	水 4 11	木 5 12	金 6 13	± 7 14	
	lackground Music C					15 22 29	16 23 30	17 24 31	18 25 1	19 26 2	20 27 3	21 28 4	
• H • E • S	foliday Event Day Event Command	□ 編集 □ 編集 □ 編集 □ 編集				5	6	7	8	9	10	11	
	保存								保存	\$			

	名称	内容
1	カテゴリー色	カテゴリーに属するスケジュールおよびタスクの表示色を設定します。10 色から選択でき、異なるカテゴリーで同じ色を設定することも可能です。
2	カテゴリー名称*	カテゴリーの表示名称を設定します。複数のカテゴリーに対して同じ名称を 設定することも可能です。設定された名称でスケジュールリストやタスクに 表示されます。 初期設定: Category 1 ~ Category 10
3	繰り返し設定 一括編集ボタン	繰り返し設定画面を開き、カテゴリーに属するすべてのスケジュールの繰り 返し設定を一括で編集できます。 メモ 一括編集の対象は、スケジュールが ON(有効)に設定されており、繰り返 し設定にチェックが入っているスケジュール(繰り返し設定が有効なスケ ジュール)のみとなります。

* 設定できる文字や文字数は、P.97「使用可能な文字」をお読みください。

	名称	内容
4	繰り返し条件	カテゴリーに属するすべてのスケジュールの繰り返し条件を一括で変更します。繰り返し条件を変更せず、各スケジュールの繰り返し条件を維持する場合は、「変更しない」を選択してください。 ご注意
		繰り返し条件を変更して保存すると、カテコリー内のすべてのスケジュール の有効日設定がリセットされます。一括編集によって有効日が連動して変更 してほしくないスケジュールは、あらかじめ別のカテゴリーへ移動しておい てください。
		変更しない :それぞれのスケジュールの繰り返し条件は変更せず、元の繰 り返し条件を維持します。カレンダー操作でのみ有効日の追 加/削除ができます。
		指定日 : すべてのスケジュールを任意に有効日を指定できるようにし ます。カレンダーからスケジュールを実行する有効日を任意 に選択します。
		毎日 : すべてのスケジュールを毎日実行に変更します。カレンダー のすべての日が有効日になります。さらに、カレンダー操作 により任意の日付を有効日にしたり、無効にしたりできます。
		毎週 : すべてのスケジュールを毎週、曜日指定で実行するように変 更します。曜日設定でチェックした曜日が有効日になります。 さらに、カレンダー操作により任意の日付を有効日にしたり、 無効にしたりできます。
		毎月 : すべてのスケジュールを毎月同じ日付で実行するように変更 します。日付設定でチェックした日付が有効日になります。 さらに、カレンダー操作により任意の日付を有効日にしたり、 無効にしたりできます。
		初期設定 :変更しない
5	有効日	カレンダーには以下の表示があり、カテゴリーに属するすべてのスケジュー ルの状態を確認できます。
		 ・カテゴリー内のすべてのスケジュールからタスクが生成される日(全 一致)
		 ○ : カテゴリー内の一部のスケジュールからタスクが生成される日(不一致)
		無印:カテゴリー内のいずれのスケジュールからもタスクが生成されない 日(全一致)
		カレンダーの日付をクリックすることで、カテゴリーに属するすべてのスケ ジュールに対して有効日および無効を一括で設定できます。「今日」「<」「>」 をクリックすることで、カレンダーの表示月を切り換えることができます。
		<u>レメーセ</u>] 繰り返し最終日が設定されているスケジュールは、繰り返し最終日以降の日 付は有効日に設定できません。

● カテゴリー編集による繰り返し設定一括編集画面について

<繰り返す有効日を任意に選択する場合>

繰り返し条件を「指定日」にすると、以下の画面を 表示します。



<曜日を指定して、毎週繰り返す場合>

繰り返し条件を「毎週」にすると、以下の画面を表 示します。



<毎日繰り返す場合>

繰り返し条件を「毎日」にすると、以下の画面を表 示します。

H H K k £ ± 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4	亨効日	4	⊳⊟	2	023/0	01	<	>	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4		E	月	火	水	木	金	±	
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4		1	2	3	4	5	6	7	
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4		8	9	10	11	12	13	14	
22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4		15	16	17	18	19	20	21	
29 30 31 1 2 3 4		22	23	24	25	26	27	28	
		29	30	31	1	2	3	4	
5 6 7 8 9 10 11		5	6	7	8	9	10	11	

<日付を指定して、毎月繰り返す場合>

繰り返し条件を「毎月」にすると、以下の画面を表 示します。

繰り返し設定	Eの-	括綱	集							×
繰り返し条件	毎月					~		\sim		
有効日	4	⟩日	2	2023/	01	<	>			
	H	月	火	水	木	金	±	1		
	1	2	3	4	5	6	7	3		
	8	9	10	11	12	13	14	✓ 5		
	15	16	17	18	19	20	21	6		
	22	23	24	25	26	27	28	8		
	29	30	31	1	2	3	4	✓ 10 11		
	5	6	7	8	9	10	11	12	-	
				保存	7					
			_							

	名称	内容
1	有効日リスト	「指定日」を選択すると表示されます。 カレンダーの日付をクリックすると、カレンダーの日付が ● で表示されるとと もに、有効日リストへ追加されます。指定可能な有効日の最大数は 400 日です。
2	曜日設定 (日~土)	繰り返し条件を「毎週」に設定すると表示されます。 チェックした曜日を有効日として設定することができます。
3	日付設定	繰り返し条件を「毎月」に設定すると表示されます。 チェックした日付を毎月の有効日として設定することができます。

■ スケジュール設定時のエラーメッセージ

スケジュール編集中に、以下のエラーメッセージを表示することがあります。 対処方法を参考に、エラーを解消してください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処方法
スケジュールデータの件数が上 限の 2000 件を超えています。 古いスケジュールを削除してく ださい。	スケジュールデータの件数が上限 の 2000 件を超えています。	古いスケジュールを削除し、 2000件以下にしてください。
1つのスケジュールデータにお いて、定期性のある有効日を除 いて、個別に指定した有効日、 または定期性のある有効日を個 別に無効にした日が、上限の 400日を超えています。 新しいスケジュールを作成して ください。	1つのスケジュールデータにおい て、定期性のある有効日を除いて、 個別に指定した有効日、または定 期性のある有効日を個別に無効に した日は、合わせて最大400日ま で設定できます。 これらの個別に設定した日が400 日を超えています。	繰り返し設定のカレンダーの日付 を選択し直して、400 日以内にし てください。
スケジュールの繰り返し最終日 は、開始日より後に設定してく ださい。	スケジュールの開始日より前に繰 り返し最終日が設定されていま す。	スケジュールの繰り返し最終日を 変更してください。
スケジュールデータの変更に失 敗しました。 このスケジュールデータは既に 削除されています。 ページを更新してください。	編集中のスケジュールデータが何 らかの要因で削除された可能性が あります。	[OK]ボタンをクリックして、画 面を更新してください。

■ スケジュールデータのリセット

メンテナンス画面に、スケジュールデータのみをリセットするスケジュール削除ボタンがあります。その他の設定は、初期化されません。

詳しくは、P.84「メンテナンス画面」をお読みください。

設定初期化	リセット
	工場出荷時設定
	スケジュール削除

■ スケジュールデータを除いた設定ファイルアップロード

設定ファイルをアップロードするときに、スケジュールデータを除いて適用することができます。 詳しくは、P.86「設定ファイルのアップロード」をお読みください。

	設定ファイルス	アップロード	
○ すべて ○ スケジ	の設定をアップロードします。 ュールデータを除いて設定をアップロ]ードし、スケジュー	ルデータを削除します。
	ファイル未選択	参照	更新

「スケジュールデータを除いて設定をアップロードし、スケジュールデータを削除します。」を選択して設定 ファイルをアップロードすると、アップロードする設定ファイルのうちスケジュールデータを除いて設定デー タを適用します。すでに本機に設定されたスケジュールデータが存在する場合、本機のスケジュールデータ は削除されます。

IP 設定ツール

IP 設定ツールを使用すると、複数台の機器の設定を効率的に行うことができます。 また、設定内容をパソコンに保存したり、パソコンに保存されている設定内容を本機にアップロードしたり することができます。 この機能を使って、複数の機器に同じ設定内容を複製することもできます。
IP 設定ツールは、お使いになるパソコンと本機を同じネットワークセグメントに接続した状態でお使いくだ

さい。(📭 P.30 「ブラウザー接続のしかた」)

■ 使用する前に

TOA 商品データダウンロードサイト (https://www.toa-products.com/) で本機の品番を検索し、IP 設定ツール「IPSettingTool.exe」をダウンロードしてください。 デスクトップなどに保存すると、次のようなアイコンが表示されます。



■IP 設定ツールの起動のしかた

IPSettingTool.exe のアイコンをダブルクリックします。

ご注意

お使いになるパソコンが使用できるネットワークアダプターが複数存在 する場合は、右のような確認画面が表示されますので、本機に接続でき るネットワークアダプターを選択して、OK ボタンをクリックしてくだ さい。

	×
使用するネットワークアダプターを選択してください。	
Realtek PCIe GBE Family Controller(10.3.56.44)	^
Realtek PCIe GBE Family Controller(192.168.14.111)	
Realtek PCIe GBE Family Controller(169.254.172.1)	
Intel(R) Dual Band Wireless-AC 8260(10.100.16.85)	\sim

IP 設定ツールが起動し、接続されているすべての IP オーディオデバイスが自動検出され、以下の画面のようにリスト表示されます。

この時点では、右側のボタンはグレーアウトしており、クリックできません。

	■ IP設定ツール				– 🗆 X
● 名称 品番 IPアドレス MAC2Pドレス HTTP(S) F/W マイコン H/W 格理 IP-A1AF IP-A1AF 192.168.14.1 00-05-F9-6F-80-18 80 3.3.0 1 IP-A1PC238 IP-A1PC238 192.168.14.2 00-05-F9-6F-80-28 80 3.3.0 1 IP-A1PG IP-A1PG 192.168.14.3 00-05-F9-6F-80-28 80 3.3.0 1 IP-A1PG IP-A1PG 192.168.14.3 00-05-F9-6F-80-28 80 3.3.0 1 IP-A1PG IP-A1PG 192.168.14.3 00-05-F9-6F-80-28 80 3.3.0 1	Q _k k m	ユーザー認証 ユーザー名 admin	パスワード ●●●●●●		
	□ 名称 □ IP-A1AF □ IP-A1PC238 □ IP-A1PG	 品番 IPアドレス MACアドレス IP-A1AF 192.168.14.1 00-05-F9-6F-80 IP-A1PG 192.168.14.3 00-05-F9-6F-80 	HTTP(S) F/W マイコン 18 80 3.3.0 FF 80 3.3.0 28 80 3.3.0	> H/W 結果 1 1 1 1	ま、ネットワーク設定 画 画 表 示 ・

リストのチェックボックスにチェックを入れて、いずれかの機器を選択すると、ボタンをクリックできる状態になります。

IP IP	受定ツール								-		×
C	🤇 検 出	ユーザー認証 ユーザー名 🔤	dmin	157	マード 💽	••••					
	名称 IP-A1AF IP-A1PC238 IP-A1PG	品番 IP-A1AF IP-A1PC238 IP-A1PG	IPアドレス 192.168.14.1 192.168.14.2 192.168.14.3	MACアドレス 00-05-F9-6F-80-18 00-05-F9-FF-A7-FF 00-05-F9-6F-80-28	HTTP(S) 80 80 80 80	F/W 3.3.0 3.3.0 3.3.0 3.3.0	२ ८२२	H/W 稿果 1 1 1	ネットワ ネットワ アームウェアフッ アームウェアフ・ アームウェアフ・ アームウェアフ・ の アームウェアフ・ の アームウェアフ・ の アームウェアフ・ の アームウェアフ・ の の アームウェアフ・ の の	- ク設 表 動 ンフロー ジ ンロー	定示 減 り ド
検出	台数:3台										

■ 設定のしかた

● 各部の表示内容

ご注意

- ④~ ⑪の操作は、検出結果リストのチェックボックスで機器を選択してから行ってください。
- ④、⑥~⑪の操作結果は、検出結果リストの「結果」欄に表示されます。
- ●再起動中の機器は表示されません。

IP設定ツール					- 0	×
Q 接 出	フー+f-19913 ユーザー名 admin	パスワード	2			
 2,4% ✓ IP-AIAF IP-AIPC238 □ IP-AIPG 	 品番 IPアドレス IP-A1AF 192.168.14.1 IP-A1PC 192.168.14.2 IP-A1PG I92.168.14.3 	MACアドレス HTTP(S) F/W 00-05-F9-6F-80-18 80 3.3.0 00-05-F9-6F-80-28 80 3.3.0 00-05-F9-6F-80-28 80 3.3.0	マイコン H 1 1	/W 稿里	ネットワーク設 画面表 ・ <td< td=""><td></td></td<>	

① 検出ボタン

ネットワークに接続されている IP オーディオデバイスを検出するときクリックします。 クリックする度に、接続されているすべての機器を検出し直します。

② ユーザー名、パスワード

操作を行う機器のユーザー名とパスワードを入力します。 IP 設定ツールを起動したときは、初期値(ユーザー名:admin、パスワード:guest)が入力されています。

ご注意

ユーザー権限のユーザー名、パスワードでは認証できません。

③検出結果リスト

検出された機器の一覧を表示します。

④ ネットワーク設定ボタン

クリックすると、ネットワーク設定画面が表示されます。 (128 「ネットワーク設定のしかた」)

⑤画面表示ボタン

クリックするとブラウザーが起動し、選択した機器へのログイン画面が表示されます。 (『37 P.30「ブラウザー接続のしかた」)

LED 点滅ボタン

クリックすると、選択した機器の状態表示灯が3回点滅を繰り返します。

⑦ 音声鳴動ボタン(受信端末選択時のみ有効)

クリックすると、選択した機器からテスト音源を放送します。 左から、「小」「中」「大」の3段階の音量で放送できます。

⑧ 設定ファイルアップロードボタン

パソコンから設定ファイルをアップロードを行うときクリックします。 複数台の機器に一斉に同じ設定をアップロードすることもできます。 詳しくは P. 131「設定ファイルをアップロードする」をお読みください。

③ 設定ファイルダウンロードボタン

パソコンに設定ファイルをダウンロードするときクリックします。 ダウンロードした設定ファイルは、複数台の機器に同じ設定をアップロードするときに、元となる設定ファ イルとして使用できます。 詳しくは P. 132「設定ファイルをダウンロードする」をお読みください。

10 ファームウェアアップデートボタン

ファームウェアアップデートを行うときクリックします。 複数台の機器に一斉に同じファームウェアアップデートを行うこともできます。 詳しくは P. 133「ファームウェアをアップデートする」をお読みください。

1 再起動ボタン

選択した機器を再起動するときクリックします。

■ ユーザー認証のしかた



未設定の機器を設定する場合や、初期化した機器を設定する場合は、以下のユーザー名とパスワードを 入力してください。

ユーザー名:admin パスワード:guest

メモ

IP 設定ツールで検出した機器(1 台あるいは複数台)の設定内容を変更するためには、それら機器それ ぞれのユーザー認証をパスする必要があります。

2 検出ボタンをクリックする。

検出されたすべての機器が検出結果リストに表示され、④~⑩の操作が可能になります。

■ ネットワーク設定のしかた

IP アドレスなどのネットワーク設定を行います。

		- +6 10117							
C	2 樟 出		dmin	157	7-5				
		1-9-4 e			J=1 [••				
	0.05	D #		MAG7151 7	UTTD(0)	= hu	7 (->	1104 4+00	
		10.00	IPアトレス	MACPEVA	HTTP(S)	F/W	X1 32	H/W 档果	
	名称	00 88							
	名称 IP-A1AF	IP-A1AF	192.168.14.1	00-05-F9-FF-A9-C0	80	0.36.0		1	▲▲ ネットリーク設定
2 2 2	石小 IP-A1AF IP-A1PC238	IP-A1AF IP-A1PC238	192.168.14.1 192.168.14.1	00-05-F9-FF-A9-C0 00-05-F9-FF-A9-D6	80 80	0.36.0 0.36.0		1	■■ ネットリーク設定

7 検出結果リストのチェックボックスで、ネットワーク設定をする機器を選択する。

対象の機器のチェックボックスにチェックを入れます。

2 ネットワーク設定ボタンをクリックする。

1 台のみ選択しているときは、「個別設定」のネットワーク設定画面が表示されます。 複数を選択しているときは、右の確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンをクリックすると、「一括設定」のネットワーク設定画面が表示され ます。



3 ネットワーク設定を行う。

個別設定のネットワーク設定画面または一括設定のネットワーク設定画面で必要項目を設定します。

ネットワーク設定		×
 個別設定 一括設定 		
IP		
IP		
▲ 名称	IP-A1PG	
BIPアドレス取得方法	●手動 ○自動(DHCP)	
C IPアドレス	192 . 168 . 14 . 1	
D サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	
E デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
Б нттр(s)#- ト	80	
	G □ IPアドレスの競合を確認する じ 設定	Đ
	Λ	
	-	

[個別設定のネットワーク設定画面] [一括設定のネットワーク設定画面]

ネットワーク設定		×
 個別設定 ● 一括設定 IP 		
IP A 名称	IP-AIPG	
 B) IPアドレス取得方法 C) IPアドレス サブネットマスク 	● 于w ○ 目数(DHCP) 192.168.14.1 - 192.168.14.2 255.255.255.0	
 (E) デフォルトゲートウェイ (F) HTTP(S)ポート 	0 . 0 . 0 . 0	
	□ IPアドレスの競合を確認する □	Ĥ
	4	

	項目	内容
Α	名称	端末名称を設定します。
		初期設定:品番
		ご注意
		した後、名称のみ個別で設定してください。
		● 使用可能は文子については P. 97 「使用可能は文子」をの説のへたさい。 ● 使用できる是十文字物け 31 文字です
R	IP アドレス 取得方法	● Ch C C の 取入文子 奴は ST 文子 C 9。
		初期設定:手動
		ふけ音
		本機はDHCPに対応していません。
		常に 手動」を選択し、ネットワークアドレスを手動で人力してくたさい。
C		Pアトレ人を設定します。 「括記中の担合は、まずての機能に向動的には新の」Pマビレスが記中す
		一括設定の場合は、9 へての機态に自動的に連番の IP アトレスか設定で わますので、 た側の棚に見た小さい数値を1 カレます、 た側の棚に連番
		1はすりので、圧側の欄に取む小さい数値を入力します。右側の欄に建备 の具後の ID スドレスが圭元されます
		の取復のIPプトレスが衣小されます。 知期認定:102.169.14.1
	サブネットマフク	初期設定・192.100.14.1 サブネットマフクを設定します
		初期設定 255 255 0
F	デフォルトゲート	デフォルトゲートウェイを設定します。
-	ウェイ	初期設定:0.0.0.0
F	HTTP ポート	HTTP サーバーポートの番号を設定します。通常は初期設定のままで使用
		してください。
		設定範囲:80 または 10000 ~ 40000
		初期設定:80

	項目	内容
G	IP アドレスの競合を	IP アドレスが重複していないかを確認するときにチェックを入れます。
	確認する	XE
		●「IP アドレスの競合を確認する」にチェックを入れても、使用している
		ネットワークアダプターと異なるネットワークの IP アドレスについて
		は競合の確認はできません。
		● IP アドレスの競合を検出した場合は、表示画面の結果欄に「IP アドレ
		ス競合」と表示されます。
H	設定ボタン	設定内容を確定するときにクリックします。

4 設定ボタンをクリックする。

ネットワーク設定が完了しました。 ネットワーク設定画面が閉じて、自動的に再起動します。

5 検出ボタンをクリックする。

表示画面が更新されます。

設定ファイルをアップロードする

	и e+ (- 10 00 -	- des te		-				
		그-サー名 [8	iamin		-r [•	••••			
	2.称	品業	IPPNLZ	MACZELZ	HTTP(S)	F/W	マイコン	H/W 结里	
M	IP-A1RM	IP-A1RM	192.168.14.1	00-05-F9-FF-AA-CB	80	3.3.0		1	ネットワーク
M	P-A1AF	IP-A1AF	192.168.14.10	00-05-F9-6F-80-18	80	3.3.0		1	
	IP-A1PG	IP-A1PG	192.168.14.20	00-05-F9-6F-80-2B	80	3.3.0		1	
	IP-A1PA12	IP-A1PA12	192.168.14.2	00-05-F9-FF-AB-46	80	3.3.0		1	山山市表
									 × 、 テ + 、 z 設定ファイルアップロー 設定ファイルダウンロー ファームウェアアップデー 再起重

ご注意

● 放送中にアップロードを行うと、すべての放送が停止します。

ファイル(拡張子「.spconf」)を選択する。

● IP 設定ツールでは、スケジュールデータを除いた設定ファイルの適用はできません。

1 機器を選択し、設定ファイルアップロードボタンをクリックする。

ファイル選択画面が表示されます。



ファイル名に使用可能な文字については P.97「使用可能な文字」をお読みください。

3 実行ボタンをクリックする。

設定ファイルのアップロードが開始されます。 アップロードが終わると、結果欄に「OK」と表示され、その後に自動的に再起動を開始します。

4 検出ボタンをクリックする。

表示画面が更新されます。

ご注意

- ●設定ファイルのアップロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。
- ●アップロード中に再起動や電源の切断が行われた場合、設定ファイルが破損し、正常に起動できなく なるおそれがあります。
- ネットワークの負荷が高い状況では、検出結果リストの結果欄に「応答なし」と表示されることがあ ります。しばらく待っても結果欄が更新されないときは、再度検出ボタンをクリックしてください。
- ●設定ファイルのアップロードにより、音源ファイルも本機に適用されます。 ネットワーク設定とユーザー設定は、設定ファイルをアップロードしても本機に適用されず、アップ ロード前の状態が維持されます。

| 設定ファイルをダウンロードする

	コーザー認証					
Q ię ili	ユーザー名 admin	パスワード	••••			
☑ 名称 ☑ IP-A1RM	品番 IPアドレス IP-A1RM 192.168.14.1	MACアドレス HTTP(: 00-05-F9-FF-AA-CB 80	5) F/W 3.3.0	マイコン	H/W 結果 1	ネットワーク話
P-A1AF □ IP-A1PG □ IP-A1PA12	IP-A1AF 192.168.14.10 IP-A1PG 192.168.14.20 IP-A1PA12 192.168.14.2	00-05-F9-6F-80-18 80 00-05-F9-6F-80-2B 80 00-05-F9-FF-AB-46 80	3.3.0 3.3.0 3.3.0		1 1 1	直面表
						- ² ,L E-D 点 音声鳴動
						★ メンテナンス 設定ファイルアップロー
						設 定 ファイルダウンロー ファームウェア アップデー
						TT 42 T

1 機器を選択し、設定ファイルダウンロードボタンをクリックする。

ダウンロード先のフォルダーを選択する画面が表示され ます。



2 参照ボタンをクリックしてダウンロード先のフォル ダーを選択する。

3 実行ボタンをクリックする。

設定ファイルのダウンロードが開始されます。 ダウンロードが完了すると検出結果リストの結果欄に「OK」と表示されます。 保存される設定ファイルの拡張子は「.spconf」です。

ご注意

- 設定ファイルのダウンロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。
- ●設定ファイルのダウンロードにより、音源ファイルを含む設定データがダウンロードされます。ネットワーク設定とユーザー設定は、ダウンロードとアップロードによる設定の復元・複製には適用されません。

■ファームウェアをアップデートする

メモ

最新のファームウェアは TOA 商品データダウンロードサイト(https://www.toa-products.com/)で品番を 検索してダウンロードしてください。

ご注意

ダウンロードしたファームウェアのファイル名は変更しないでください。

		uumm						
☑ 3称	品番	IPアドレス	MACアドレス	HTTP(S)	F/W	マイコン	H/W 結果	
P-A1RM	IP-A1RM	192.168.14.1	00-05-F9-FF-AA-CB	80	3.3.0		1	▲▲ ネットリーク設:
P-A1AF	IP-A1AF	192.168.14.10	00-05-F9-6F-80-18	80	3.3.0		1	
P-A1PG	IP-A1PG	192.168.14.20	00-05-F9-6F-80-2B	80	3.3.0		1	
P-A1PA12	IP-A1PA12	192.168.14.2	00-05-F9-FF-AB-46	80	3.3.0		1	
								音声鳴動 ★ × > テ ナ > ス 設定ファイルアップロード 設定ファイルダウンロード ファームウェアアップデート 再起動

1 ファームウェアをアップデートしたい機器を選択し、「ファームウェアアップデート」ボタン をクリックする。

ファームウェア選択画面が表示されます。

	• •	>
ファームウェアを選択してください。	23	
	参照 実行	

2 参照ボタンをクリックしてアップデートするファームウェアファイルを選択する。

<u>|メ モ</u>] ファームウェアアップデーターの拡張子は「.bin」です。

3 実行ボタンをクリックする。

ファームウェアのアップロードが開始されます。 再起動が終わってファームウェアアップデートが完了すると、結果欄に「OK」と表示されます。

4 検出ボタンをクリックする。

表示画面が更新されます。

ご注意

- ●ファームウェアのアップデート中は、再起動や電源の切断を行わないでください。アップデート中に 再起動や電源の切断が行われた場合、ファームウェアが破損し、正常に起動できなくなるおそれがあ ります。
- ●ネットワークの負荷が高い状況では、表示画面の結果欄に「応答なし」と表示されることがあります。
 しばらく待っても結果欄が更新されないときは、再度検出ボタンをクリックしてください。

	马称	品番	IPアドレス	MACアドレス	HTTP(S)	F/W	マイコン	H/W 結果	
	P-A1RM	IP-A1RM	192.168.14.1	00-05-F9-FF-AA-CB	80	3.3.0		1	ネットワーク設
	P-A1AF	IP-A1AF	192.168.14.10	00-05-F9-6F-80-18	80	3.3.0		1	
	P-A1PG	IP-A1PG	192.168.14.20	00-05-F9-6F-80-2B	80	3.3.0		1	画面表
M	P-A1PA12	IP-A1PA12	192.168.14.2	00-05-F9-FF-AB-46	80	3.3.0		1	
									ペメンテナンス 設定ファイルアップローⅠ
									設 定ファイルダウンロート
									ファームウェア アップデート

1 再起動したい機器を選択し、再起動ボタンをクリックする。

確認画面が表示されます。

ХE

_____ 複数の機器を選択して再起動することもできます。



2 OK ボタンをクリックする。

再起動を開始します。

SIP 状態表示画面

SIP 放送が開始できなかった場合や切断された場合に、IP-A1RM の液晶画面に SIP 状態表示画面が表示されます。▶ キーまたはホームキーを押すとホーム画面に戻ります。 SIP 状態表示の詳細は以下のとおりです。



- ① SIP 状態名称 SIP 状態を表示します。
- ② SIP 状態コード SIP 状態のコードを表示します。
- ③ SIP 状態表示
 SIP 状態についての説明を表示します。

SIP 状態コード	SIP 状態表示画面	内容
SC001	1 SIP 接続 失敗 6 2 [SC001] 7 3 応答タイムアウト 8 4 接続先から応答が 9 5 ありませんでした。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、本機の呼び出し時間制限で設定さ れた時間までに接続先が応答しなかったときに表示されます。
SC002	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC002] 7 3 接続タイムアウト 8 4 接続先との通信が一定期間 9 5 失われました。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送中に、接続先と通信できなくなり放送を終了 したときに表示されます。
SC003	1 SIP 接続 失敗 6 2 [SC003] 7 3 接続先到達不可 8 4 ネットワーク接続の状態を 9 5 確認してください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、接続先とネットワーク通信ができ ないときに表示されます。
SC004	1 SIP 接続 失敗 6 2 [SC004] 7 3 接続先利用不可 8 4 接続の状態を 9 5 確認してください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、接続先が応答できない状態となっ ているときに表示されます。

SIP 状態コード	SIP 状態表示画面	内容
SC005	1 SIP 接続 失敗 6 2 [SC005] 7 3 接続拒否 8 4 本機と接続先の設定を 9 5 確認してください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、接続先から接続を拒否されたとき に表示されます。
SC006	1 SIP 接続 失敗 6 2 [SC006] 7 3 音声コーデック不一致 8 4 本機と接続先のコーデック 9 5 設定を一致させてください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、接続先と音声コーデックが一致し なかったときに表示されます。
SC008	1 SIP 接続 失敗 6 2 [SC008] 7 3 サーバー接続失敗 8 4 SIP サーバーと接続を 9 5 確立できませんでした。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、SIP サーバーから接続を切断され たときに表示されます。
SC009	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC009] 7 3 接続先放送中 8 4 9 9 5 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、接続先が他の放送を実行中で放送 を開始できないときに表示されます。
SC010	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC010] 7 3 接続先エラー 8 4 接続先でエラーが 9 5 発生しました。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送中に、接続先でエラーが発生し放送が終了し たときに表示されます。
SC011	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC011] 7 3 接続先エラー 8 4 接続先でエラーが 9 5 発生しました。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、接続先でエラーが発生し放送を開 始できなかったときに表示されます。
SC012	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC012] 7 3 不正な応答 8 4 本機で非対応の応答を 5 9 5 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、本機が非対応の応答を接続先から 受信し放送を開始できなかったときに表示されます。

SIP 状態コード	SIP 状態表示画面	内容
SC013	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC013] 7 3 割込みによる切断 8 4 接続先で割り込み放送が 9 5 発生しました。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送中に、接続先で高優先の放送が開始され、本 機からの放送が終了したときに表示されます。
SC014	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC014] 7 3 通話時間制限による切断 8 4 9 5 2 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送中に、本機の通話時間制限で設定された時間 に達して放送を終了したときに表示されます。
SC015	1 SIP 登録失敗 6 2 [SC015] 7 3 SIP サーバー登録失敗 8 4 SIP サーバーの設定を 9 5 確認してください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	本機からの SIP 放送開始時に、本機が SIP サーバーへの登録に失 敗しているときに表示されます。
SC016	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC016] 7 3 不明なエラー 8 4 操作ログを 9 5 確認してください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	不明なエラーが発生したときに表示されます。
SC017	1 SIP 接続 切断 6 2 [SC017] 7 3 不明なエラー 8 4 操作ログを 5 9 5 確認してください。 0 2/9 (金) 12:08 0K	不明なエラーが発生したときに表示されます。

トラブルシューティング

本機の動作に問題を感じたときは、修理を依頼する前に下記の手順で問題を切り分けることを推奨します。

1 電源を確認する。

		チェック
	本機の状態表示灯 [STATUS] が点灯または点滅していますか? 消灯している場合、電源が供給できていません。PoE スイッチングハブへ接続して電源を供給してください。	
電源は供給できています か?	PoE スイッチングハブに接続されていますか? 本機は、PoE スイッチングハブから電源を供給することで動作します。PoE スイッチングハブへ接続して電源を供給してください。	
	PoE スイッチングハブの最大給電容量を超えていませんか? PoE スイッチングハブの取扱説明書などを確認してください。超えている場合は、十分な給電容量の PoE スイッチングハブへ交換してください。	
	LAN コネクターのツメが折れるなどにより、接続部の接触不良は発生していませんか? ケーブル、コネクターの接触不良があると、電源の供給や通信に支障があります。	
LAN ケーブルに問題はあり	Cat.5 以上の LAN ケーブルが使用されていますか? Cat.5 未満のケーブルでは、電源の供給や通信に支障が出る可能性がありま す。Cat.5 以上のケーブルに変更してください。	
ませんか?	LAN コネクター(RJ-45)のピン配置と結線は正しいですか? ピン配置や結線状態が間違っている場合、電源の供給や通信に支障が出る可 能性があります。正しい状態のケーブルを使用してください。	
	LAN ケーブルの配線が 100 m を超えていませんか? 超えている場合、電源の供給や通信に支障が出る可能性があります。スイッ チングハブなどを間に接続することで、配線が 100m 以内になるように修正 してください。	

2 ネットワーク通信を確認する。

		チェック
	本機の LINK/ACT 表示灯が点灯または点滅していますか? 点灯または点滅していない場合、ネットワーク通信が確立できていない可能 性があります。	
ネットワーク通信は確立し ていますか?	本機の IP アドレスに対して、パソコンのブラウザーでアクセスし、WEB ページ(認証画面)を表示できますか? WEB ページ(認証画面)を表示できない場合、ネットワーク通信が確立できていない可能性があります。	
	本機の IP アドレスに対して、パソコンから Ping コマンドを送信すると応答 がありますか? 応答がない場合、ネットワーク通信が確立できていない可能性があります。	
WEB ページを正しく表示で きますか?	対応したブラウザーを使用していますか? Microsoft Edge または Google Chrome でアクセスしてください。	
	最新バージョンの IP 設定ツールを使用していますか? 古いバージョンを使用すると、検出できない場合があります。最新バージョ ンは、TOA 商品データダウンロードサイト(https://www.toa-products. com/)よりダウンロードしてください。	
IP 設定ツールで検出できま すか?	本機とIP設定ツールを使用しているパソコンは、同じネットワークセグメントに接続されていますか? ネットワークセグメントが異なる場合、検出できません。パソコンのIPアドレスを同じネットワークセグメントのIPアドレスに変更してください。	
	パソコンのファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアが有効になってい ますか? ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアの影響で、検出できない可能 性があります。一時的に、それらを無効にしてください。	

3 動作状態と設定を確認する。

		チェック
状態表示灯 [STATUS] は 放送状態になりますか?	放送を開始すると、状態表示灯が青色に点灯します。放送開始操作を行って も状態表示灯が変化しない場合、放送状態に移行していない可能性がありま す。イベント設定画面で放送停止に設定された制御入力端子へ信号が入力さ れていると、放送状態に移行しません。	
システムミュートの状態に なっていませんか?	状態表示灯(STATUS)が赤色に点滅していると、システムミュート状態です。 ミュート(非常断 24V)端子へ非常カット信号が入力されているか、イベン ト設定画面でシステムミュートに設定された制御入力端子へ信号が入力され ています。	
WEBページのステータス画 面で「動作状態」が変化し ますか?	放送状態に移行すると、放送開始操作に連動し「動作状態」の項目が、待機 中表示からそれぞれの放送状態を示す表示へと変わります。放送状態を示す 表示へ移行しない場合、放送開始操作が受け付けられていない可能性があり ます。	
[SIP_ マルチキャスト放送] SIP 登録状態は「登録成功」 になっていますか?	SIP サーバーを介した SIP 放送を行う場合、SIP サーバーへ登録されている 必要があります。登録できていない場合、SIP 設定画面の以下の設定を確認 してください。 ・「SIP アカウント設定」が ON になっていますか? ・「SIP サーバーアドレス/ポート」設定は正しいですか? ・「ユーザー ID」「パスワード」「認証 ID」設定は正しいですか?	
PG [VMS-マルチキャスト放送] VMS サーバー/クライアン トまたはネットワークレ コーダーから検出/接続で きますか?	VMS 放送を行うには、放送元の機器/ソフトウェアから検出/接続できる必要があります。検出/接続できない場合、VMS 放送設定画面の以下の設定を確認してください。 ・「VMS 放送機能」が ON になっていますか? ・「制御ポート」設定が、本機および放送元で同じ設定になっていますか? ・「RTSP ポート」設定は、ネットワーク環境に応じた適切な値になっていま すか?(LAN で接続している場合、初期設定から変更する必要はありません。) ・「ユーザー名」「パスワード」設定は正しいですか?	
送信端末、受信端末の使用 するマルチキャストチャン ネルの設定が一致していま すか?	送信端末の放送先設定画面と受信端末のマルチキャスト設定画面のマルチ キャストチャンネル設定が一致している必要があります。以下の設定を確認 してください。 ・送信端末、受信端末のマルチキャストアドレスおよびポート番号は一致し ていますか? ・ポート番号は偶数番号を使用していますか? ・転送設定画面において、送信したいマルチキャストチャンネルの設定が有 効になっていますか? ・イベント設定画面において、送信したいマルチキャストチャンネルが放送 元として設定されていますか?	
RM 本体の液晶表示で放送状態 を確認できますか?	本体のキー操作で放送を行う場合、液晶画面に表示される[状態]欄が「放送中」表記になります。スケジューラーやイベントトリガーによりバックグ ラウンドで放送が実行されている場合は、液晶画面のフッター部(下部)に 実行中の放送内容が表示されます。	
RM 放送先となる SIP ターゲッ トは正しく設定できていま すか?	IP リモートマイクから SIP による放送を行う場合、放送先となる端末の SIP ユーザー ID または IP アドレスを送信先として設定する必要があります。	
送信端末、受信端末で有効 になっている音声コーデッ クが一致していますか?	送信端末で選択されている音声コーデックが受信端末で無効になっている と、受信端末で放送データをデコードして再生することができません。 Ver. 3.1.0 以降のファームウェアではオーディオコーデックに Opus が追加 され、初期設定は Opus です。受信端末のファームウェアも Ver. 3.1.0 以降 に更新するか、送信端末のオーディオコーデックを受信端末と合わせる設定 を行ってください。	

4 イベントトリガーを確認する。

		チェック
制御信号は入力されていま すか?	制御入力端子へ制御信号は入力されていますか? 無電圧接点で入力してください。Normary Open/Normary Close に対応し ていますので、メイク接点(N.O.)またはブレイク接点(N.C.)の両方に対 応しています。また、エッジでの検出とレベルでの検出に対応しています。 イベント設定画面の制御入力設定の信号モードで設定できます。	
制御信号は十分な時間、入 力されていますか?	制御入力の最小短絡時間は 200 ms です。200 ms 以上の信号を入力してく ださい。	
イベント設定はされていま すか?	イベント設定画面の制御入力設定のアクションが設定されていますか? 制御入力端子へ制御信号が入力されると、アクションに設定された動作を行います。 Pattern 1 ~ 20 : パターン設定された内蔵音源を使用して放送します。 ライン/マイク入力 : ライン/マイク入力端子に接続された音源を使用して放送します。 AUX RM : AUX 入力端子に接続された音源を使用して放送します。 コマンドセット0~9 : コマンドリストで設定されたコマンドを送信します。 放送停止 : 本機からの放送音声の送信/出力を停止します。 システムミュート : 本機からの放送音声の送信/出力を停止するとともに、ネットワークで接続された IP オーディ オ受信端末に対しても放送音声をミュートするように制御します。	
設定変更後、再起動しまし たか?	本機の設定を変更したとき、再起動の後に変更内容が反映される項目があります。(L 3 P. 38)	
スケジュール設定は正しく 設定されていますか?	スケジュールによるアクションを実行する場合、スケジューラー画面の所定 の日時にタスクが表示されている必要があります。タスクが表示されていな い場合、スケジュール設定に問題がある可能性があります。所定の日時が、 有効な日として登録されているかどうか確認してください。	
現在時刻は正しく設定され ていますか?	スケジュールによるアクションを実行する場合、現在時刻が正しく設定され ている必要があります。設定画面またはスケジューラー画面の現在時刻表示 が正しいか確認してください。タイムゾーンが正しく設定されていないと、 現在時刻が UTC(協定世界時)で表示されている可能性があります。	
正しいリモート API コマン ドを送信していますか?	送信しているコマンドの URI が正しいかどうか確認してください。 正しいコマンドは、「リモート API 仕様書」をご確認ください。「リモート API 仕様書」については、当社営業所へお問い合わせください。	
リモート API を使用するに あたって、Digest 認証でき ていますか?	リモート API によるコマンド制御を行うには、ID/Password による Digest 認証が必要です。 認証完了後にコマンドを受け付けるため、まず認証ができているかを確認し てください。	

5 音を確認する。

		チェック
ライン/マイク入力端子 PG または AUX (RM)への 接続機器に応じたゲインに 設定されていますか? ライン/マイク入力音量調	 ライン/マイク入力端子へ接続する機器によって、本機のゲインをDIPスイッチで調節します。 ライン出力機器 : LINE / [PAD] 0 dB / [PHANTOM] OFF ダイナミックマイク: MIC / [PAD] 0 dB / [PHANTOM] OFF コンデンサーマイク: MIC / [PAD] -20 dB / [PHANTOM] ON また、接続機器の出力レベルが適正であることも確認してください。 ライン/マイク入力音量調節器により、入力音声の音量を調節できます。 	
節器 [VOLUME] が反時計 方向に絞り切られていませ んか?	PG ライン/マイク入力信号表示灯 [SIGNAL] が安定して緑色に点灯し、かつ赤色に点灯しない程度に入力音声の調節を行ってください。	
PG [SIP_ マルチキャスト放送] SIP フォン(または SIP 端 末)の音量は適正ですか?	送信元となる SIP フォン(または SIP 端末)から送信されている音声の音量 が小さいすぎる場合や大きすぎる場合に適正な音量、音質にならない可能性 があります。 ページングゲートウェイからの出力音声は、モニター出力で確認することが できます。モニター出力の音量、音質が適正でなければ、SIP フォン(また は SIP 端末)からの送信音声を調節してください。モニター出力の音量、音 質が適正であれば、IP スピーカーなどの受信端末の音量設定が適正ではない 可能性があります。	
PG [VMS-マルチキャスト放送] VMS サーバー/クライアン トまたはネットワークレ コーダーに接続したマイク の音量は適正ですか?	送信元となる VMS サーバー/クライアントまたはネットワークレコーダー から送信されている音声の音量が小さいすぎる場合や大きすぎる場合に適正 な音量、音質にならない可能性があります。 ページングゲートウェイからの出力音声は、モニター出力で確認することが できます。モニター出力の音量、音質が適正でなければ、VMS サーバー/ク ライアントまたはネットワークレコーダーからの送信音声を調節してくださ い。モニター出力の音量、音質が適正であれば、IP スピーカーなどの受信端 末の音量設定が適正ではない可能性があります。	
[マルチキャスト放送] 各マルチキャストチャンネ ルの音量は適正ですか?	マルチキャスト放送は、受信端末ごとに使用するマルチキャストチャンネル 単位で音量を設定できます。音量設定画面の「入力ボリューム(マルチキャ スト1~20)」を調節することで、マルチキャストチャンネルごとの音量を 適正に設定することができます。	
[内蔵音源放送] メディア設定画面に音源 ファイルをアップロードで きますか?	 メディア設定画面にアップロードできる音源には、いくつかの制約があります。これらに該当しているか確認し、再度アップロードしてください。 ・WAV または MP3 以外の音源ファイルはアップロードできません。 ・WAV、MP3 ともに使用可能なファイルフォーマットが決まっています。 詳細(■③ P. 64)を確認して使用してください。 ・30 MB を超える容量の音源ファイルはアップロードできません。(■③ P. 64) ・Media ファイル合計で 80 MB を超えるとアップロードできません。(■③ P. 64) ・ファイル名称にスペースや使用できない文字/記号が含まれていません か?(■③ P. 97) 	
[内蔵音源放送] パターン登録画面の再生ボ タンで再生した音量は適正 ですか?	パターン登録画面の再生ボタンをクリックすると、モニター出力 PG または モニタースピーカー RM から設定したパターン条件で音源を再生することが でき、適切な音源、音量であることを確認できます。 音量が適正ではない場合、音源そのものに音割れがないか、パターンで設定 する入力ボリュームが大きすぎないかなど確認してください。	



IP アドレスが分からない。	本機の IP アドレスが分からなくなってしまった場合、以下のどちらかの方法 で接続してください。 1. IP 設定ツールで検出する。 2. リセットキーにより設定を初期化し、初期値の IP アドレスで接続する。
	[管理者権限のユーザー情報が分からない場合] リセットキーによる初期化で初期値のユーザー名またはパスワードでログイ ンできます。
 ユーザー名またはパスワードが分からな い。	ご注意 設定内容も初期化されますので、あらかじめ設定データをダウンロードして おいてください。
	[ユーザー権限のユーザー情報が分からない場合] 管理者権限でログインし、ユーザー設定画面で再度ユーザー名とパスワード を設定してください。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル	(固定電話専用) 0420 409 447	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および
商品の内容や組み合わせ、操作方法について のお問い合わせにお応えします。 受付時間9:00~17:00(土日、祝日除く)	ナビダイヤル FAX ※ PHS、IP 電話	0120-108-117 0570-064-475 (有料) 0570-017-108 (有料) からはつながりません。	カタログのご請求については、取り扱い店または最寄 りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所に ついては、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/